

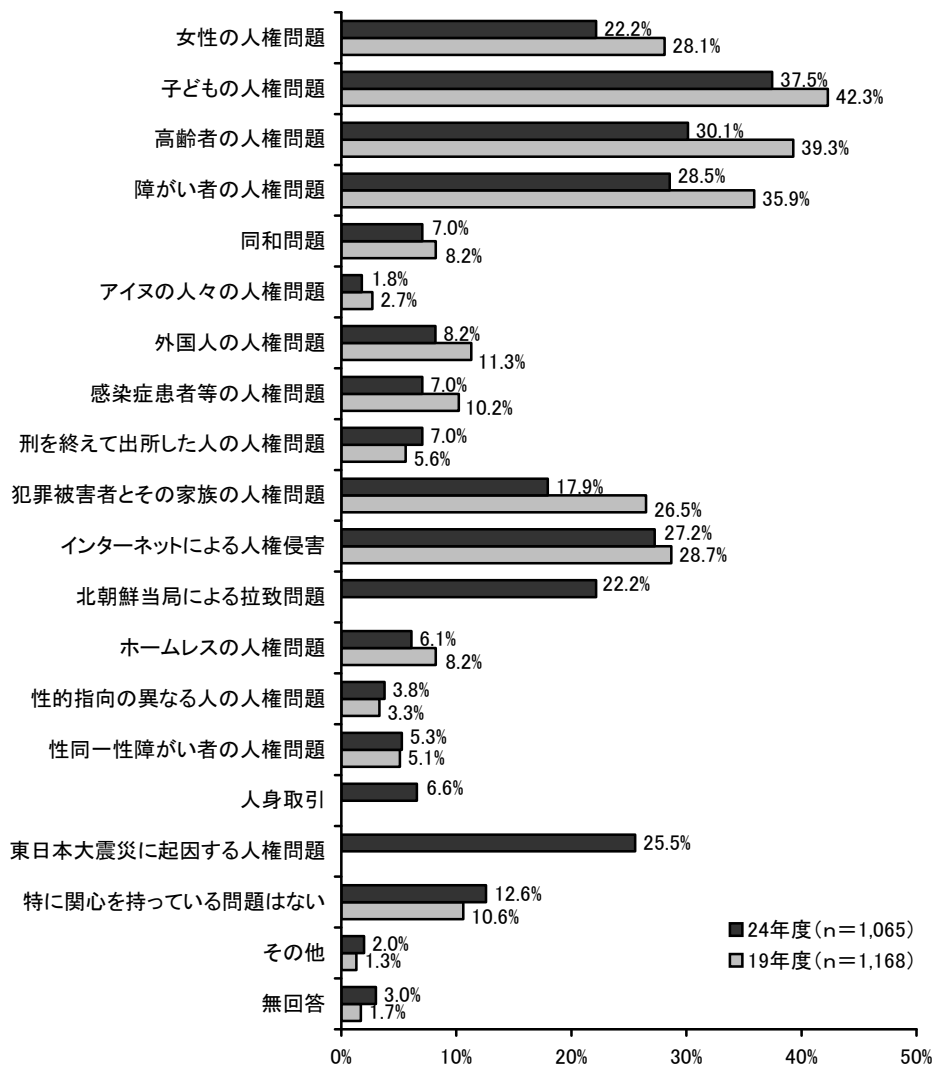
### 3 調査結果の分析



### 3-1 人権全般について

#### (1) 現在関心をもっている人権問題

問6 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが現在関心をもっているものはどの問題ですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

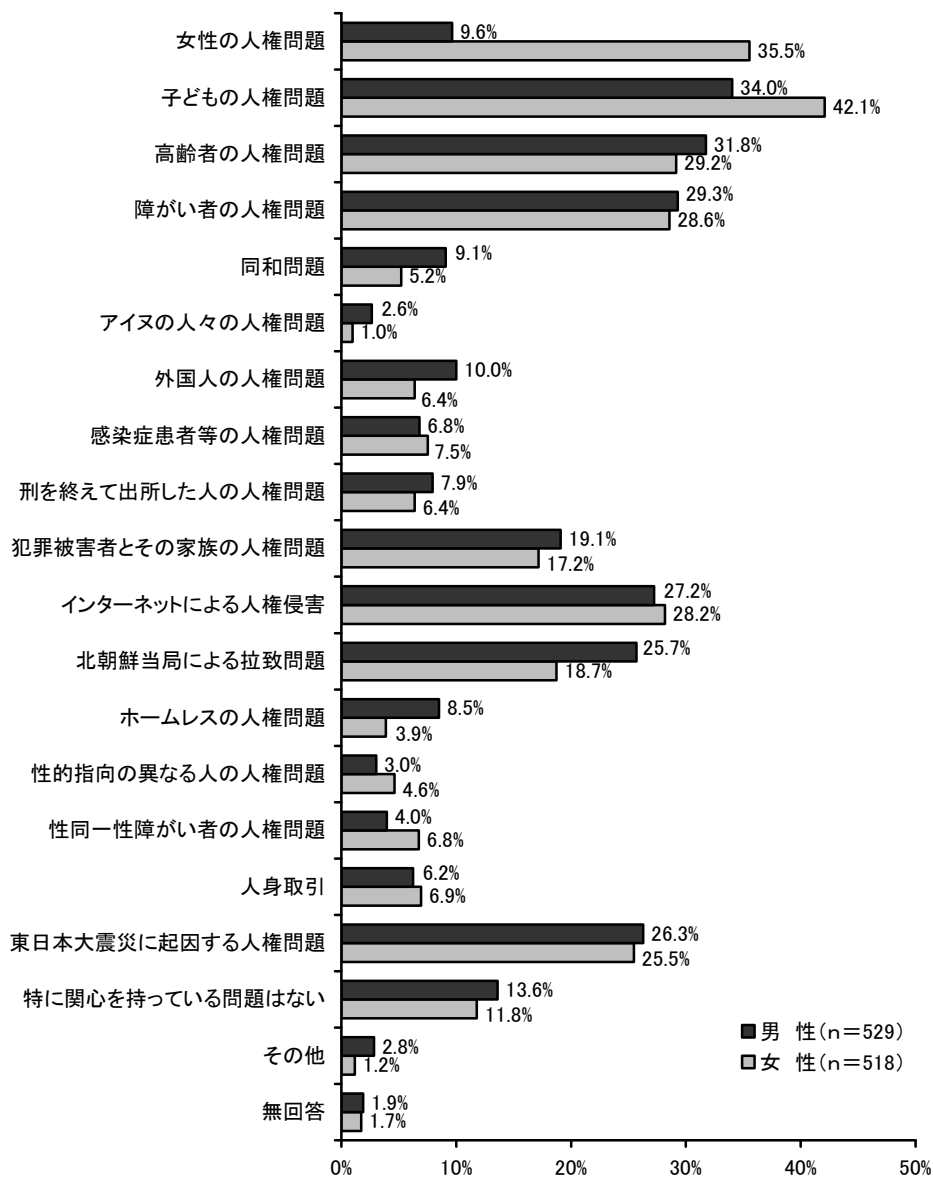


■ 「子どもの人権問題」が37.5%で最も関心が高く、次いで「高齢者の人権問題」が30.1%、「障がい者の人権問題」が28.5%、「インターネットによる人権侵害」が27.2%、「東日本大震災に起因する人権問題」が25.5%、「女性の人権問題」および「北朝鮮当局による拉致問題」が22.2%の順となっている。

#### 【前回比較】

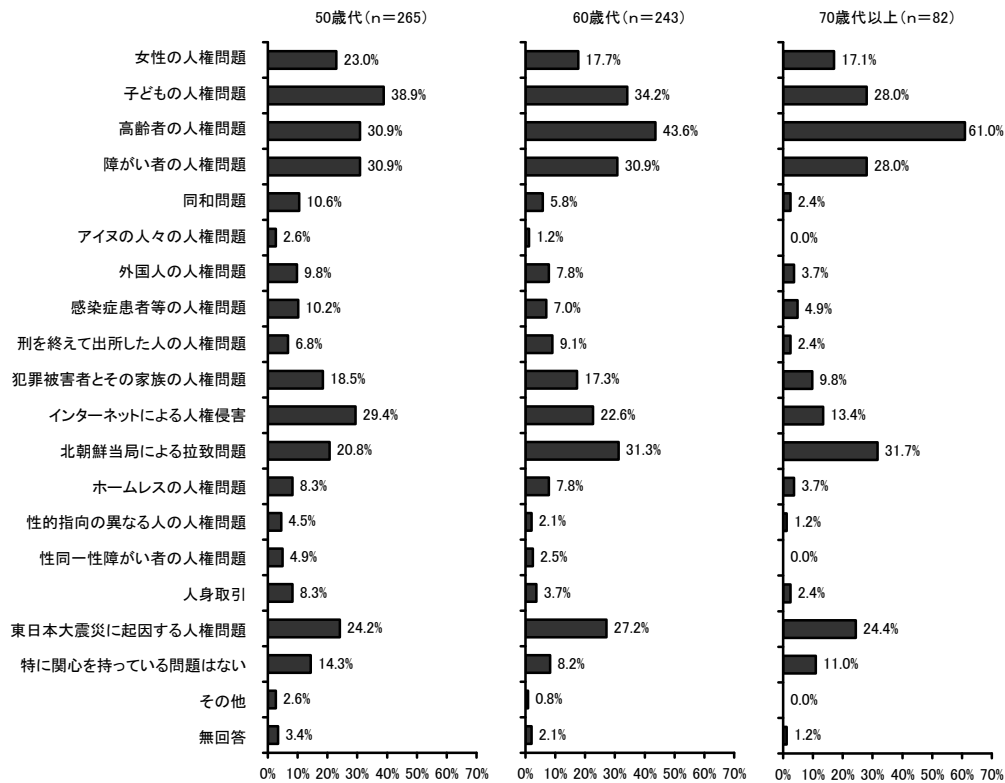
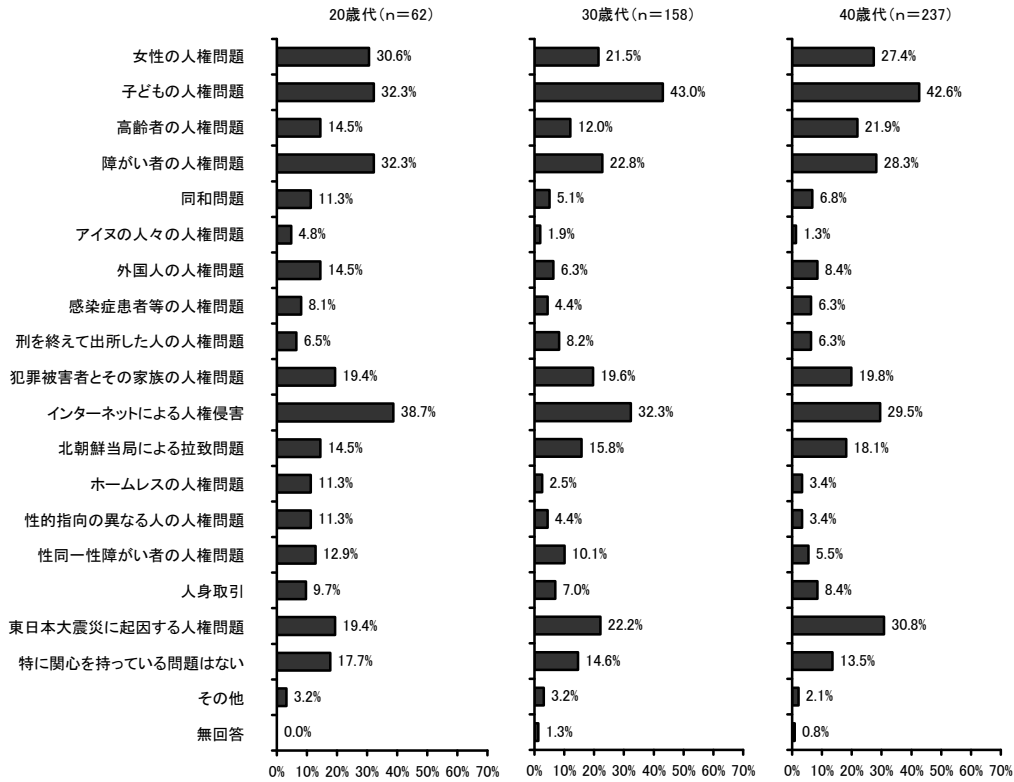
※ 「北朝鮮当局による拉致問題」「人身取引」「東日本大震災に起因する人権問題」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



- 「子どもの人権問題」は男女共に最も関心が高く、「高齢者の人権問題」「障がい者の人権問題」「インターネットによる人権侵害」についても、男女共に3割程度が関心をもっている。
- 「女性の人権問題」について、男性は9.6%にとどまっているが、女性は35.5%と非常に関心が高い。

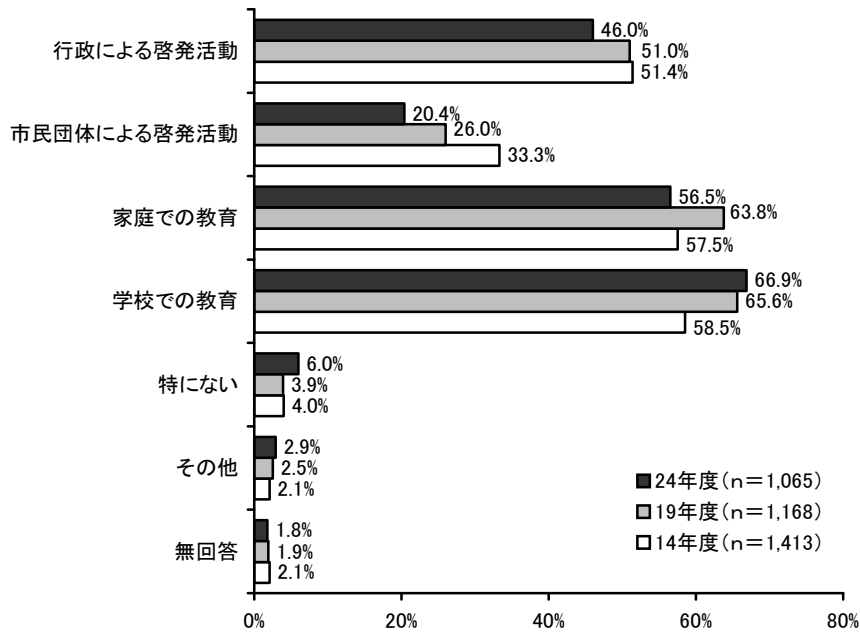
# 年代別



- 「子どもの人権問題」は30～50歳代で最も関心が高い。
- 「インターネットによる人権侵害」は20歳代で38.7%と最も関心が高いが、年代が上がるにつれて関心が低くなっている。
- 「高齢者の人権問題」は年代が上がるにつれて関心が高くなっており、70歳代以上では6割を超えている。

## (2) 人権意識を高める方法

問7 人権意識を高める方法としては、どのようなものが有効と考えられますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

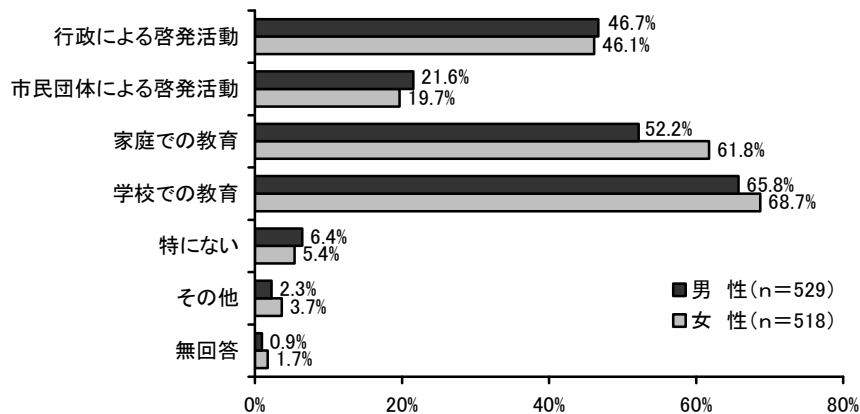


■「学校での教育」が66.9%で最も高く、次いで「家庭での教育」が56.5%、「行政による啓発活動」が46.0%の順となっている。

### 【前回比較】

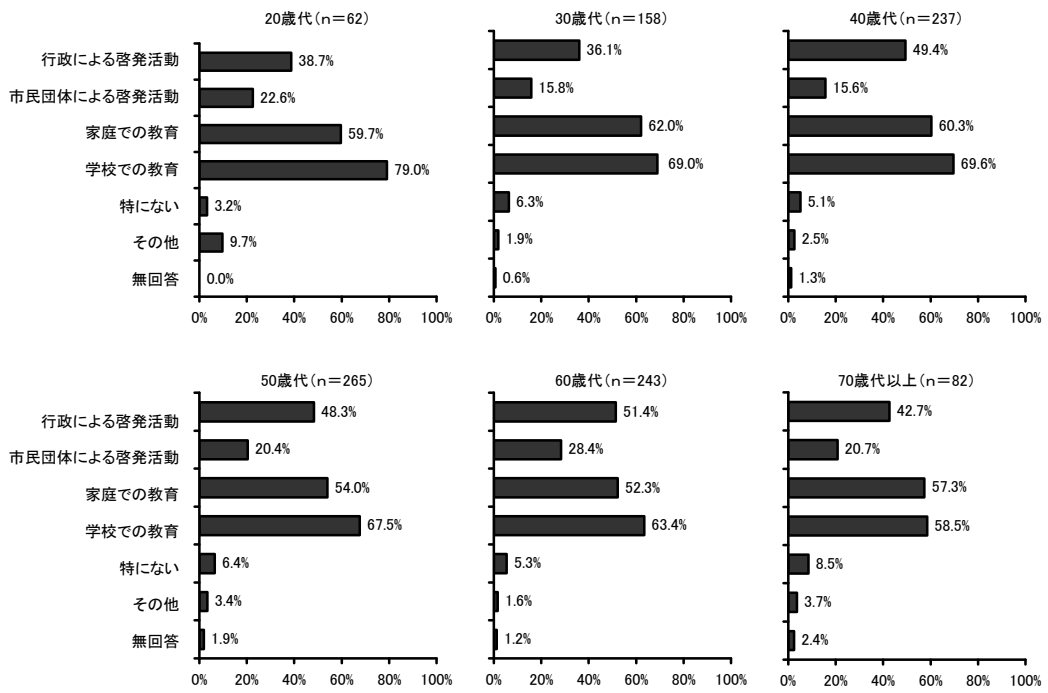
■「学校での教育」は前回に比べ1.3ポイント増加しており、「家庭での教育」は7.3ポイント、「行政による啓発活動」は5.0ポイント減少している。

### 男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「家庭での教育」の割合が女性でやや高い。

年代別

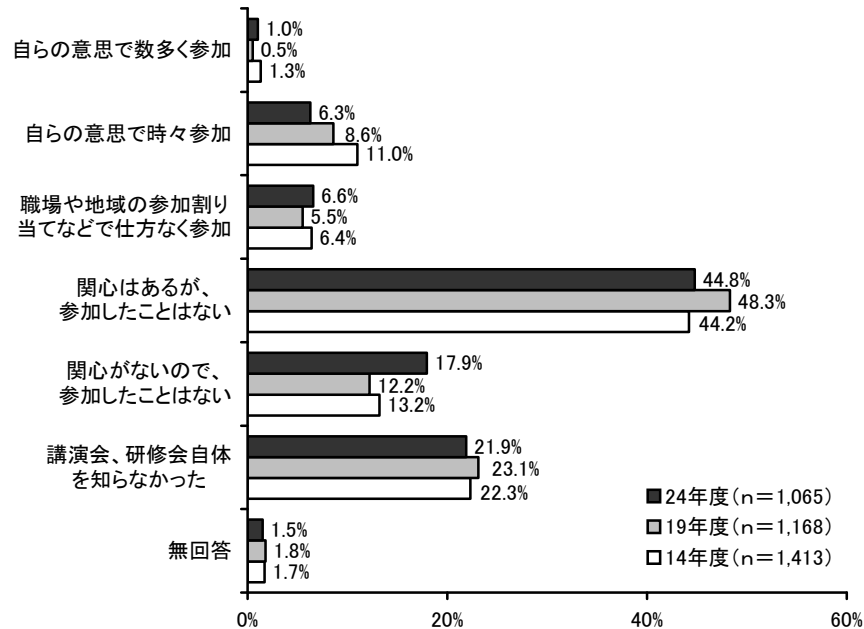


■いずれの年代においても「学校での教育」が最も高く、次いで「家庭での教育」「行政による啓発活動」の順となっている。



### (3) 人権問題に関する講習会や研修会への参加

問 8 過去3年間ぐらいの間に、人権問題に関する講演会や研修会への参加について、どのような対応をしてきましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

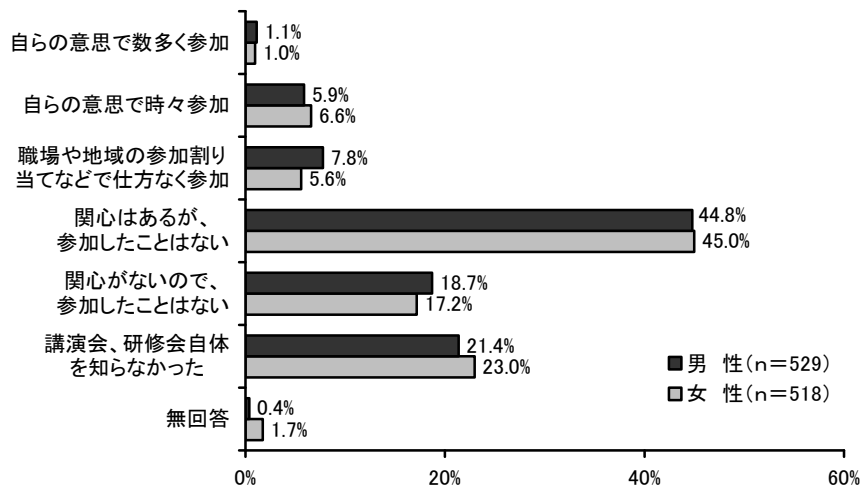


- 「関心はあるが、参加したことはない」が44.8%で最も高く、次いで「講演会、研修会自体を知らなかった」が21.9%、「関心がないので、参加したことはない」が17.9%の順となっている。
- 「自らの意思で数多く参加」は1.0%、「自らの意思で時々参加」は6.3%で、“自らの意思で参加したことがある”人は7.3%にとどまっている。

#### 【前回比較】

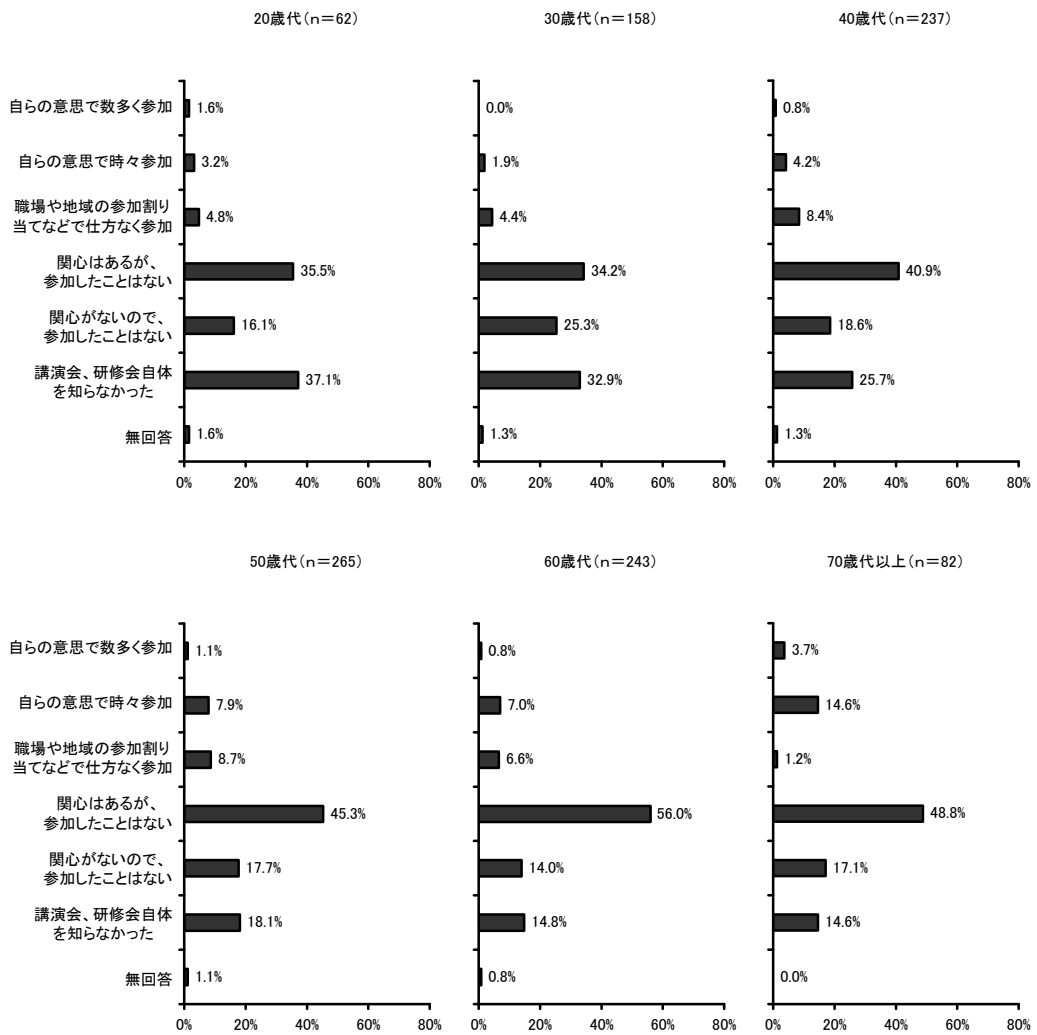
- 「関心がないので、参加したことはない」は前回に比べ5.7ポイント増加している。

#### 男女別



- 男女間で大きな違いはみられない。

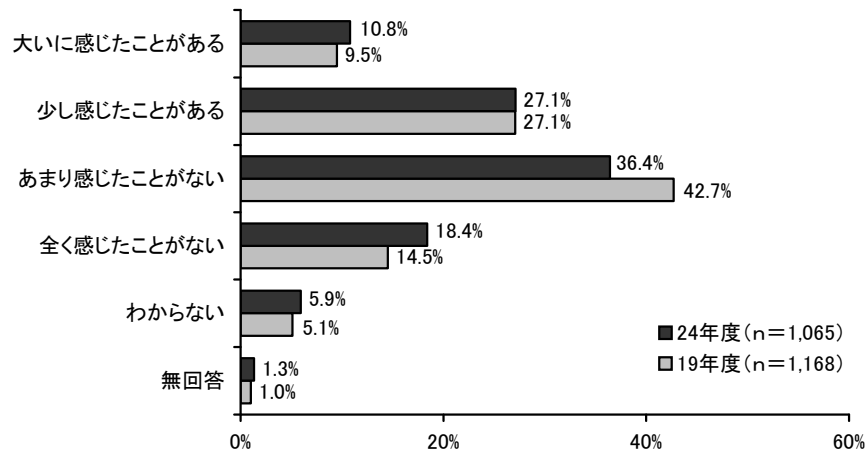
# 年代別



- 「関心はあるが、参加したことはない」は30～70歳代以上で最も高い。
- 「講演会、研修会自体を知らなかった」は若い年代ほど高く、20歳代で4割弱となっている。

#### (4) 人権侵害を受けた経験

問9 あなたは、これまでに人権を侵害（暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇など）されたと感じたことがありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

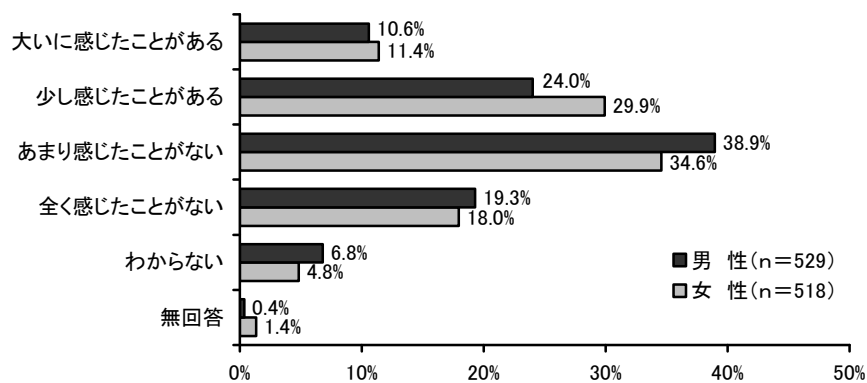


■ 「大いに感じたことがある」は 10.8%、「少し感じたことがある」は 27.1%で、“人権を侵害されたと感じた”人は 37.9%となっている。

#### 【前回比較】

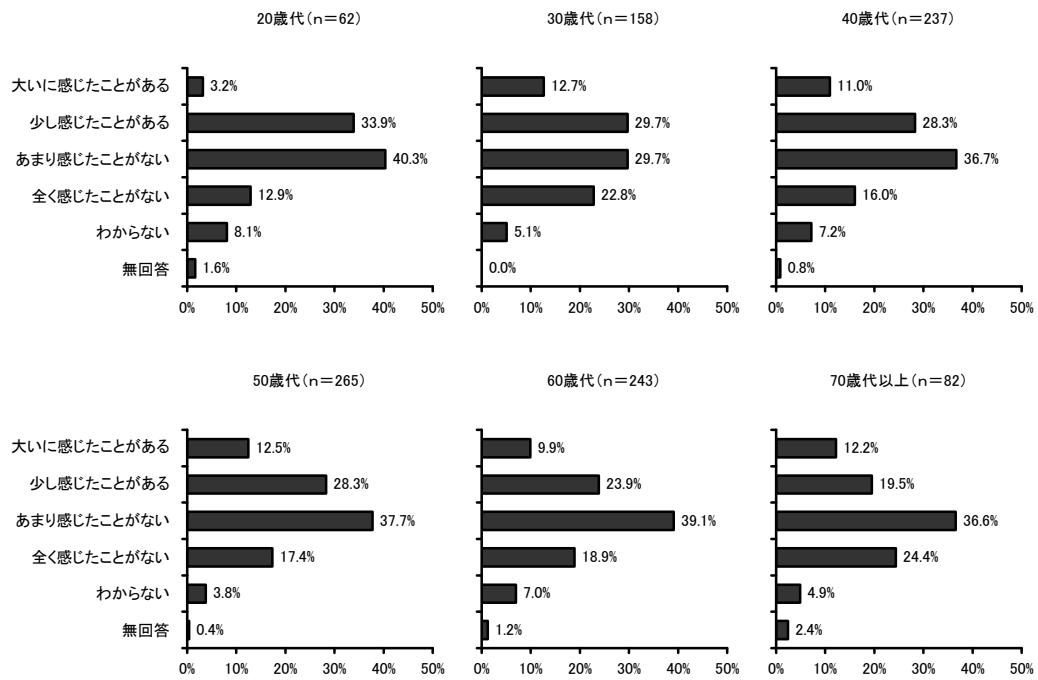
■ “人権を侵害されたと感じた”人は、前回の 36.6%より 1.3ポイント増加している。

#### 男女別



■ “人権を侵害されたと感じた”人は男性が 34.6%、女性が 41.3%で、女性のほうがやや高い。

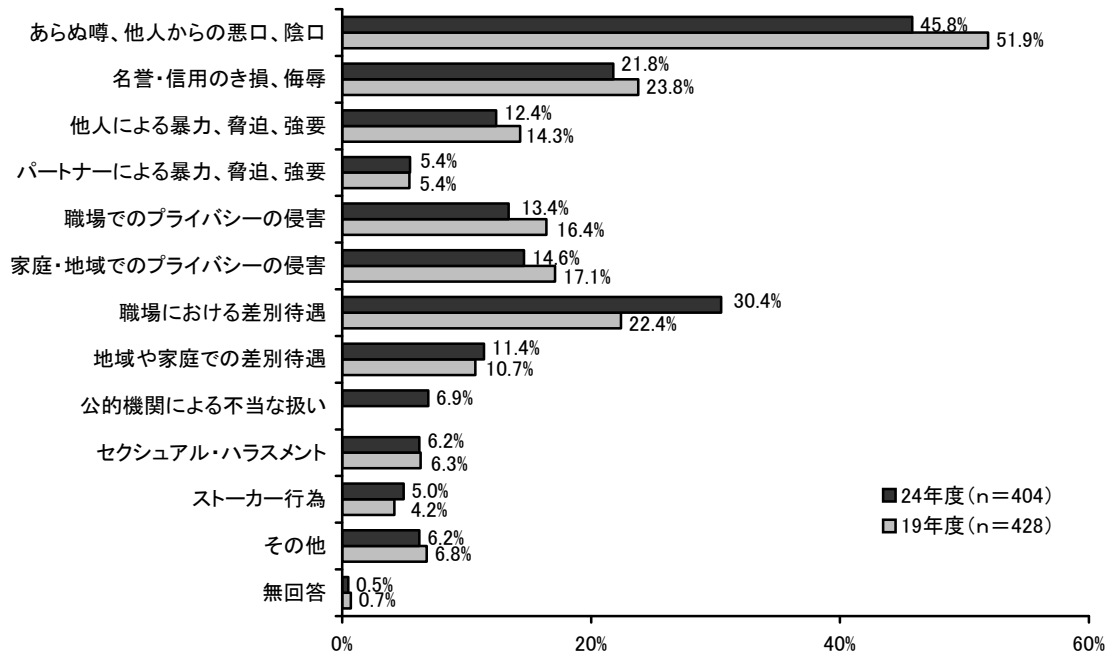
## 年代別



■ “人権を侵害されたと感じた” 人の割合は、30歳代で42.4%と他の年代に比べて最も高い。

## (5) 受けた人権侵害の内容

問10 問9で「大いに感じたことがある」または「少し感じたことがある」を選択された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

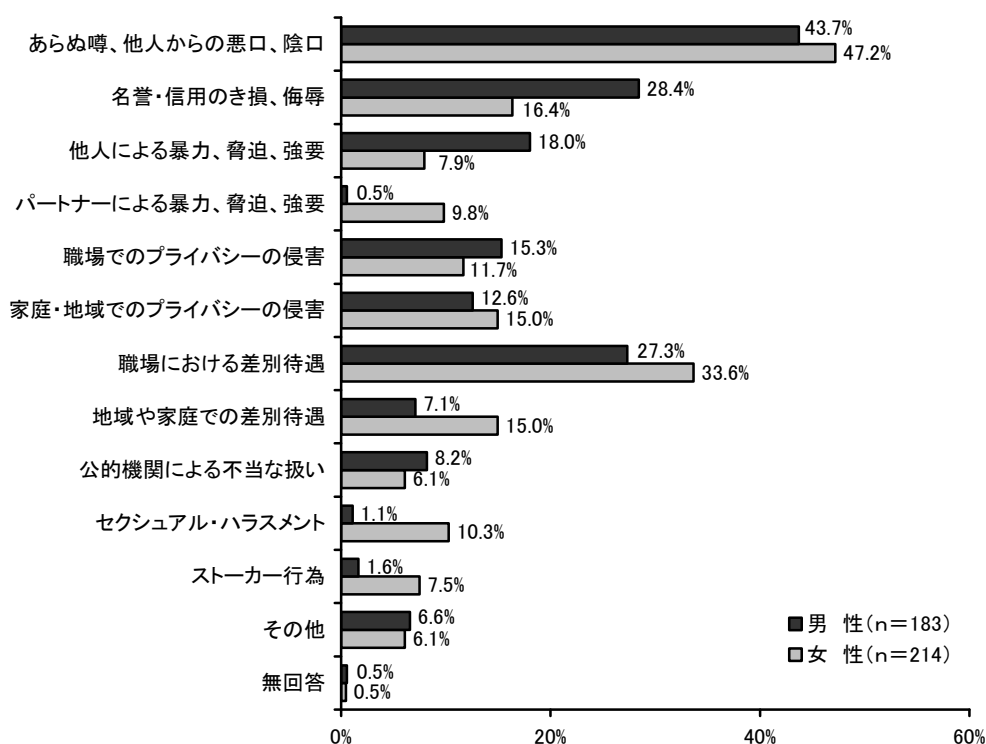


■「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が45.8%で最も高く、次いで「職場における差別待遇」が30.4%、「名誉・信用のき損、侮辱」が21.8%の順となっている。

### 【前回比較】

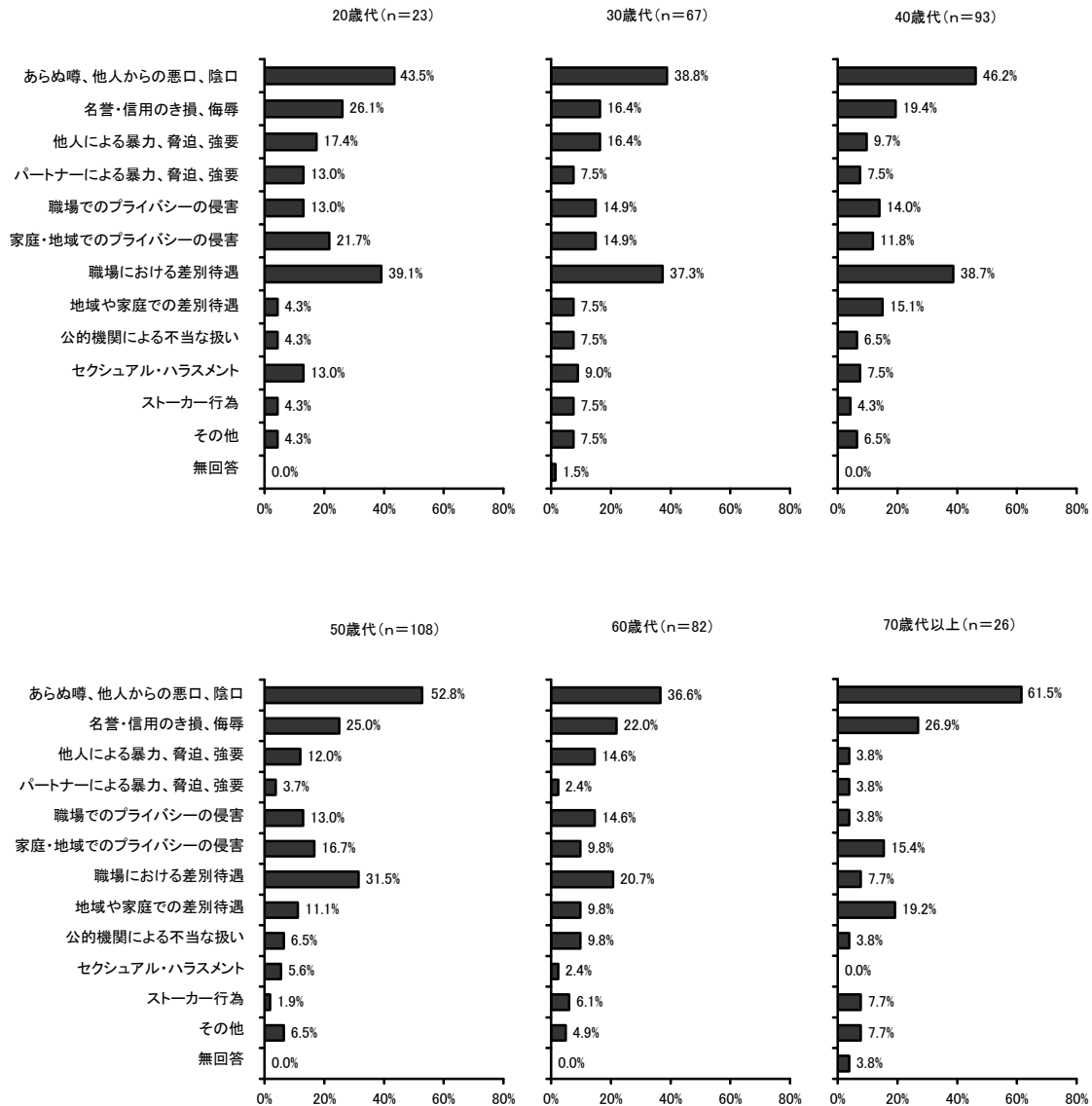
※「公的機関による不当な扱い」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

## 男女別



- 男女共に「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が4割を超えて最も高く、次いで男性は「名誉・信用のき損、侮辱」が28.4%、女性は「職場における差別待遇」が33.6%の順となっている。
- 「パートナーによる暴力、脅迫、強要」「セクシュアル・ハラスメント」「ストーカー行為」の割合は女性が高くなっている。

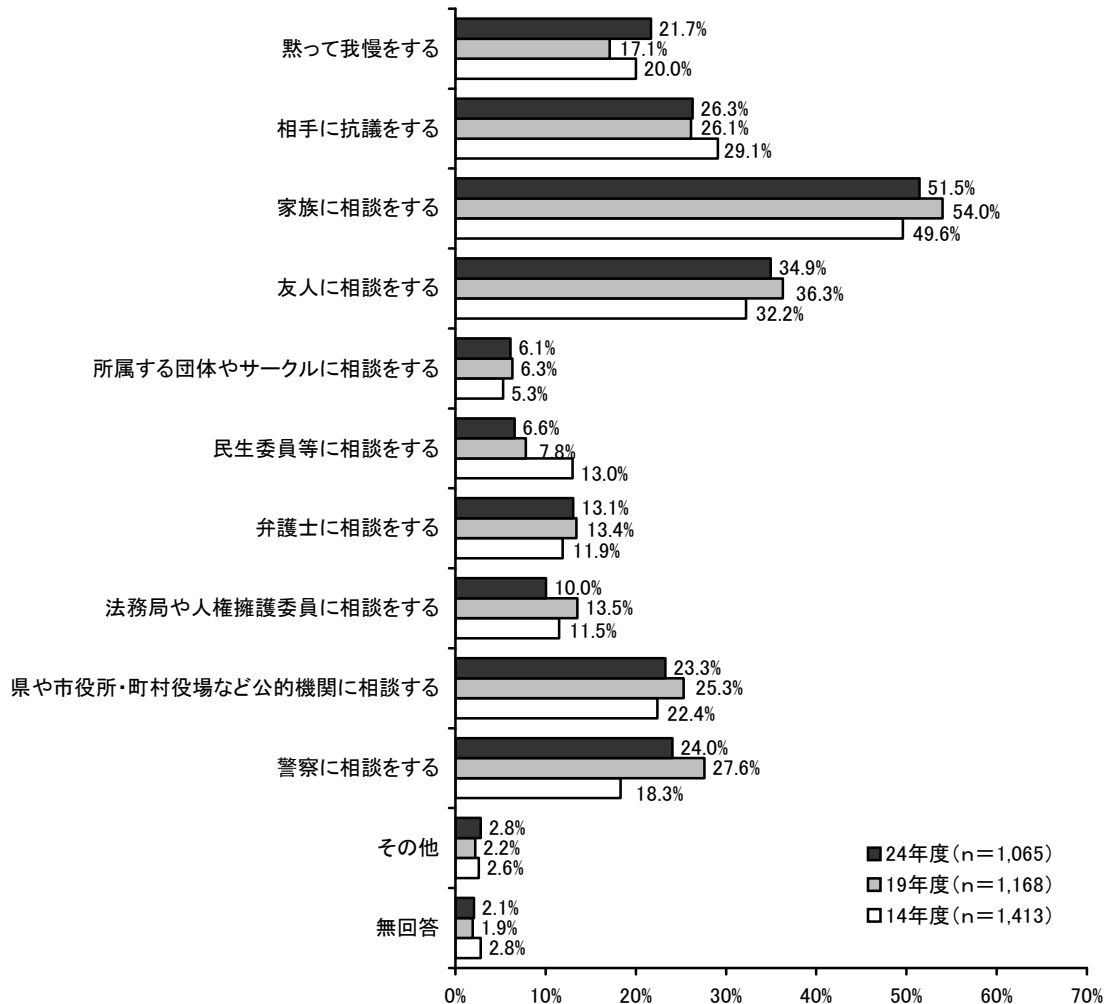
## 年代別



- 全ての年代で「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の割合が最も高くなっている。
- 「職場における差別待遇」は20～40歳代で4割弱と高くなっている。
- 「家庭・地域でのプライバシーの侵害」は20歳代で21.7%、「地域や家庭での差別待遇」は70歳代以上で19.2%と、他の年代に比べてやや高くなっている。

## (6) 人権侵害を受けたときの対応

問11 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



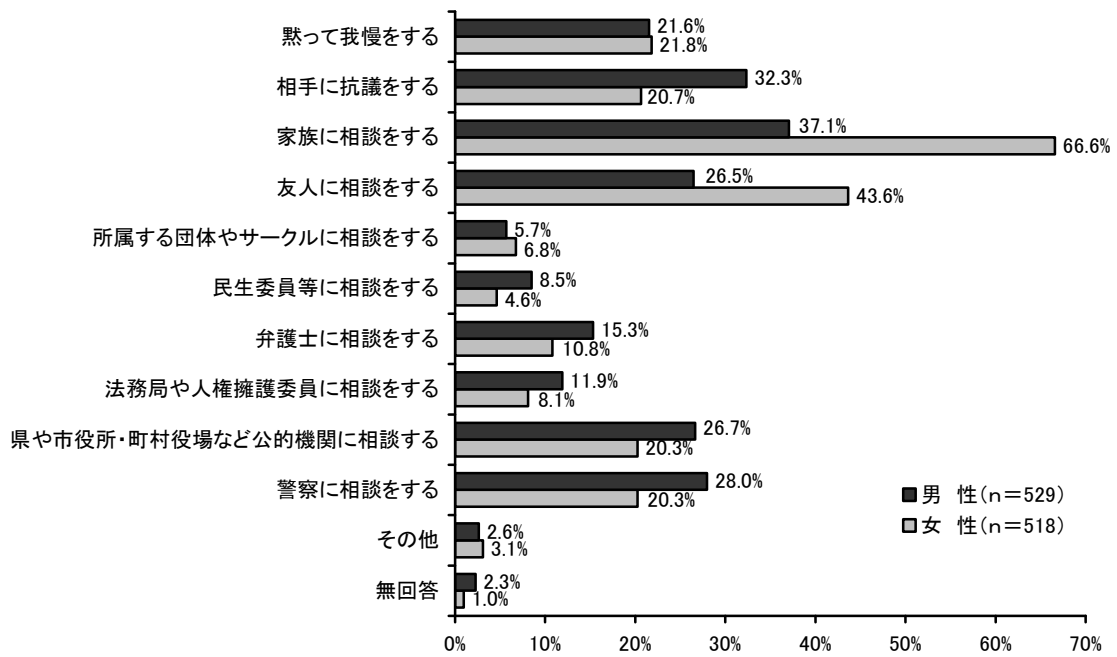
■ 「家族に相談をする」が51.5%で最も高く、次いで「友人に相談をする」が34.9%、「相手に抗議をする」が26.3%の順となっている。

### 【前回比較】

■ 「黙って我慢をする」は前回に比べ4.6ポイント増加している。

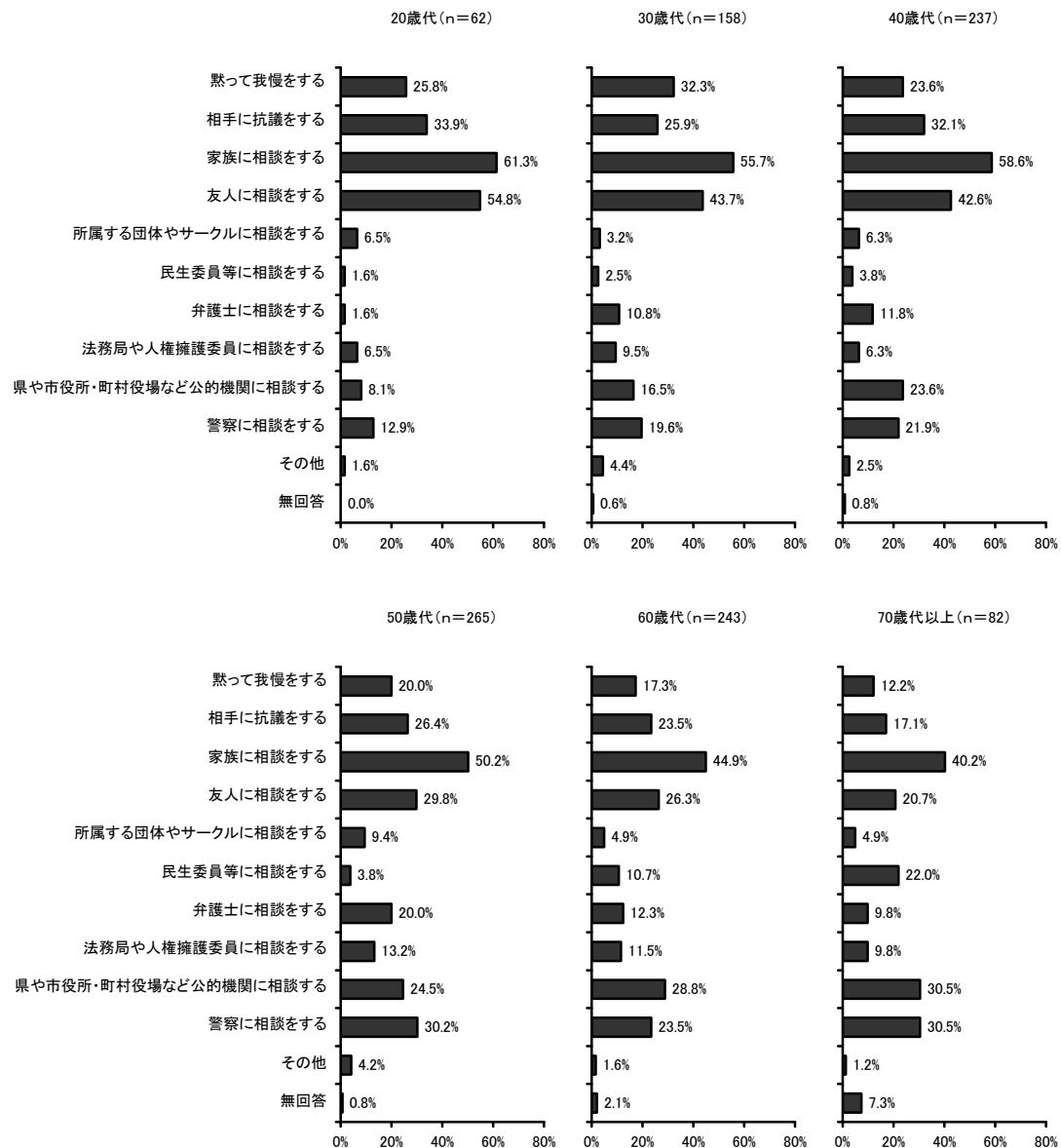


男女別



- 男女共に「家族に相談をする」の割合が最も高く、女性は6割を超えている。
- 「友人に相談をする」は女性が4割を越えて高くなっている。
- 「相手に抗議をする」「県や市役所・町村役場など公的機関に相談する」「警察に相談をする」の割合は男性がやや高い。

# 年代別

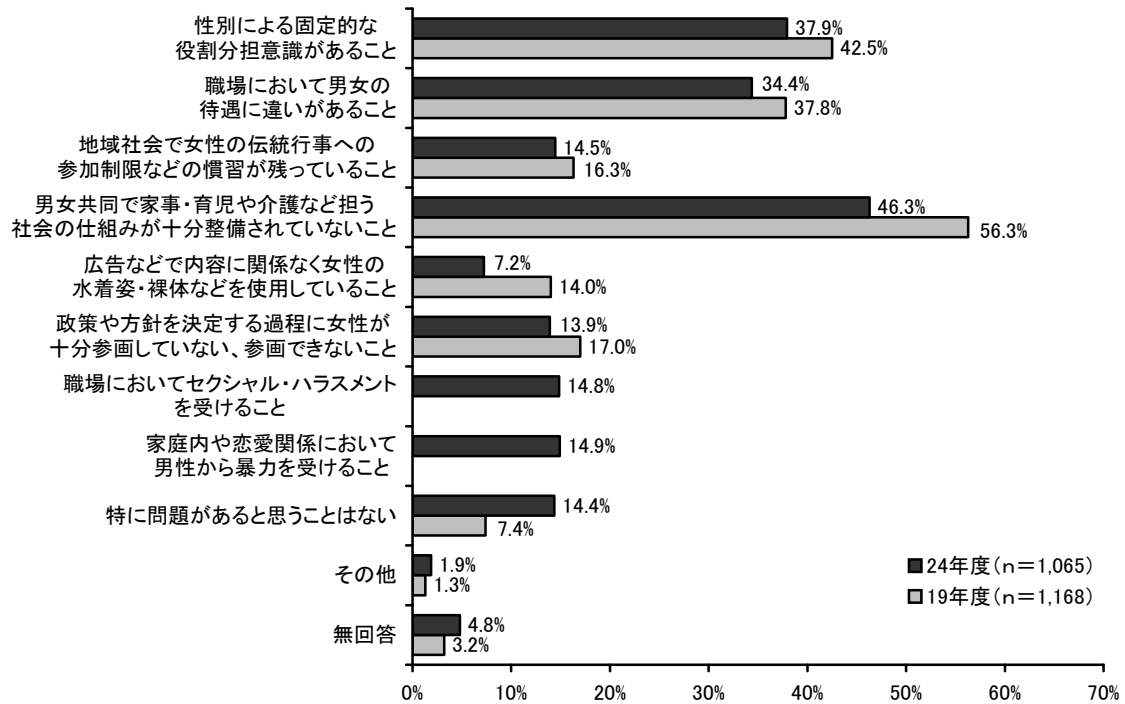


- 全ての年代で「家族に相談をする」の割合が最も高くなっている。
- 「友人に相談をする」は若い年代ほど高く、20歳代で5割を超えている。
- 「県や市役所・町村役場など公的機関に相談する」「警察に相談をする」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

## 3-2 女性の人権について

### (1) 女性の人権問題で、特に問題があると思うこと

問13 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

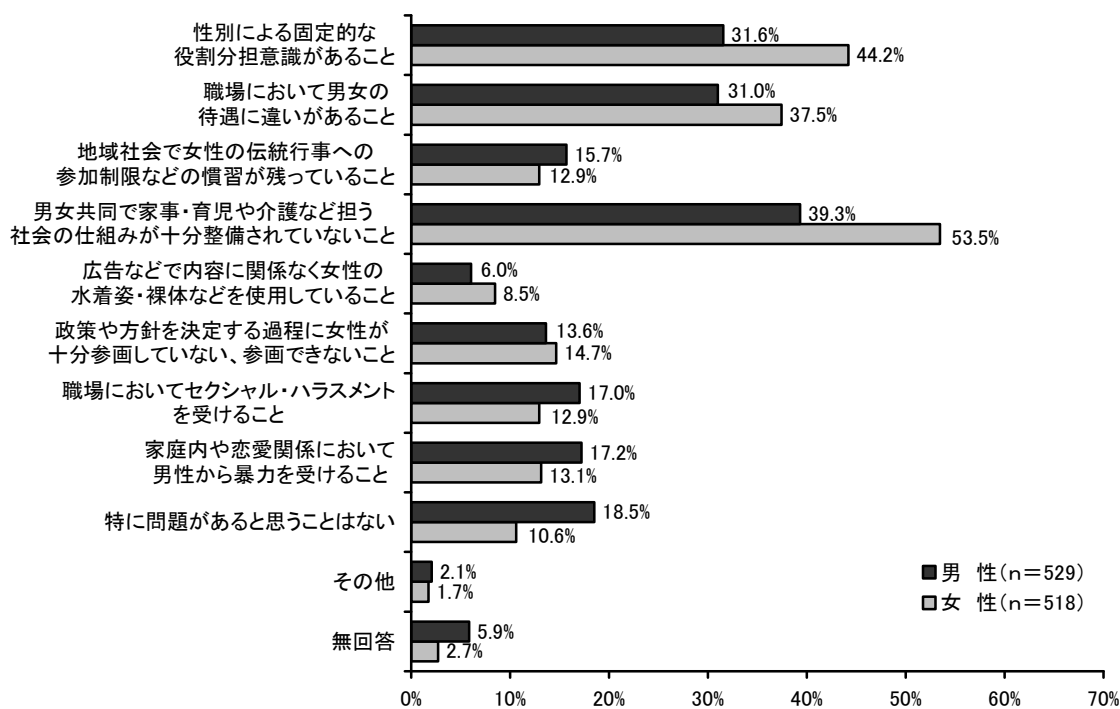


■「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」が46.3%で最も高く、次いで「性別による固定的な役割分担意識があること」が37.9%、「職場において、男女の待遇に違いがあること」が34.4%の順となっている。

#### 【前回比較】

※「職場においてセクシャル・ハラスメントを受けること」「家庭内や恋愛関係において男性から暴力を受けること」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

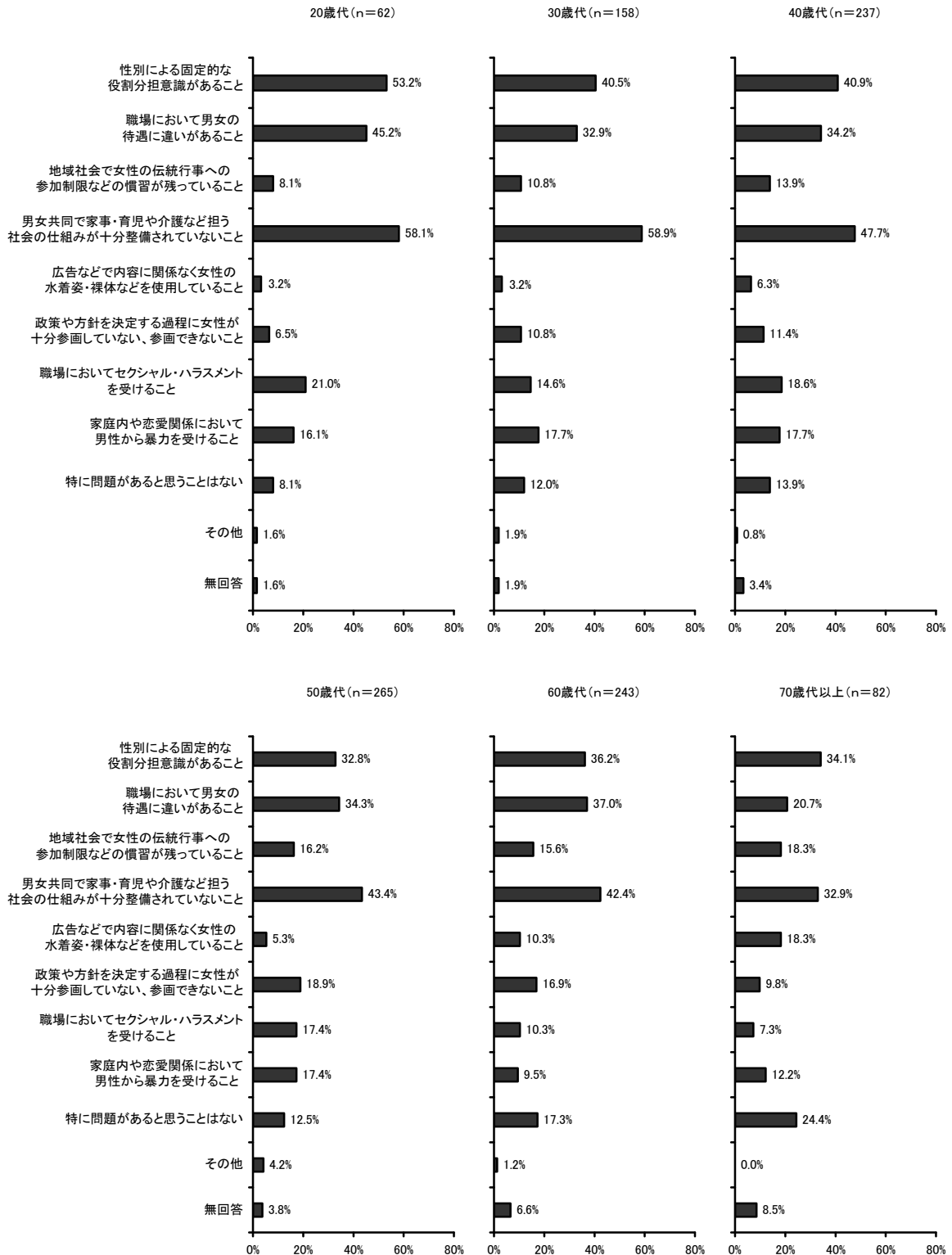
## 男女別



■女性は「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」が53.5%、「性別による固定的な役割分担意識があること」が44.2%と男性より高くなっている。

■「特に問題があると思うことはない」の割合は、男性がやや高い。

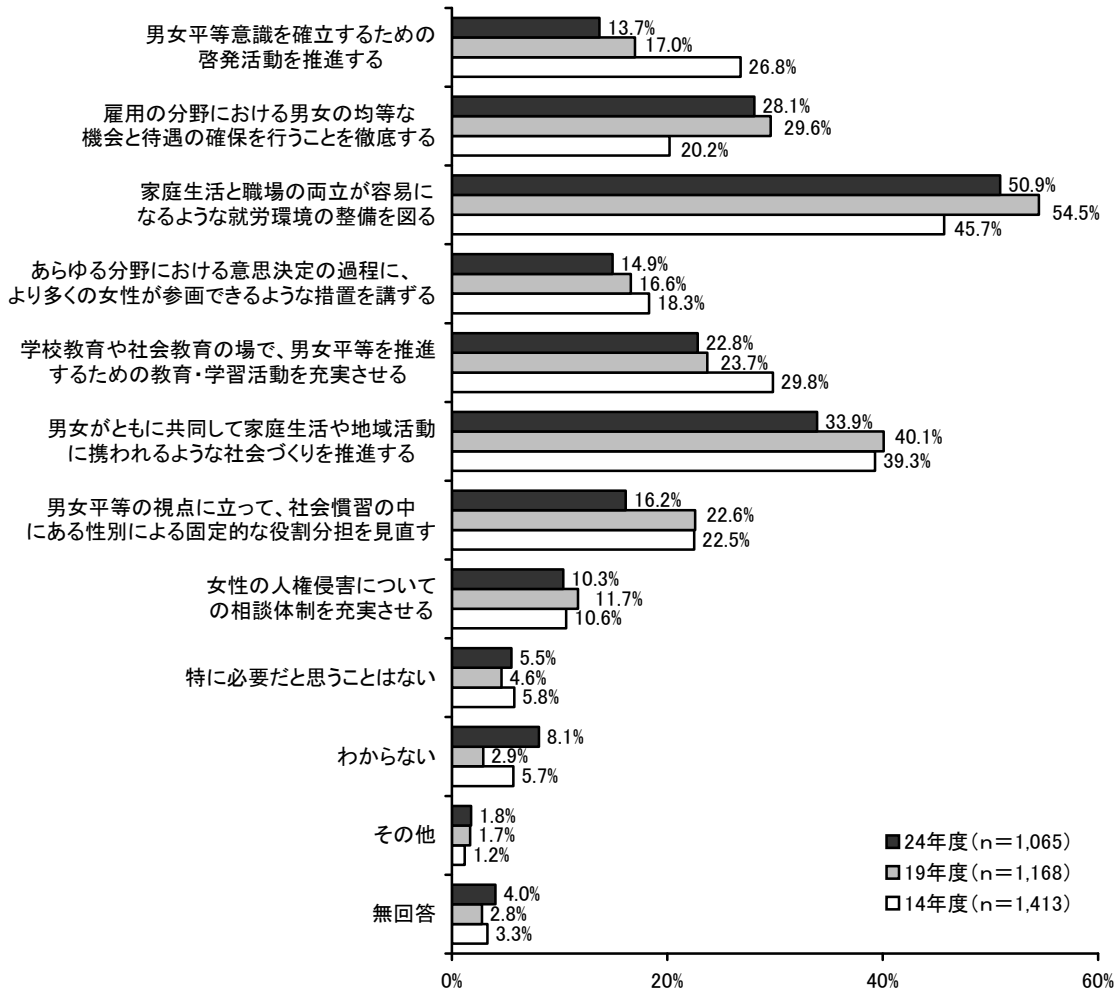
## 年代別



■「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) 女性の人権を尊重していくために必要なこと

問14 女性の人権を尊重していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

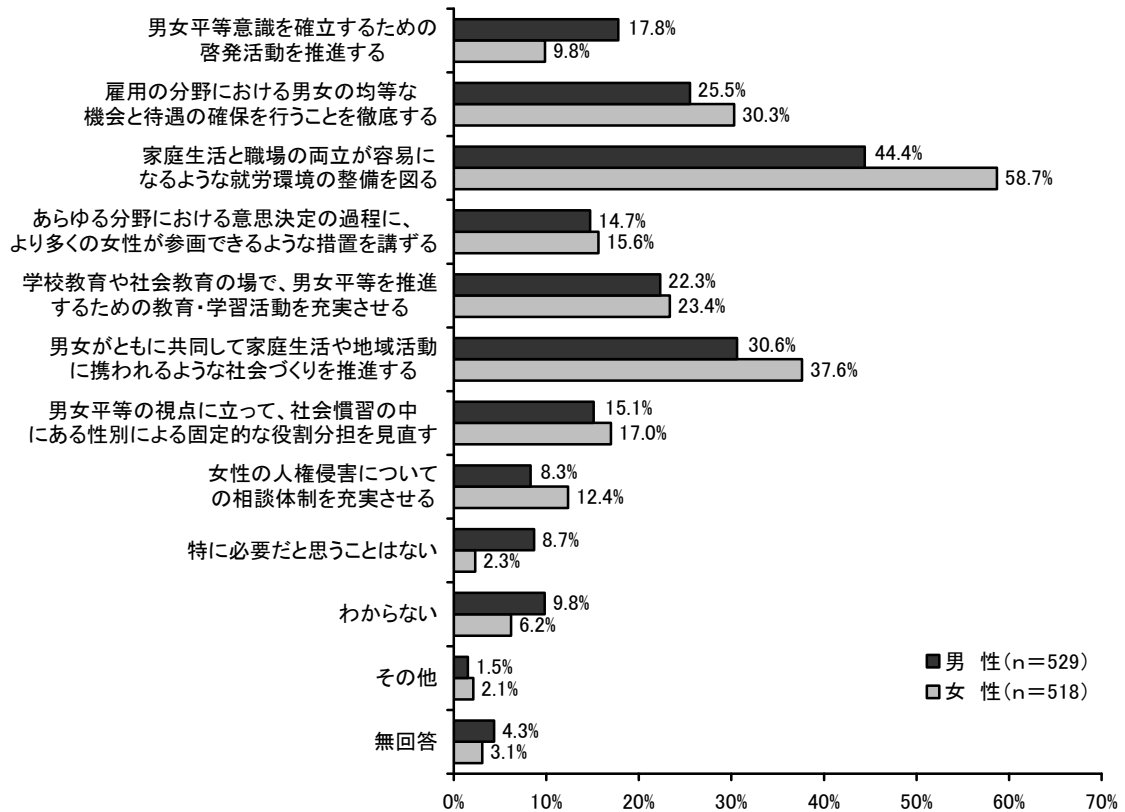


■「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が50.9%で最も高く、次いで「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が33.9%、「雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する」が28.1%の順となっている。

### 【前回比較】

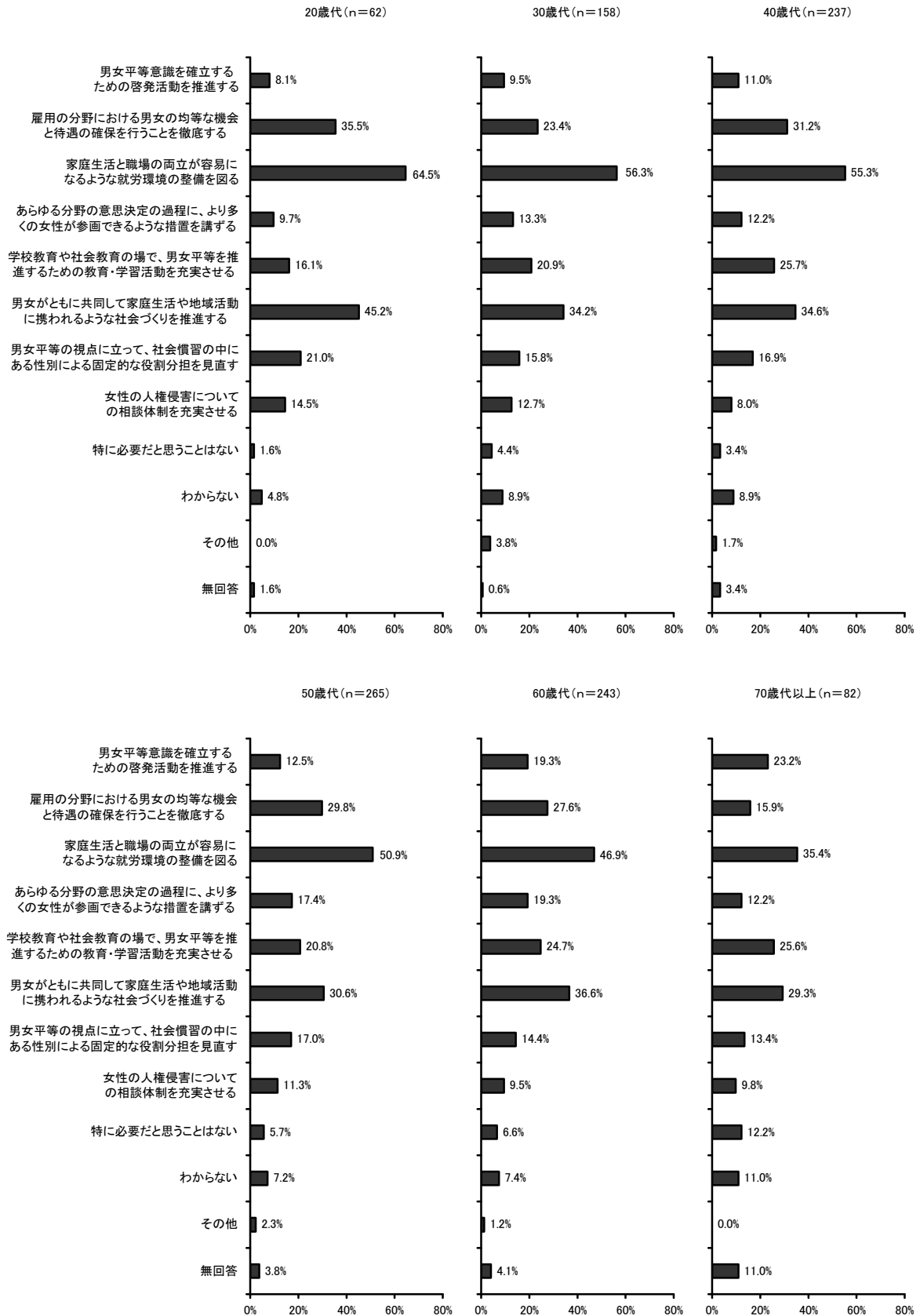
■「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」は前回に比べ6.2ポイント、「男女平等の視点に立って、社会慣習の中にある性別による固定的な役割分担を見直す」は6.4ポイント減少している。

## 男女別



- 男女共に「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」の割合が最も高く、女性は6割弱となっている。次いで「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」「雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する」の順となっている。
- 「男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する」の割合は男性が高く、「女性の人権侵害についての相談体制を充実させる」の割合は女性がやや高い。

# 年代別



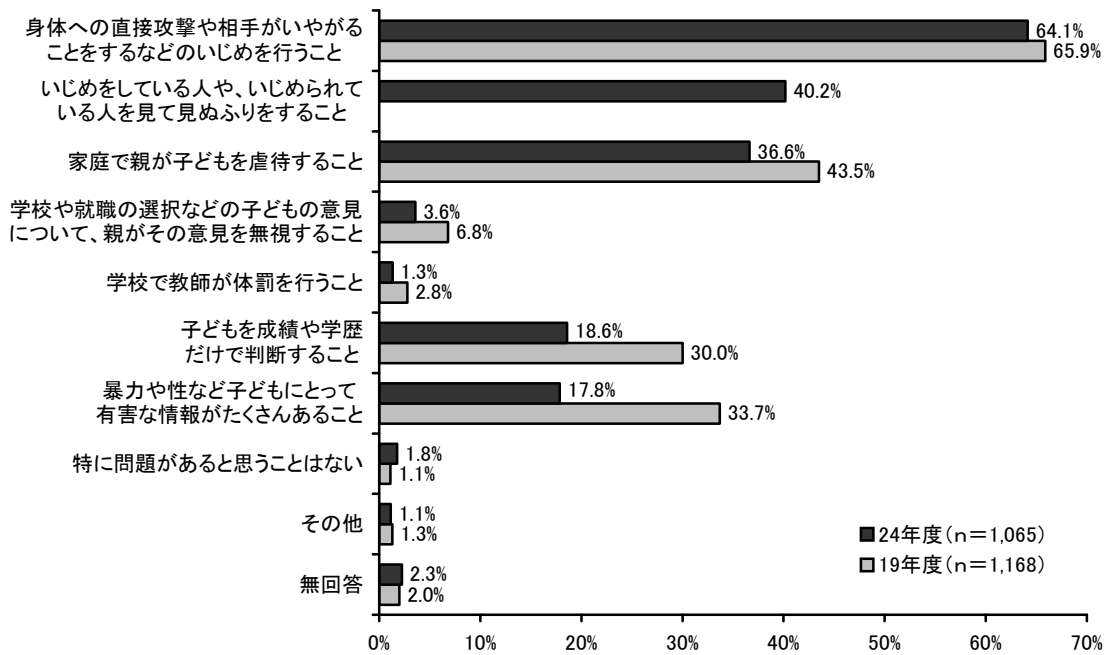


- 全ての年代で「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」の割合が最も高くなっている。
- 「男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。

### 3-3 子どもの人権について

#### (1) 子どもの人権問題で、特に問題があると思うこと

問16 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

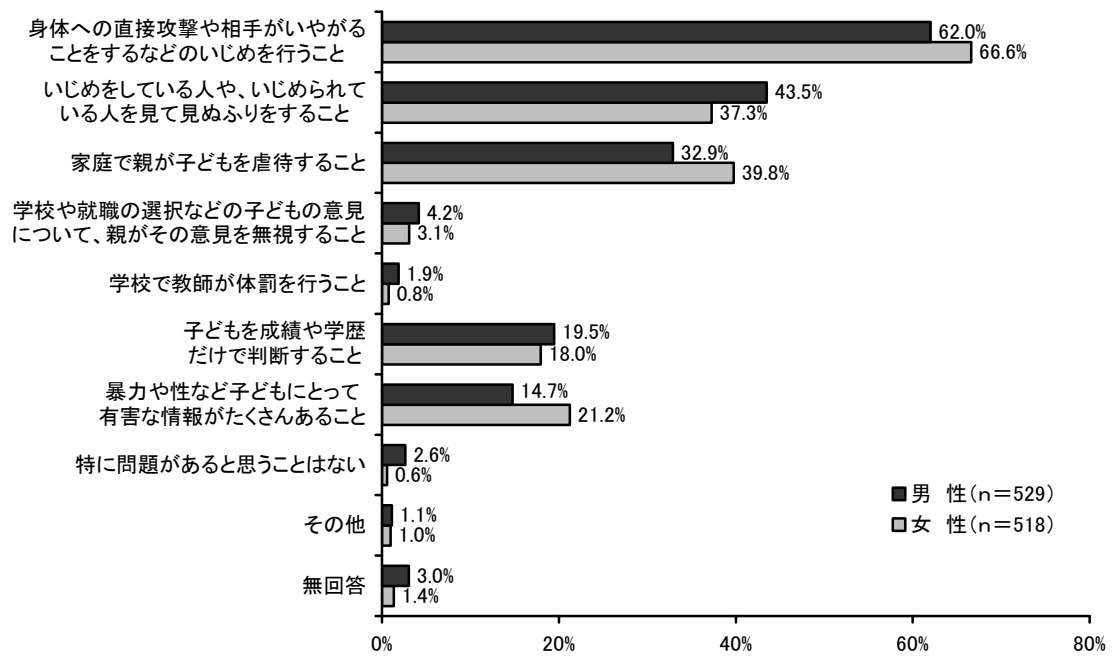


■「身体への直接攻撃や相手がいやがることをするなどのいじめを行うこと」が64.1%で最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」が40.2%、「家庭で親が子どもを虐待すること」が36.6%の順となっている。

#### 【前回比較】

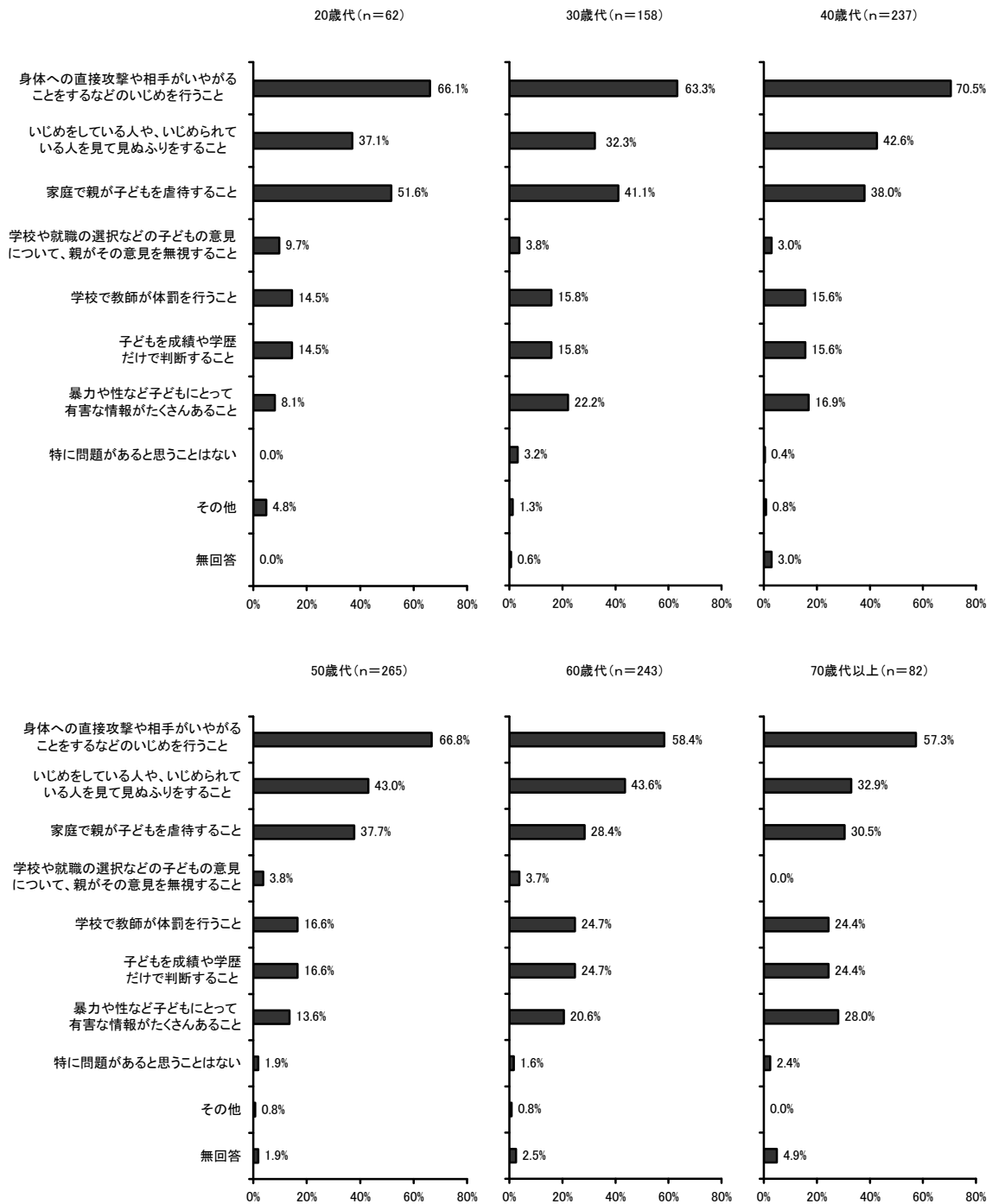
※「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



■男女間で大きな違いはみられない。

## 年代別

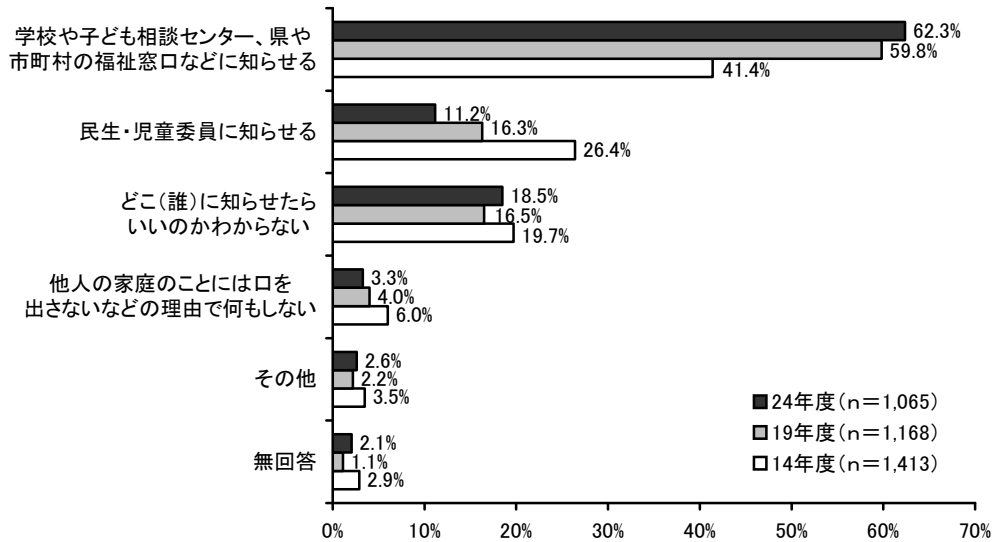


■ 全ての年代で「身体への直接攻撃や相手がいやがることをするなどのいじめを行うこと」の割合が最も高く、40歳代では7割を超えている。

■ 「家庭で親が子どもを虐待すること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) 児童虐待を発見したときの対応

問17 あなたが児童虐待を発見したらどうされますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

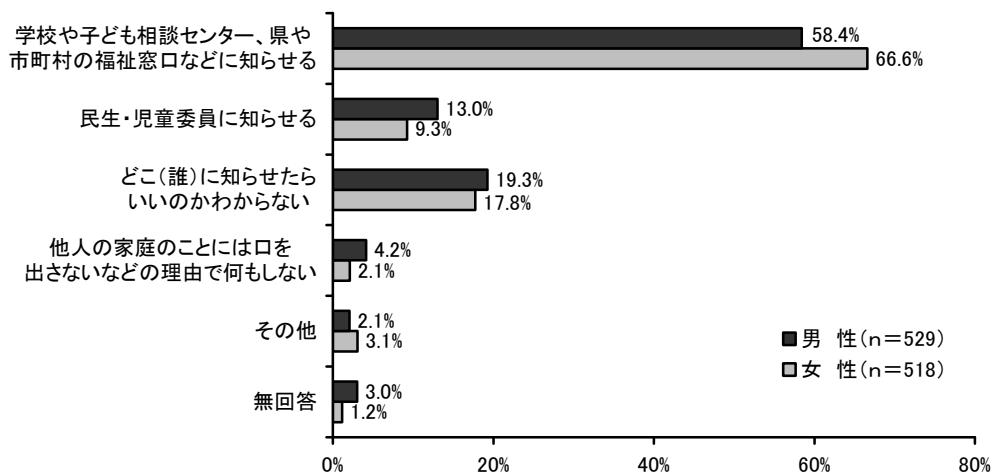


- 「学校や子ども相談センター、県や市町村の福祉窓口などに知らせる」が62.3%で最も高く、次いで「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」が18.5%、「民生・児童委員に知らせる」が11.2%の順となっている。

### 【前回比較】

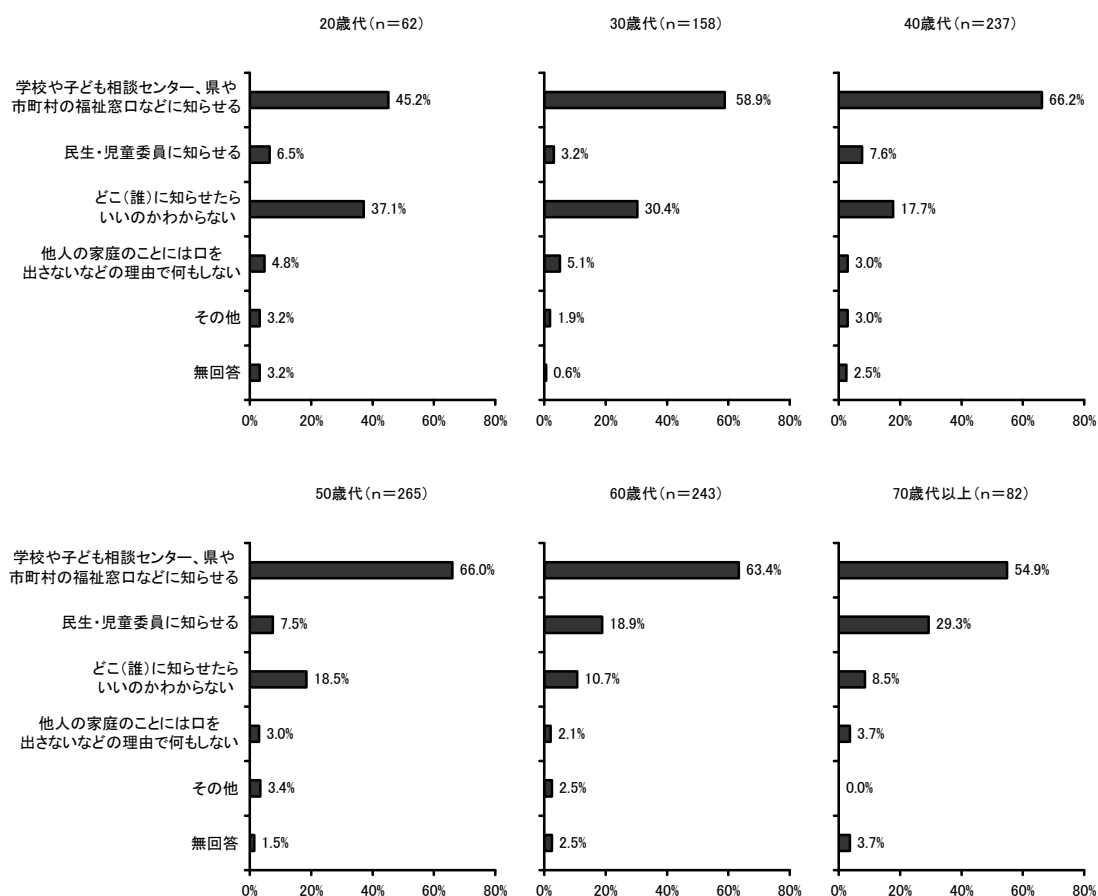
- 「学校や子ども相談センター、県や市町村の福祉窓口などに知らせる」は前回に比べ2.5ポイント、「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」は2.0ポイント増加している。

### 男女別



- 男女共に「学校や子ども相談センター、県や市町村の福祉窓口などに知らせる」の割合が最も高く、女性は6割を超えている。

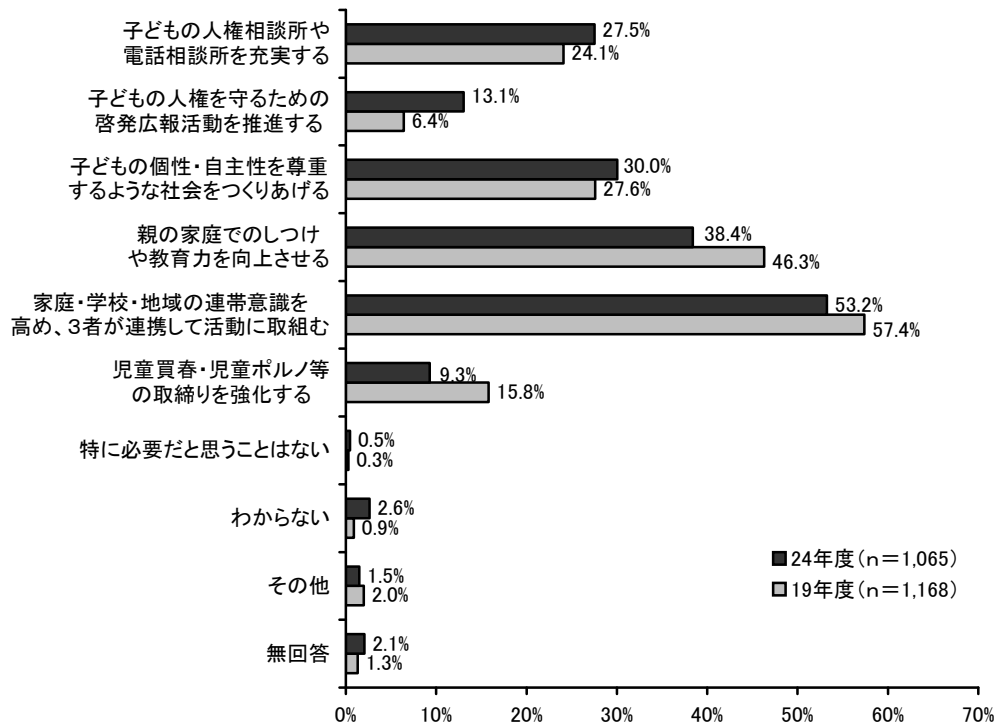
## 年代別



- 「民生・児童委員に知らせる」は70歳代以上で3割弱と、他の年代に比べて高くなっている。
- 「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」の割合は、若い年代ほど高くなっており、20歳代では4割弱となっている。

### (3) 子どもの人権を尊重するために必要なこと

問18 子どもの人権を尊重するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

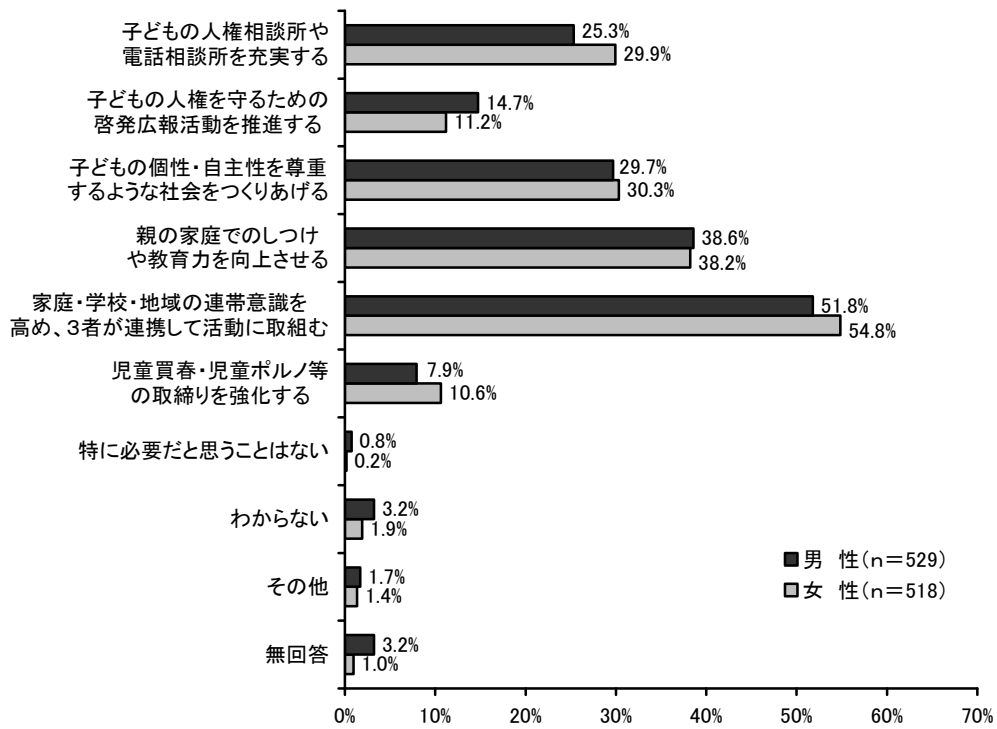


■「家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む」が53.2%で最も高く、次いで「親の家庭でのしつけや教育力を向上させる」が38.4%、「子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくりあげる」が30.0%の順となっている。

#### 【前回比較】

■「子どもの人権相談所や電話相談所を充実する」は前回に比べ3.4ポイント、「子どもの人権を守るための啓発広報活動を推進する」は6.7ポイント増加している。

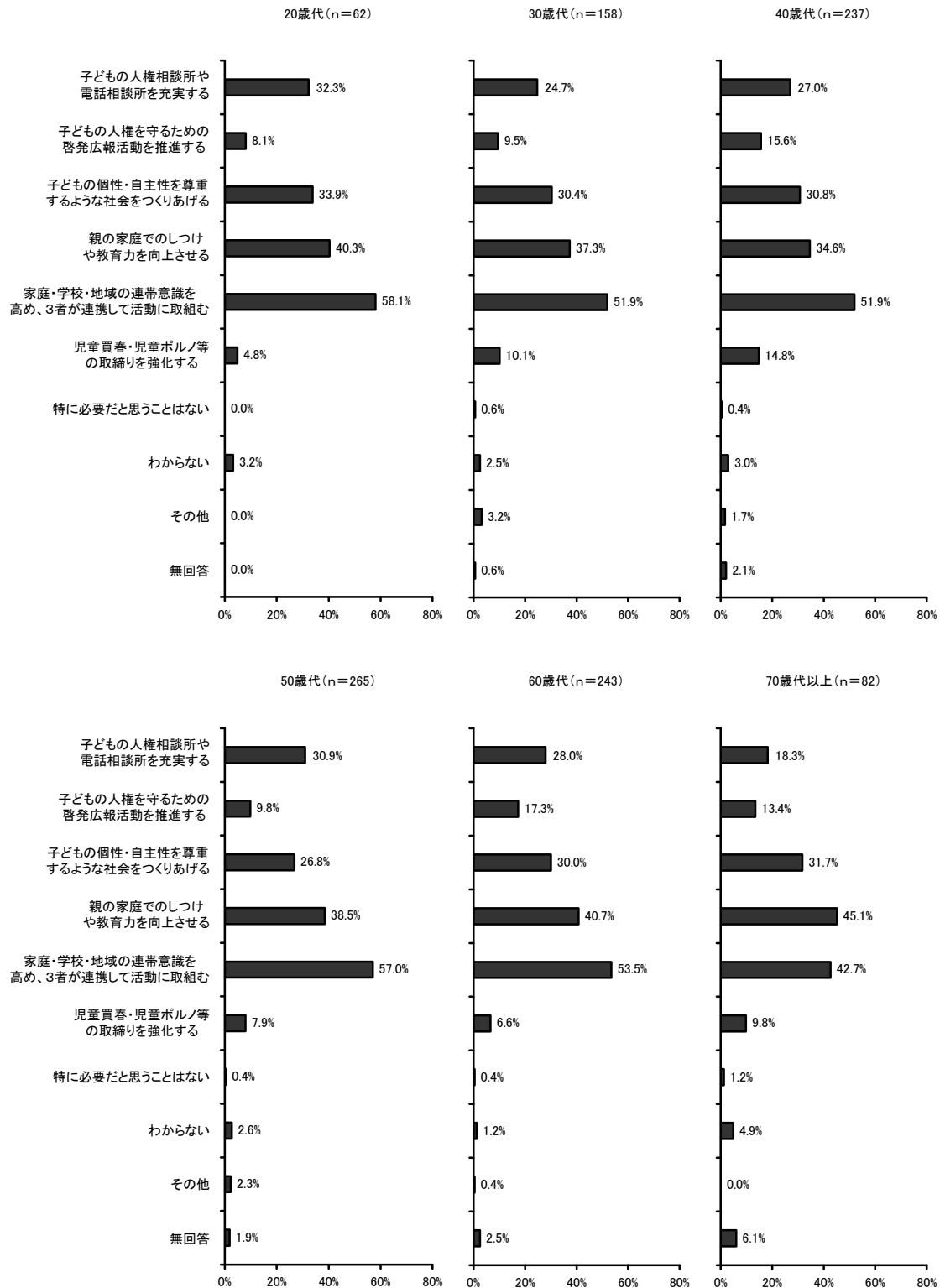
男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「子どもの人権相談所や電話相談所を充実する」の割合は女性が、「子どもの人権を守るための啓発広報活動を推進する」の割合は男性がやや高い。



# 年代別

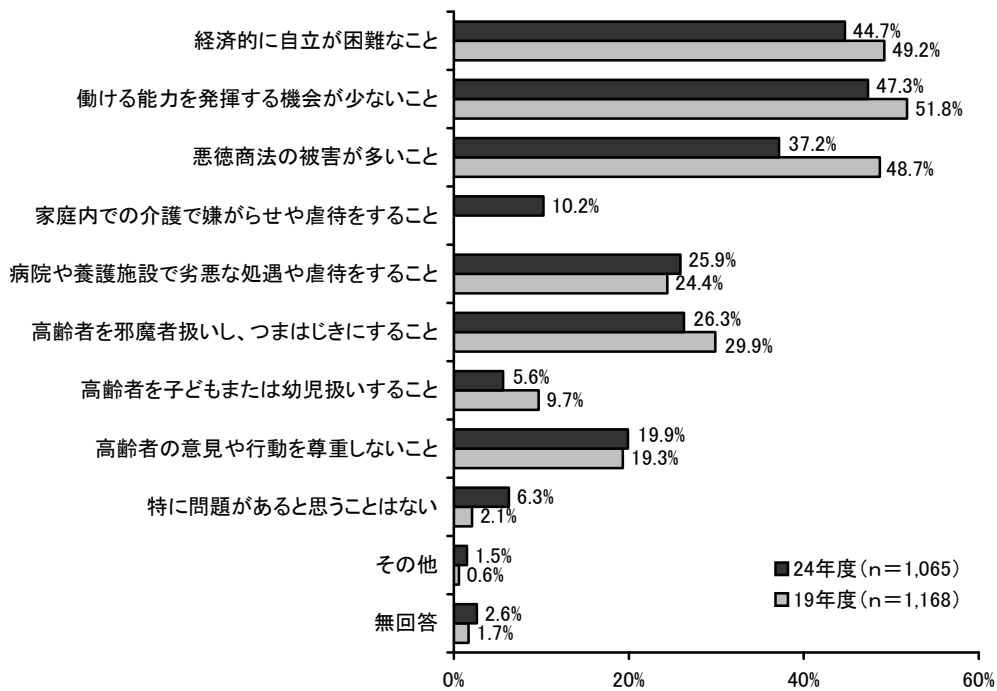


■ 「家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む」の割合は20～60歳代で最も高く、「親の家庭でのしつけや教育力を向上させる」の割合は70歳代以上で最も高くなっている。

### 3-4 高齢者の人権について

#### (1) 高齢者の人権問題で、特に問題があると思うこと

問20 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

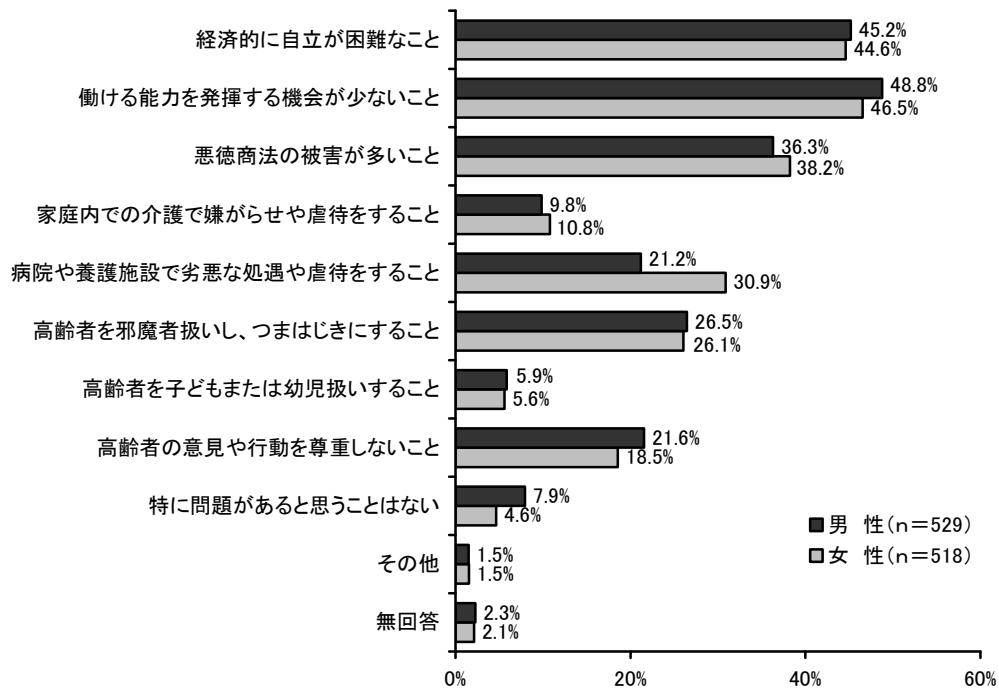


■「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が47.3%で最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」が44.7%、「悪徳商法の被害が多いこと」が37.2%の順となっている。

#### 【前回比較】

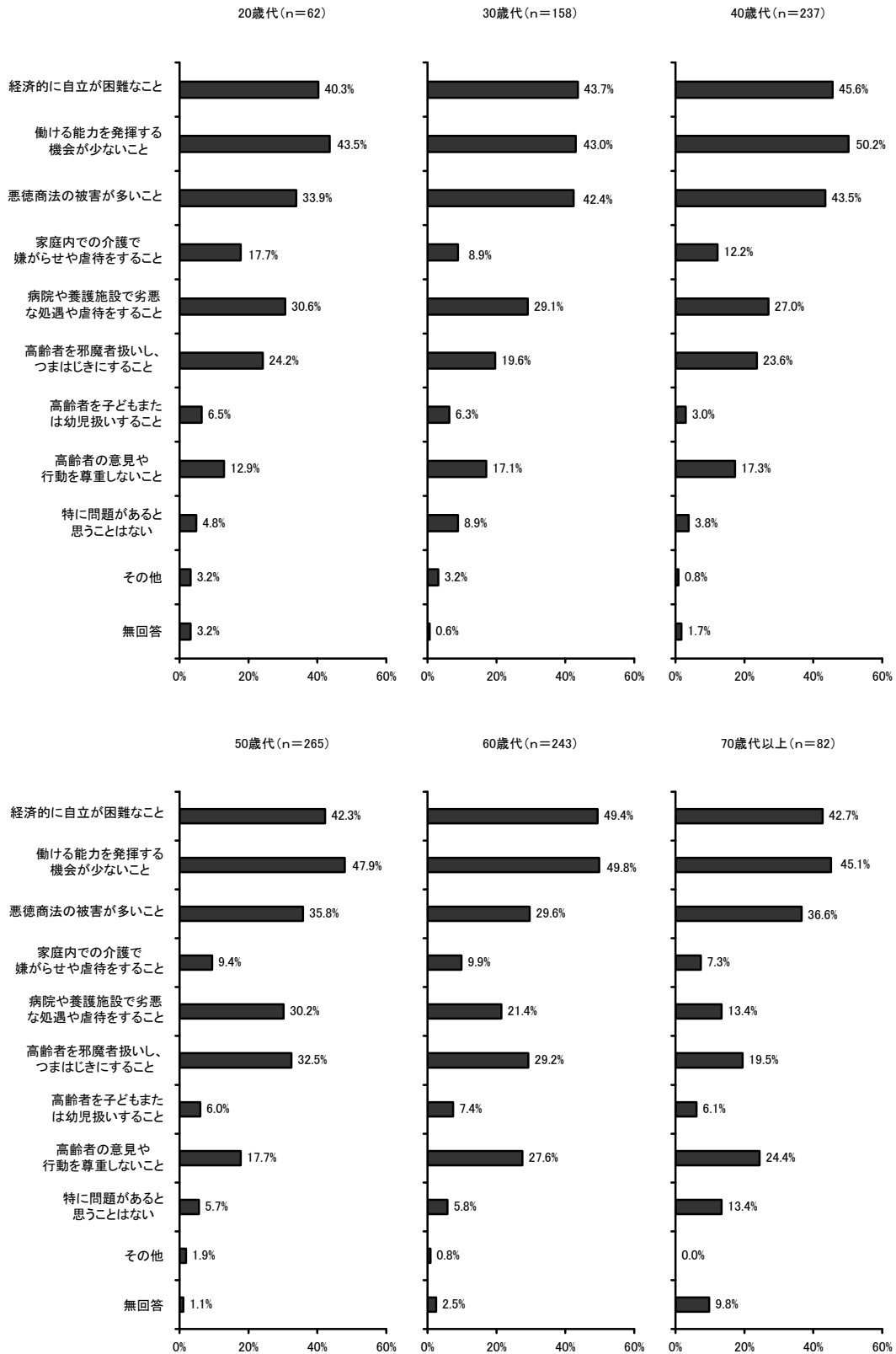
※「家庭内での介護で嫌がらせや虐待をすること」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「病院や養護施設で劣悪な処遇や虐待をすること」の割合は女性がやや高い。

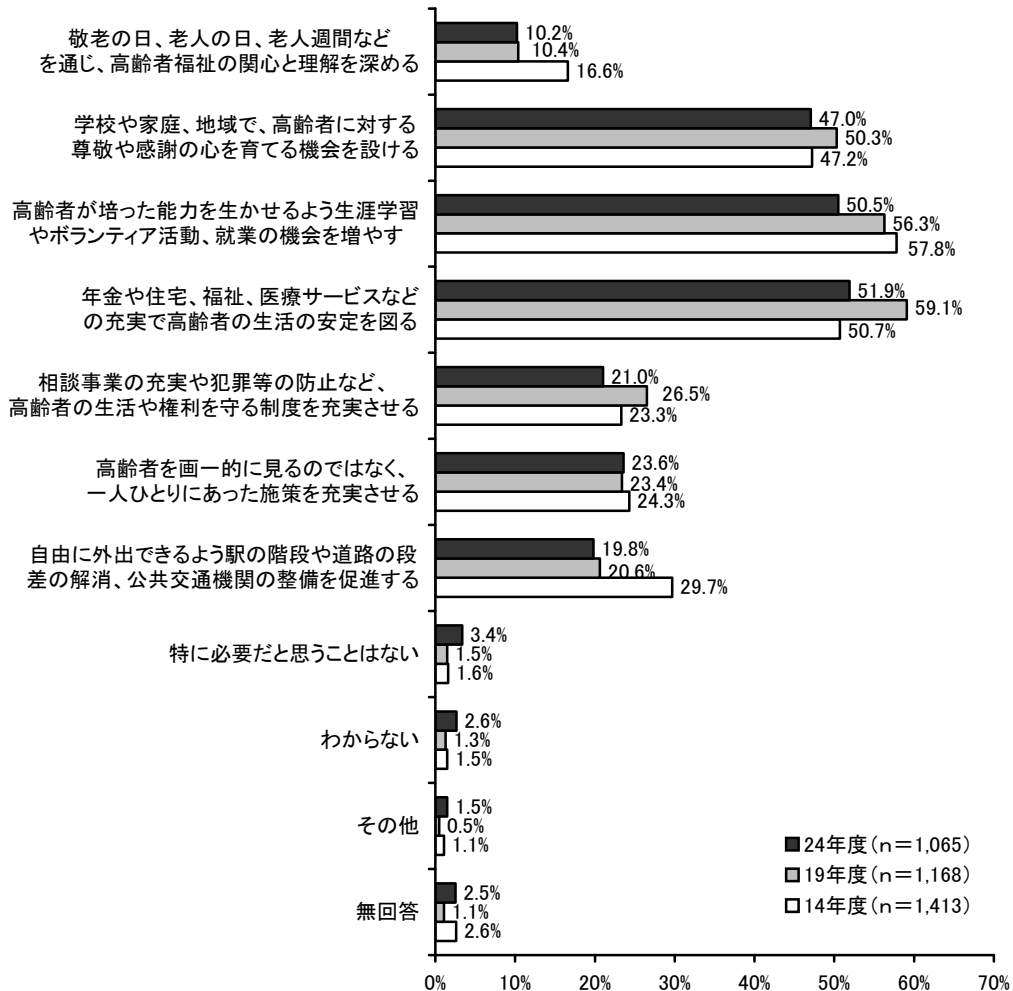
# 年代別



■「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」は、60歳代で3割弱と他の年代に比べて高い。

## (2) 高齢者の人権を守るために必要なこと

問21 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

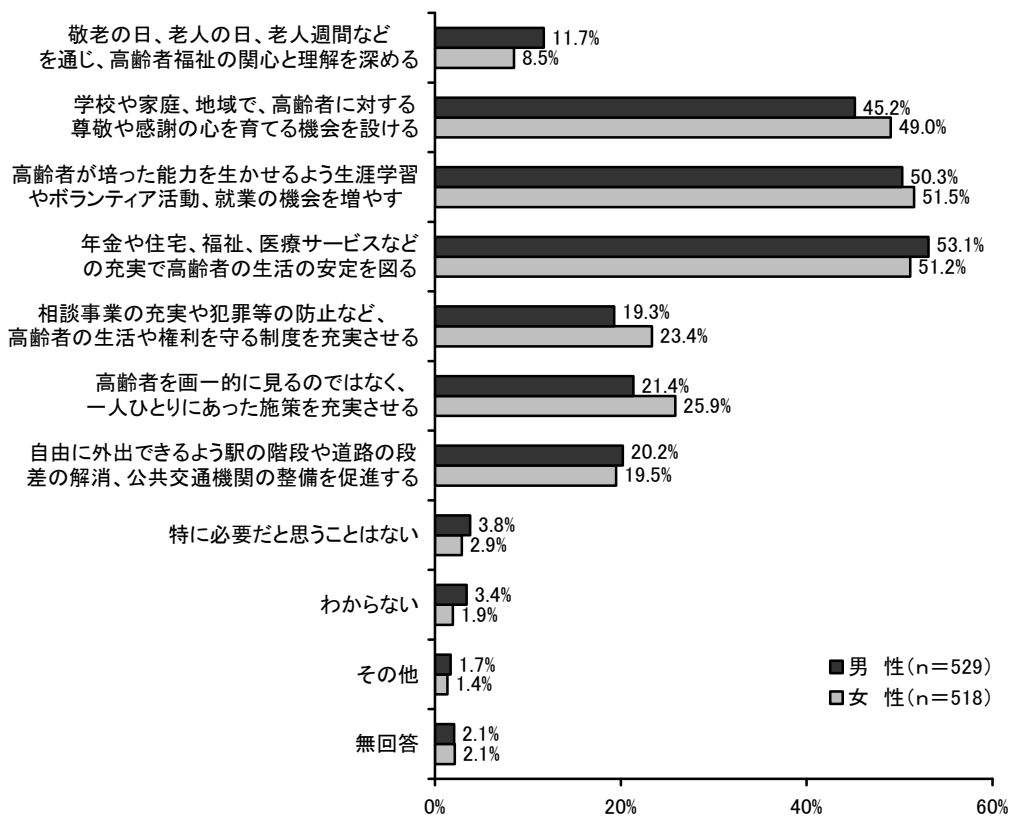


■「年金や住宅、福祉、医療サービスなどの充実で高齢者の生活の安定を図る」が51.9%で最も高く、次いで「高齢者が培った能力を生かせるよう生涯学習やボランティア活動、就業の機会を増やす」が50.5%、「学校や家庭、地域で高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる機会を設ける」が47.0%の順となっている。

### 【前回比較】

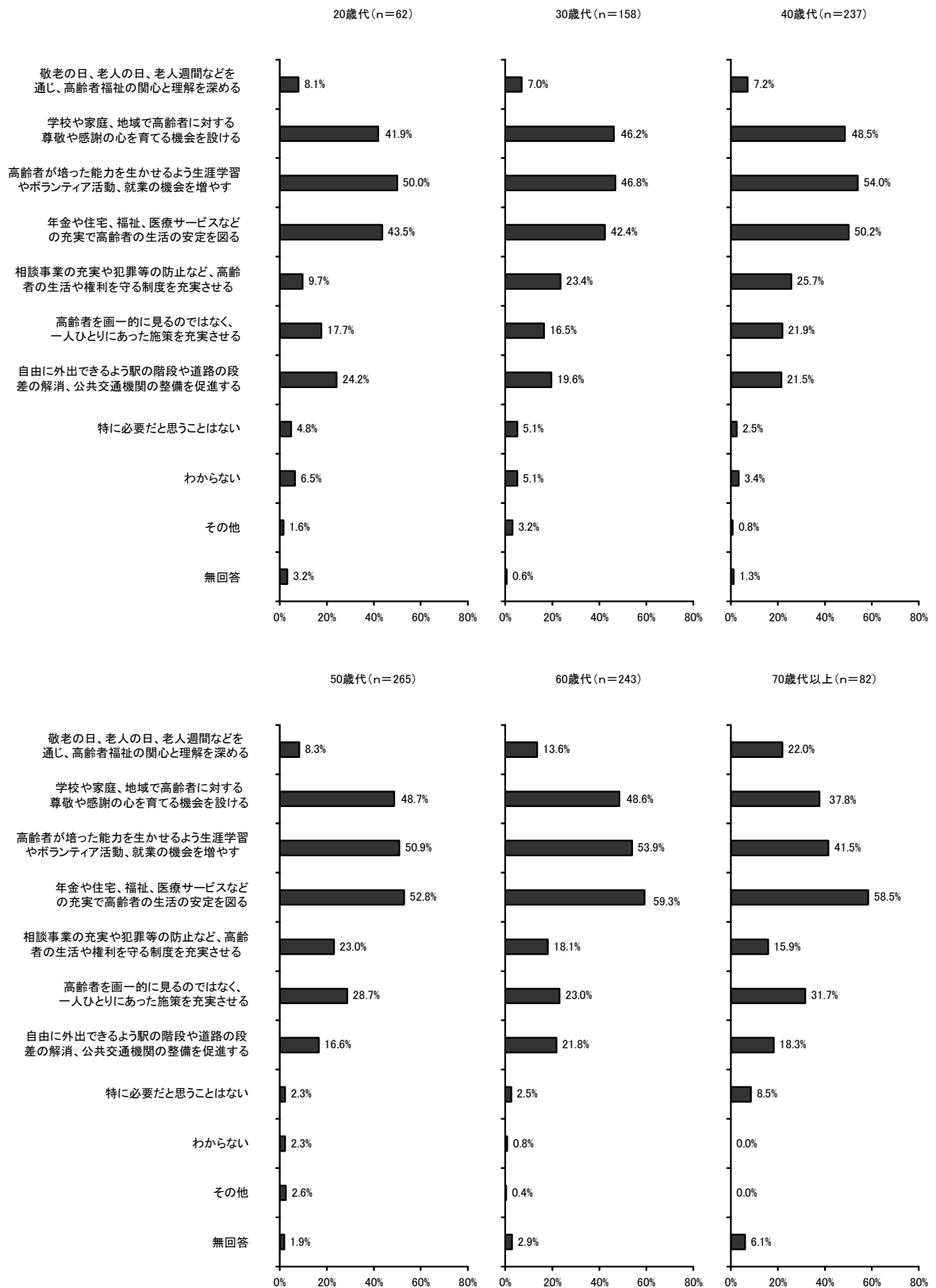
■「特に必要だと思うことはない」は前回に比べ1.9ポイント増加している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられない。

# 年代別

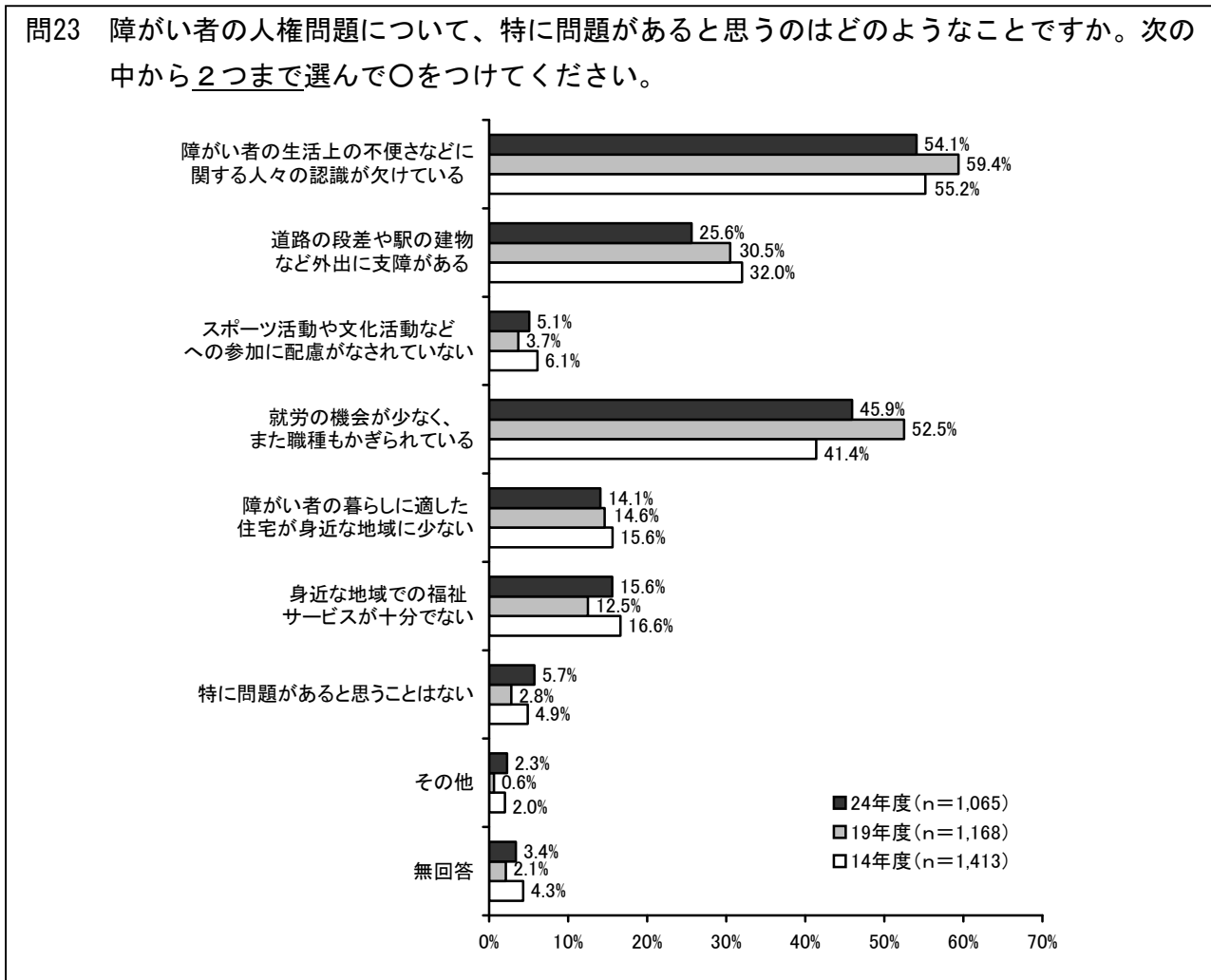


■「敬老の日、老人の日、老人週間などを通じ、高齢者福祉の関心と理解を深める」は70歳代以上で22.0%と、他の年代に比べて高くなっている。

### 3-5 障がい者の人権について

#### (1) 障がい者の人権問題で、特に問題があると思うこと

問23 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。



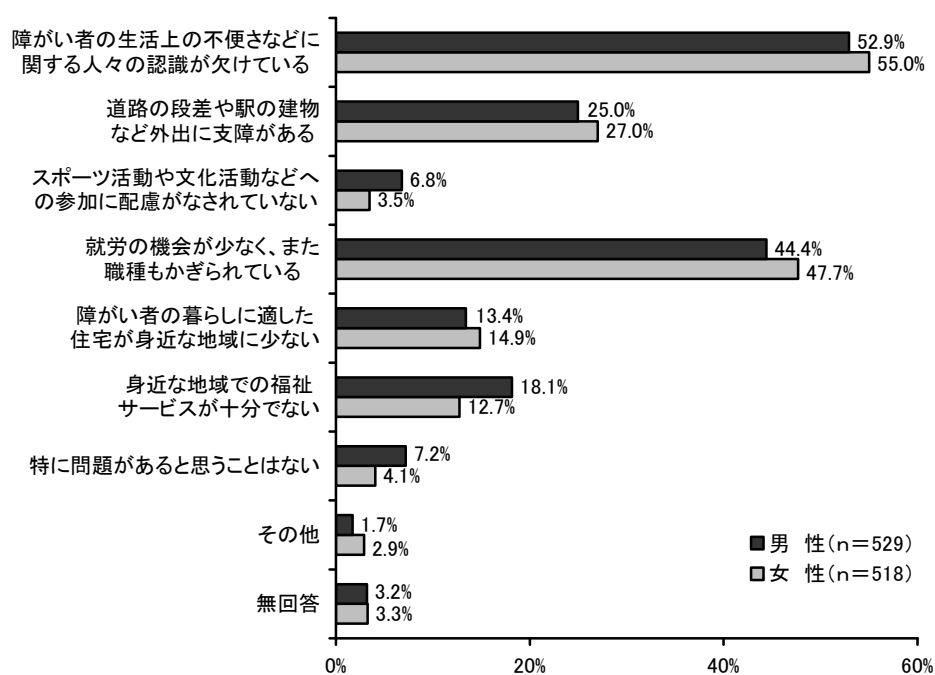
■「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けている」が54.1%で最も高く、次いで「就労の機会が少なく、また職種もかぎられている」が45.9%、「道路の段差や駅の建物など外出に支障がある」が25.6%の順となっている。

#### 【前回比較】

■「身近な地域での福祉サービスが十分でない」は前回に比べ3.1ポイント増加している。

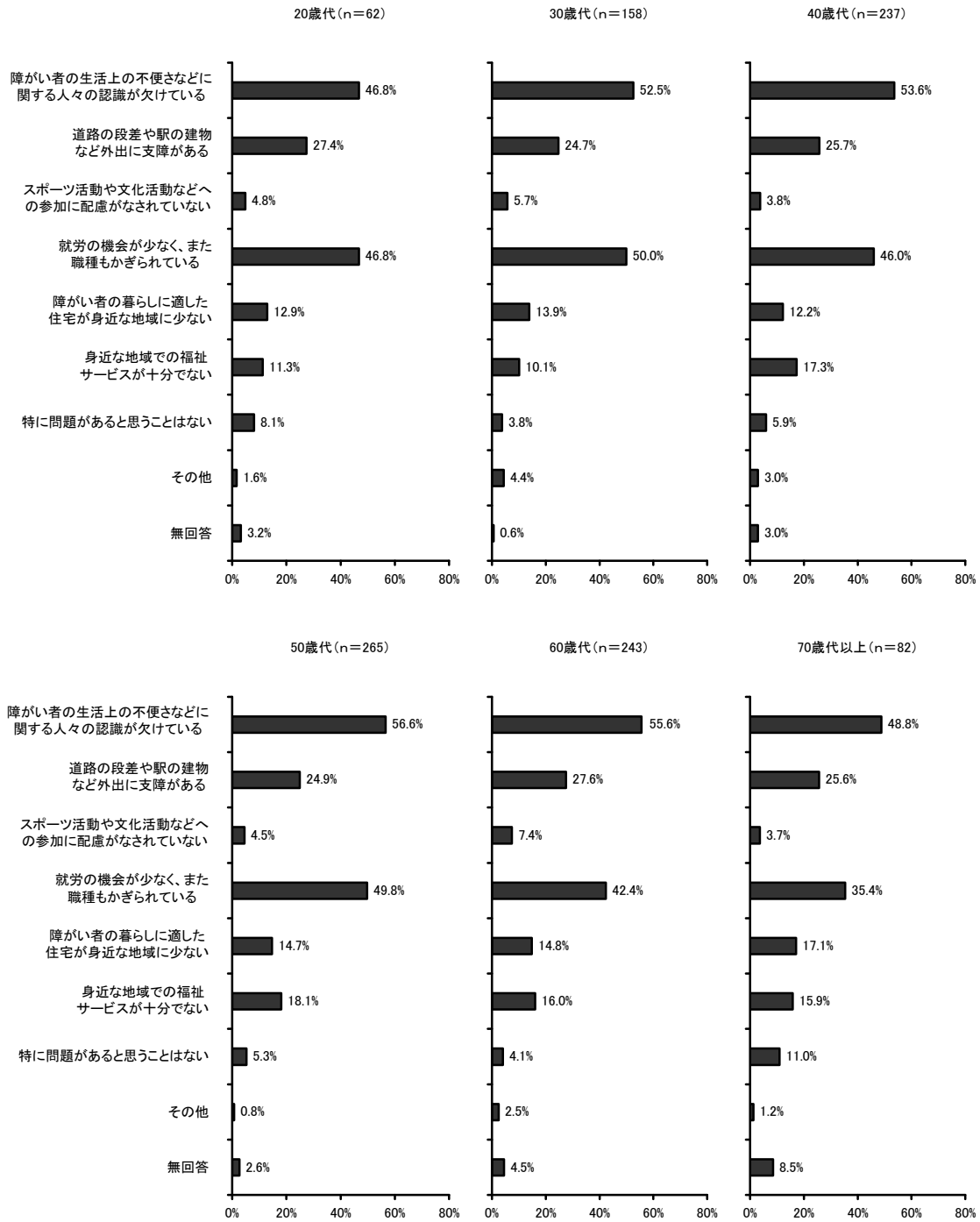


## 男女別



- 男女共に「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けている」の割合が最も高く、5割を超えている。
- 「スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていない」「身近な地域での福祉サービスが十分でない」「特に問題があると思うことはない」の割合は男性がやや高い。

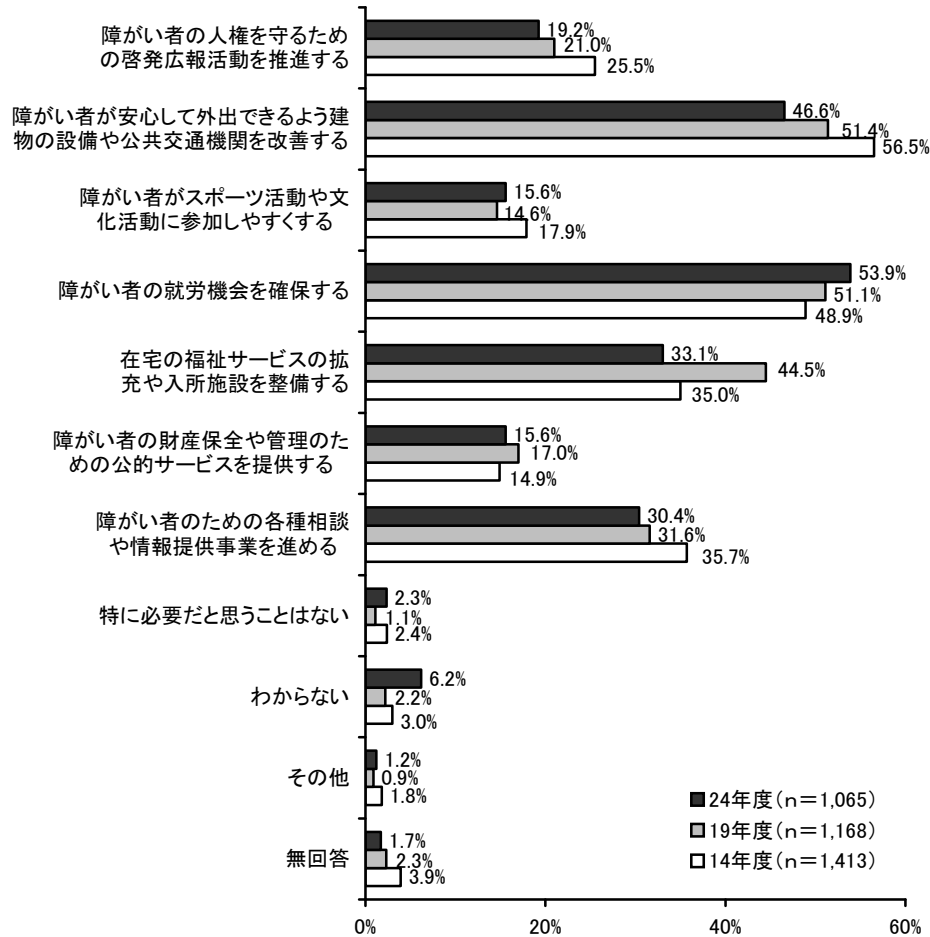
# 年代別



■年代別で大きな違いはみられない。

## (2) 障がい者の人権を守るために必要なこと

問24 障がいのある人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

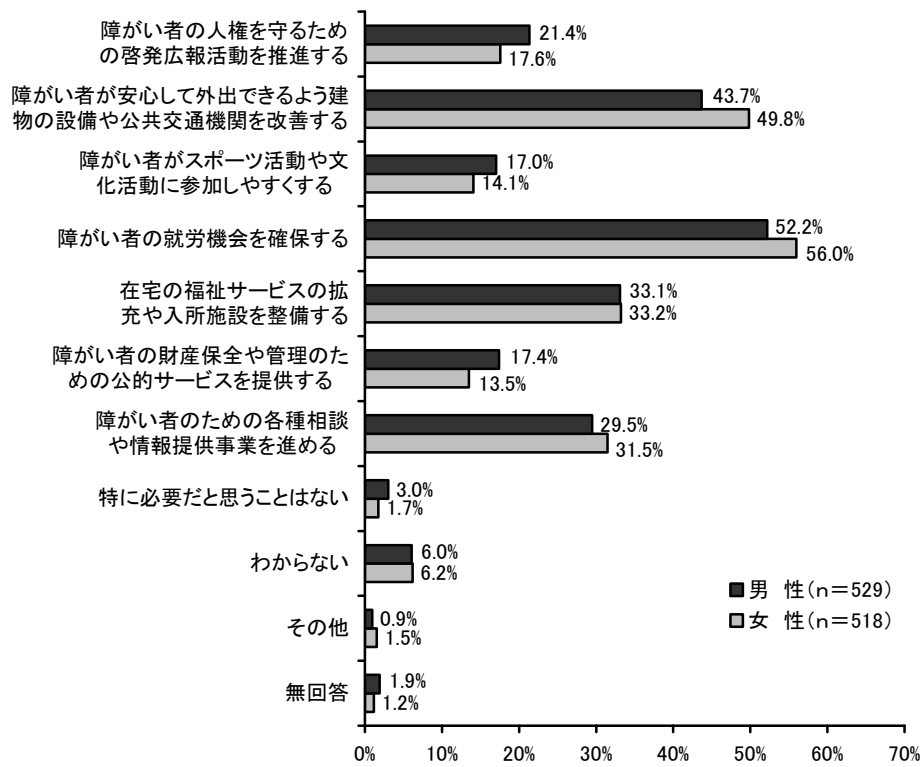


■「障がい者の就労機会を確保する」が53.9%で最も高く、次いで「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」が46.6%、「在宅の福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」が33.1%の順となっている。

### 【前回比較】

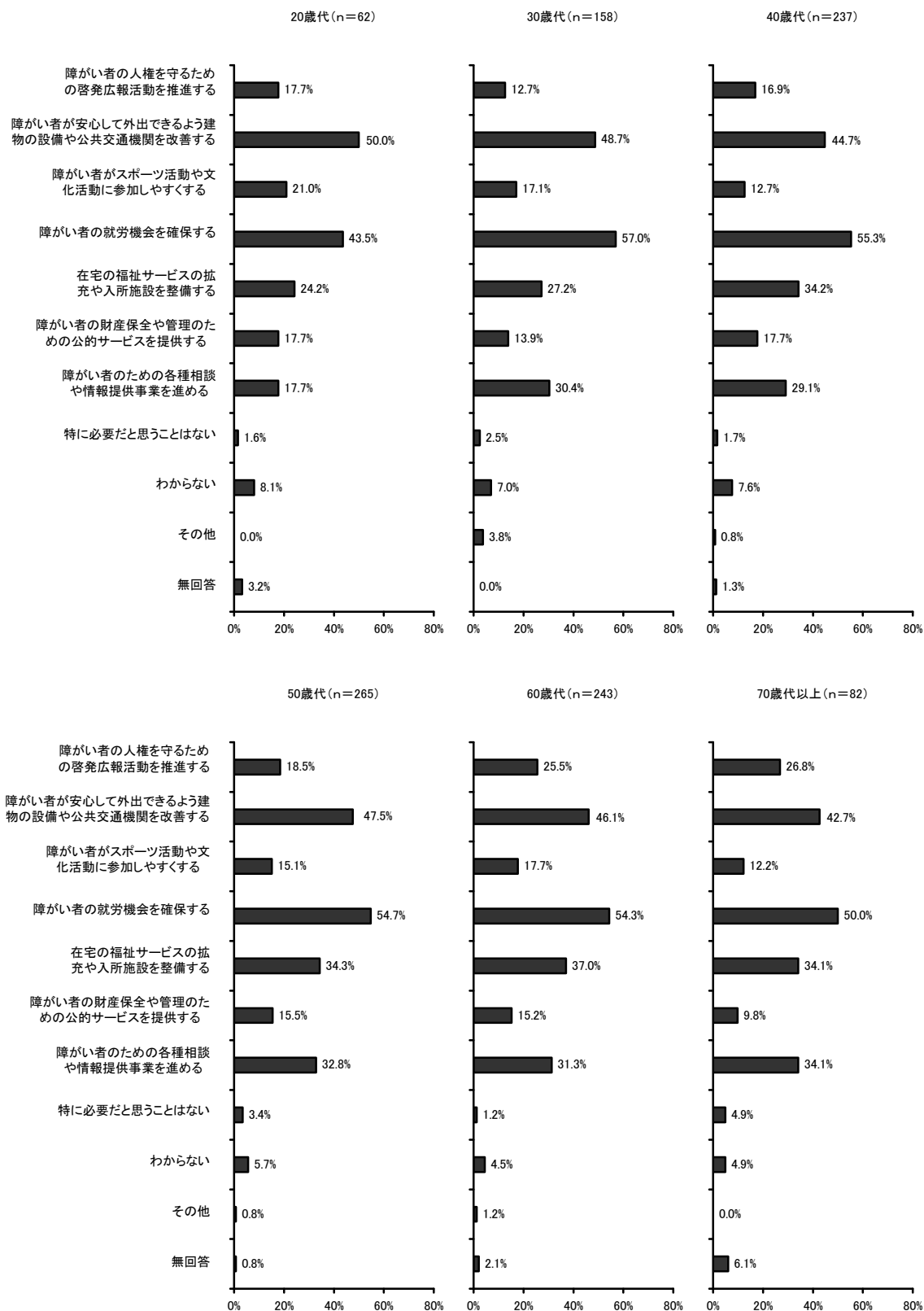
■「障がい者の就労機会を確保する」は前回に比べ2.8ポイント増加している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられない。

## 年代別

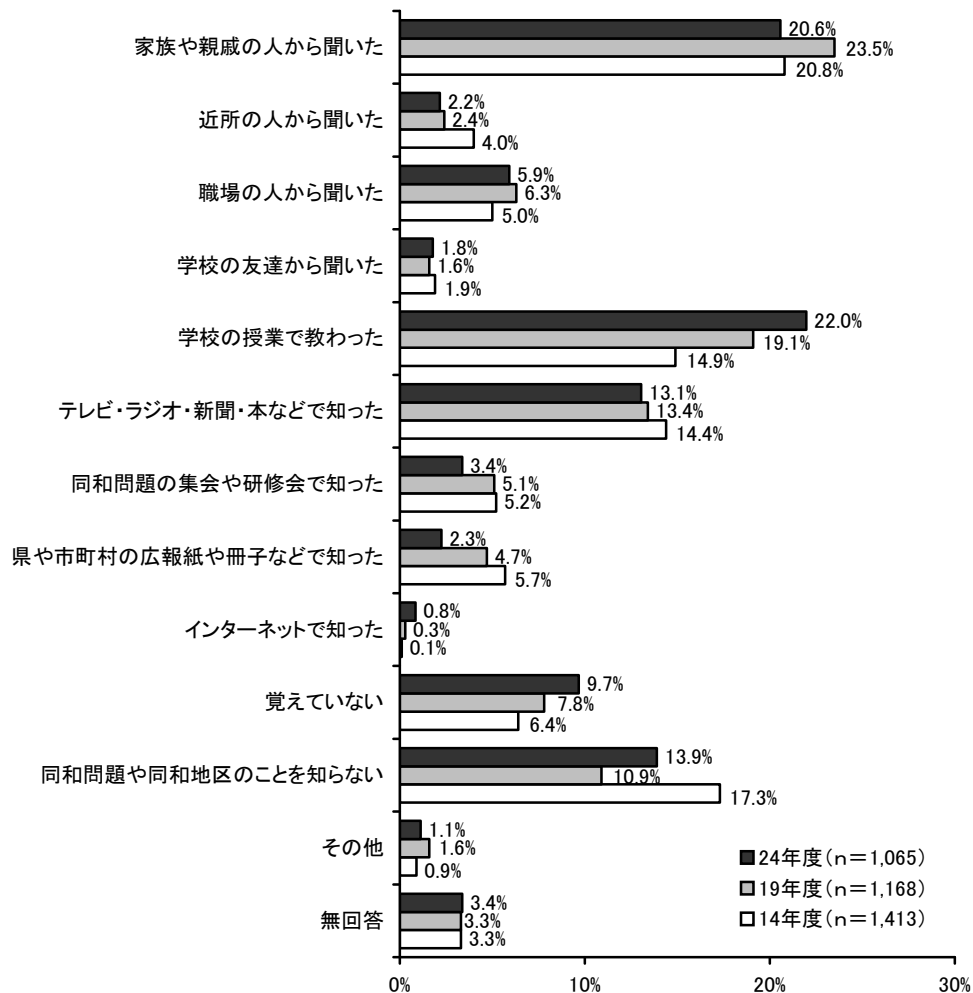


■ 「障がい者のための各種相談や情報提供事業を進める」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

### 3-6 同和問題について

#### (1) 同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけ

問26 あなたが同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



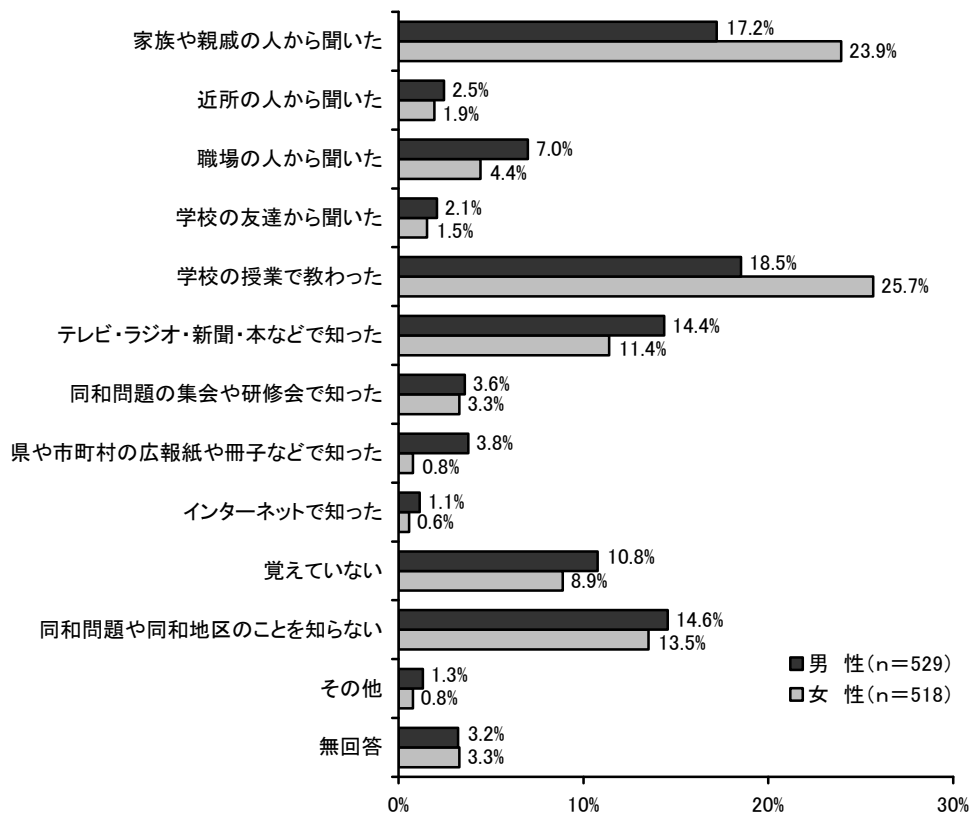
■「学校の授業で教わった」が22.0%で最も高く、次いで「家族や親戚の人から聞いた」が20.6%、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が13.1%の順となっている。

■一方で「同和問題や同和地区のことを知らない」は13.9%と相対的に高くなっている。

#### 【前回比較】

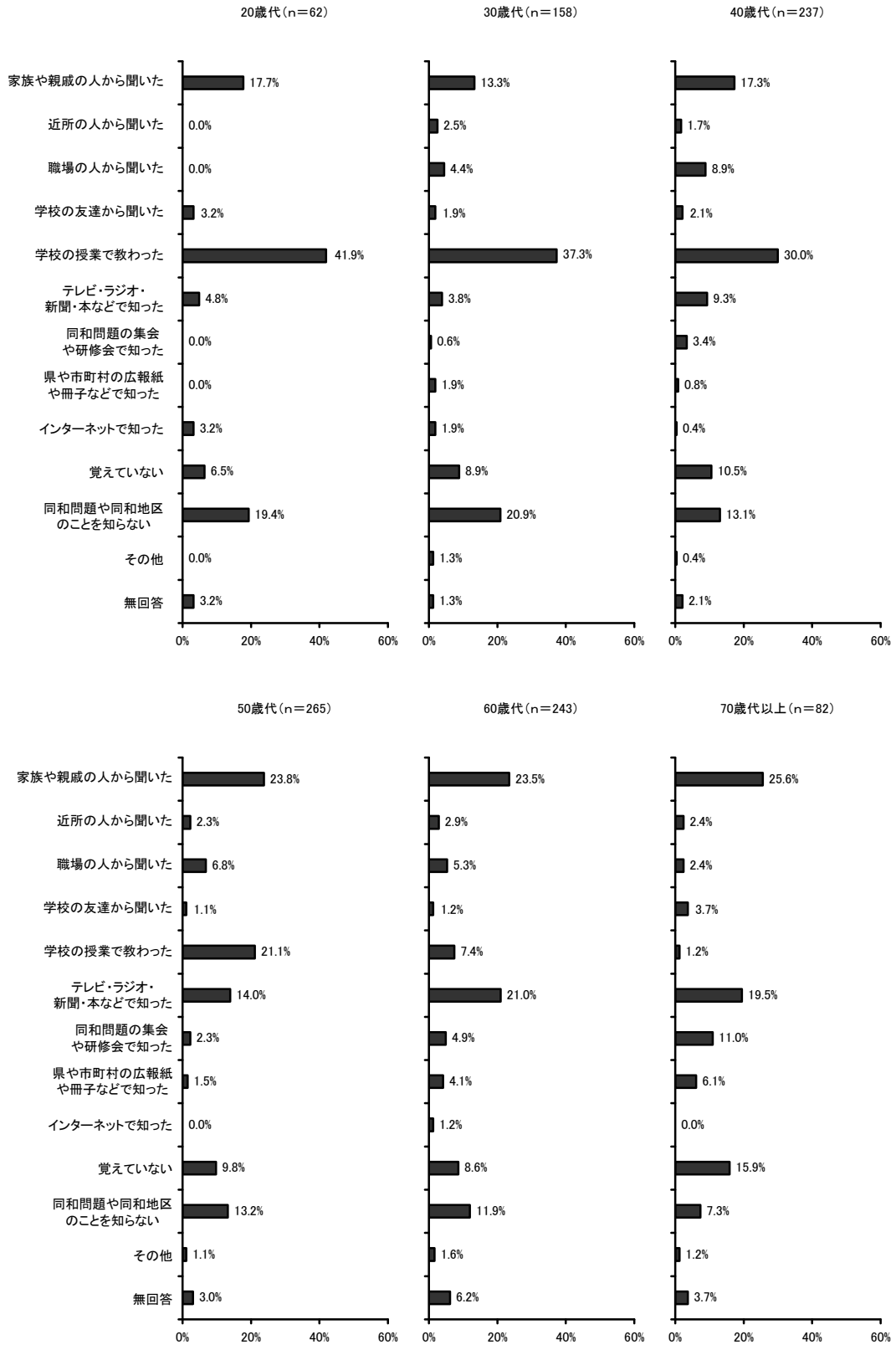
■「学校の授業で教わった」は前回に比べ2.9ポイント、「同和問題や同和地区のことを知らない」は3.0ポイント増加している。

男女別



■ 「家族や親戚の人から聞いた」「学校の授業で教わった」の割合は女性が高く、「職場の人から聞いた」「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」の割合は男性がやや高い。

# 年代別

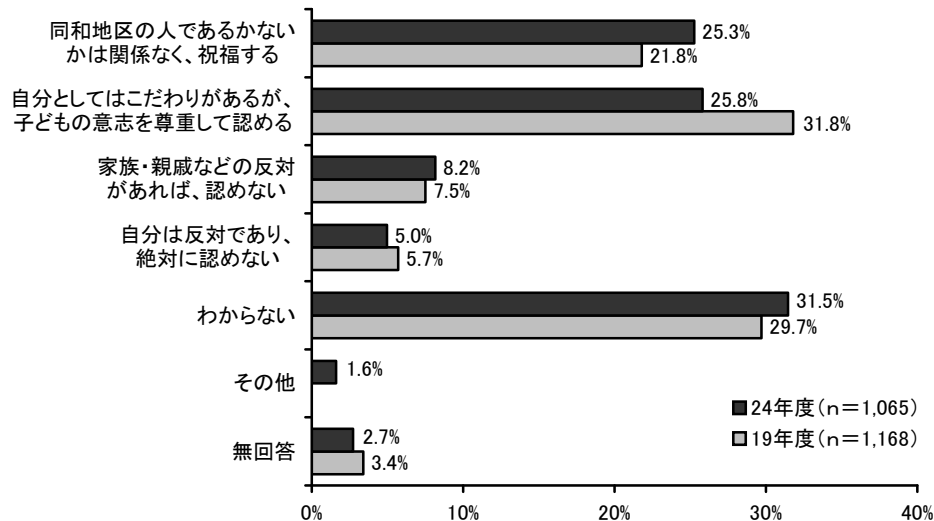




- 「家族や親戚の人から聞いた」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 「学校の授業で教わった」の割合は若い年代ほど高く、20歳代で4割を超えている。
- 「同和問題や同和地区のことを知らない」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) 自分の子どもが同和地区出身の人と結婚すると知ったときの対応

問27 あなたのお子さんが（いらっしゃらない場合は、いると仮定してお考えください）、同和地区出身の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。あなたの気持ちにいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

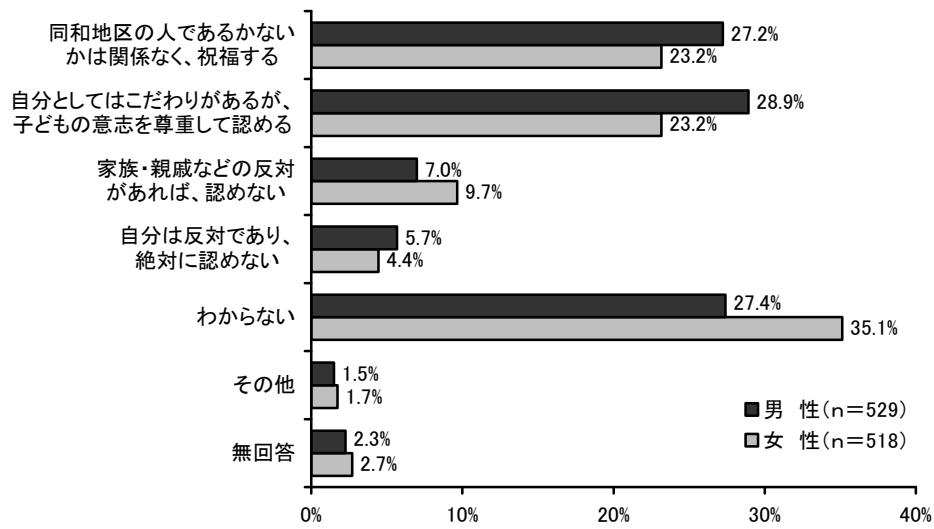


- 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」という“積極的な賛成”は25.3%、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」という“消極的な賛成”は25.8%で、“賛成”は51.1%と過半数を占めている。
- 一方で「家族・親戚などの反対があれば、認めない」「自分は反対であり、絶対に認めない」という“反対”は13.2%であった。
- 「わからない」は3割を超えており、最も高くなっている。

### 【前回比較】

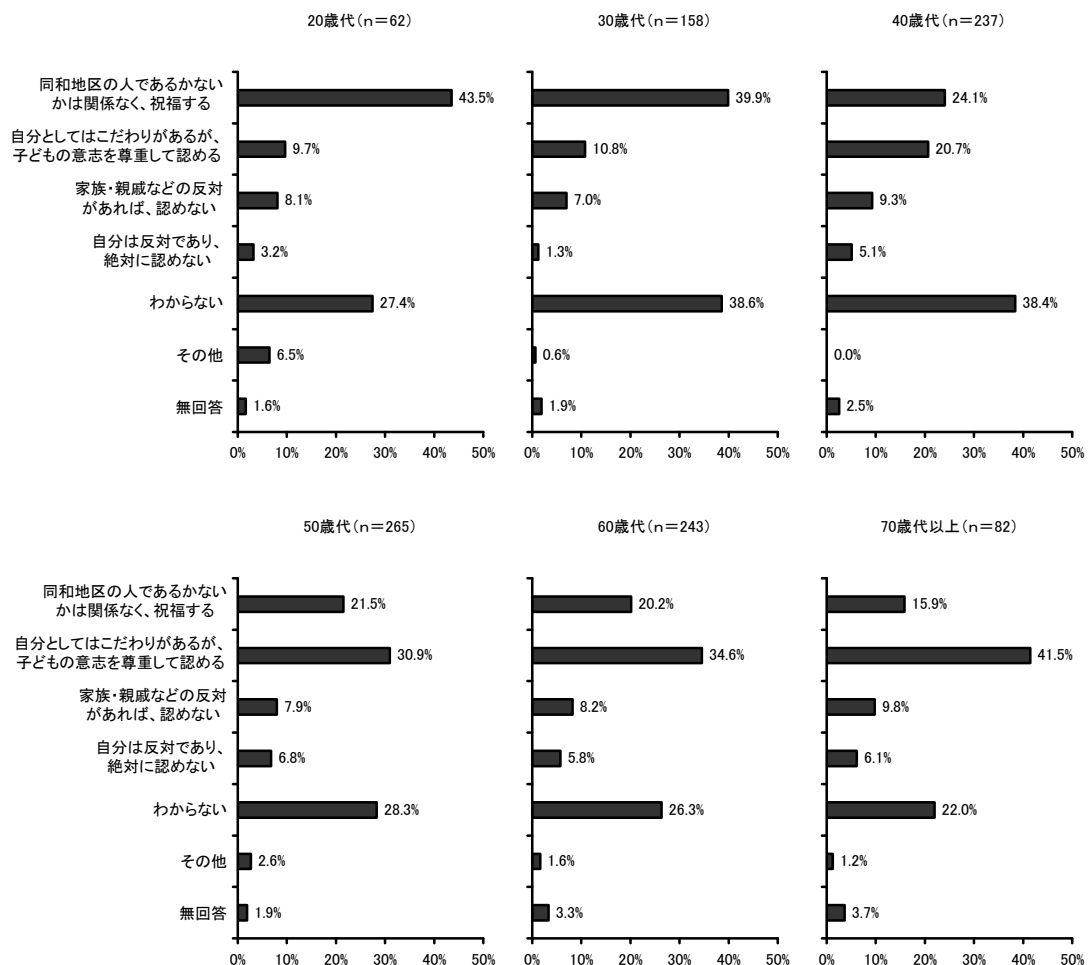
- 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」は前回に比べ3.5ポイント増加しており、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」は6.0ポイント減少している。

男女別



- 「家族・親戚などの反対があれば、認めない」の割合は女性が、「自分は反対であり、絶対に認めない」の割合は男性がやや高い。
- 「わからない」の割合は女性が高く、3割を超えている。

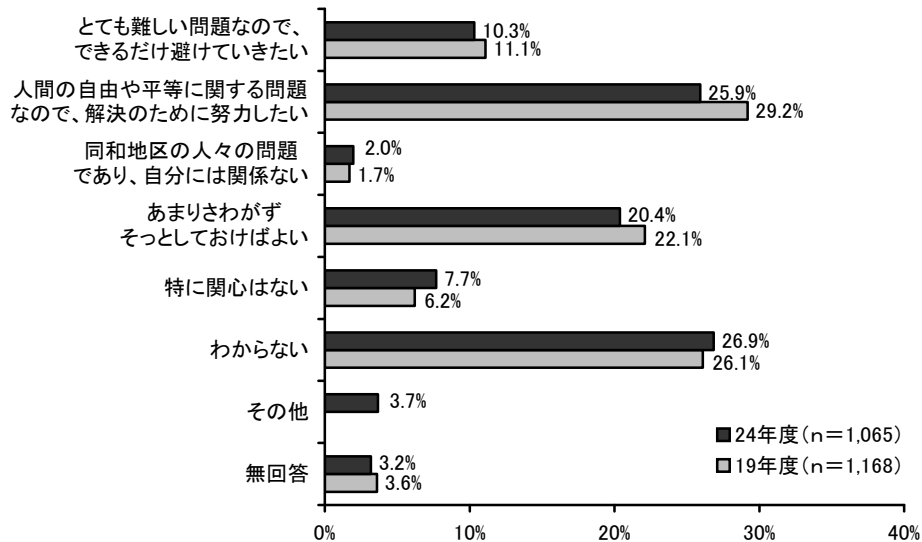
## 年代別



- 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」の割合は若い年代ほど高く、20歳代で4割を超えている。
- 「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

### (3) 同和問題についての考え

問28 同和問題について、あなたはどのように考えますか。あなたの考え方にいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



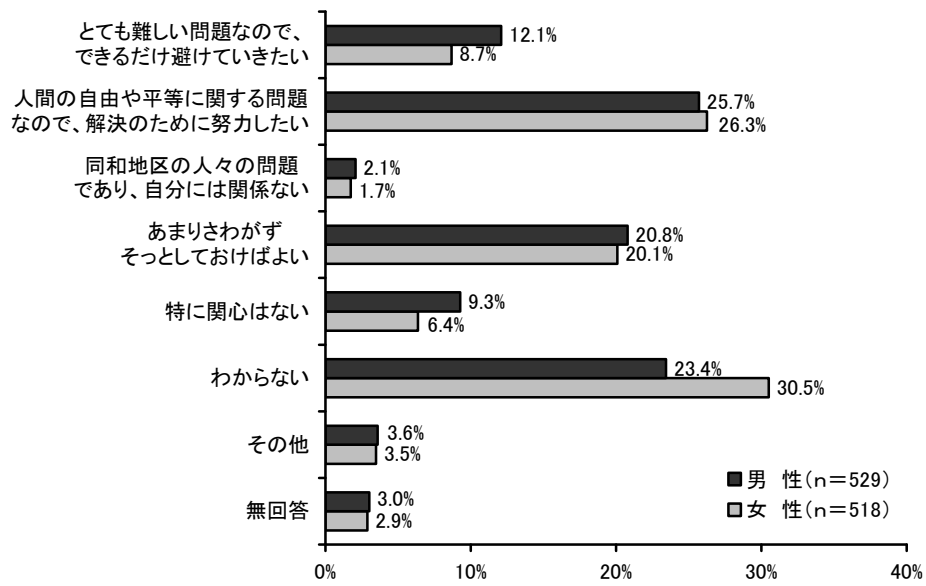
■「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」が25.9%と高く、次いで「あまりさわがずそっとしておけばよい」が20.4%、「とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい」が10.3%の順となっている。

■「わからない」は26.9%で最も高くなっている。

#### 【前回比較】

■「特に興味はない」は前回に比べ1.5ポイント増加している。

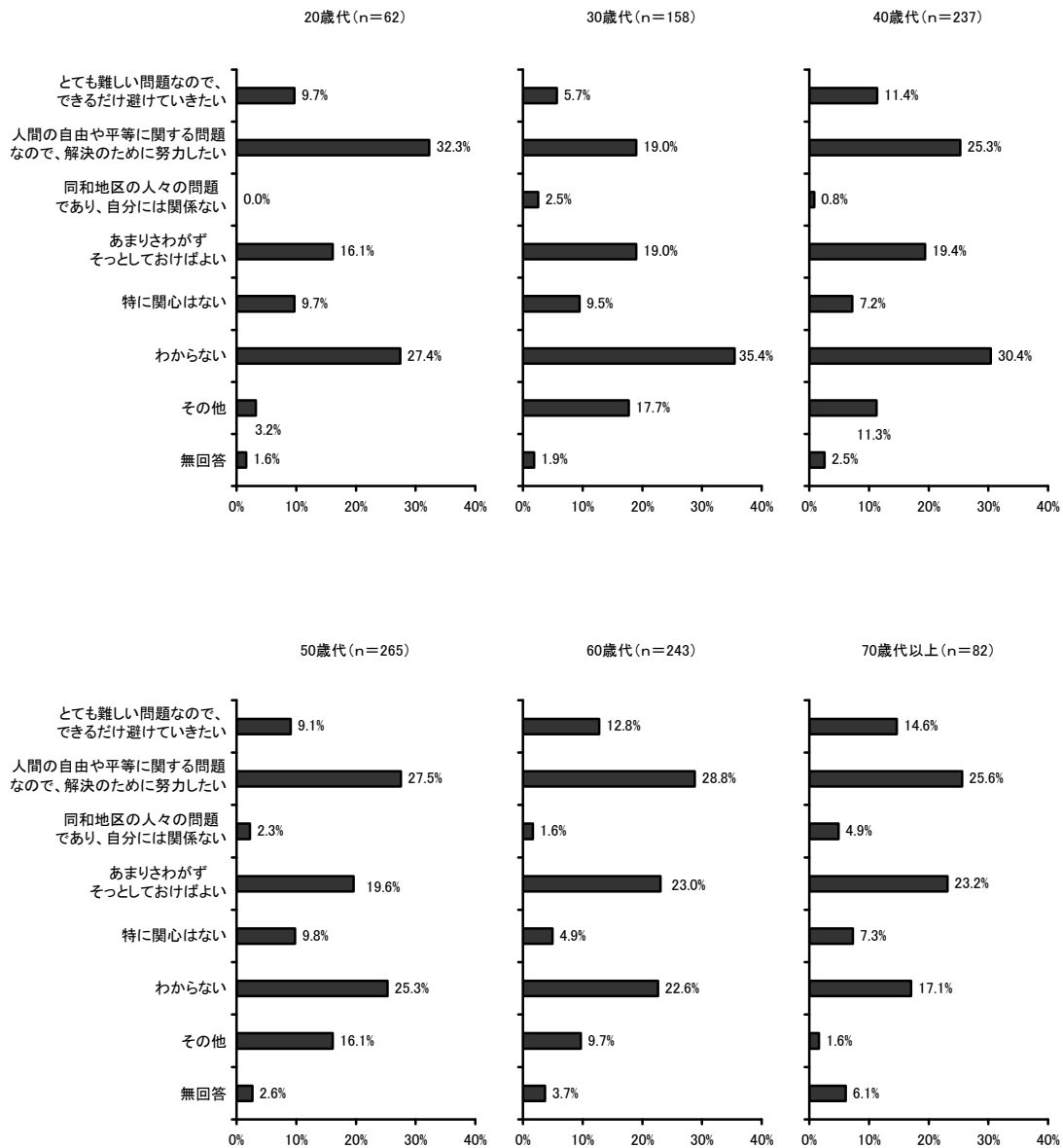
男女別



■ 「とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい」「特に興味はない」の割合は男性がやや高い。

■ 「わからない」の割合は女性が高く、3割を超えている。

年代別

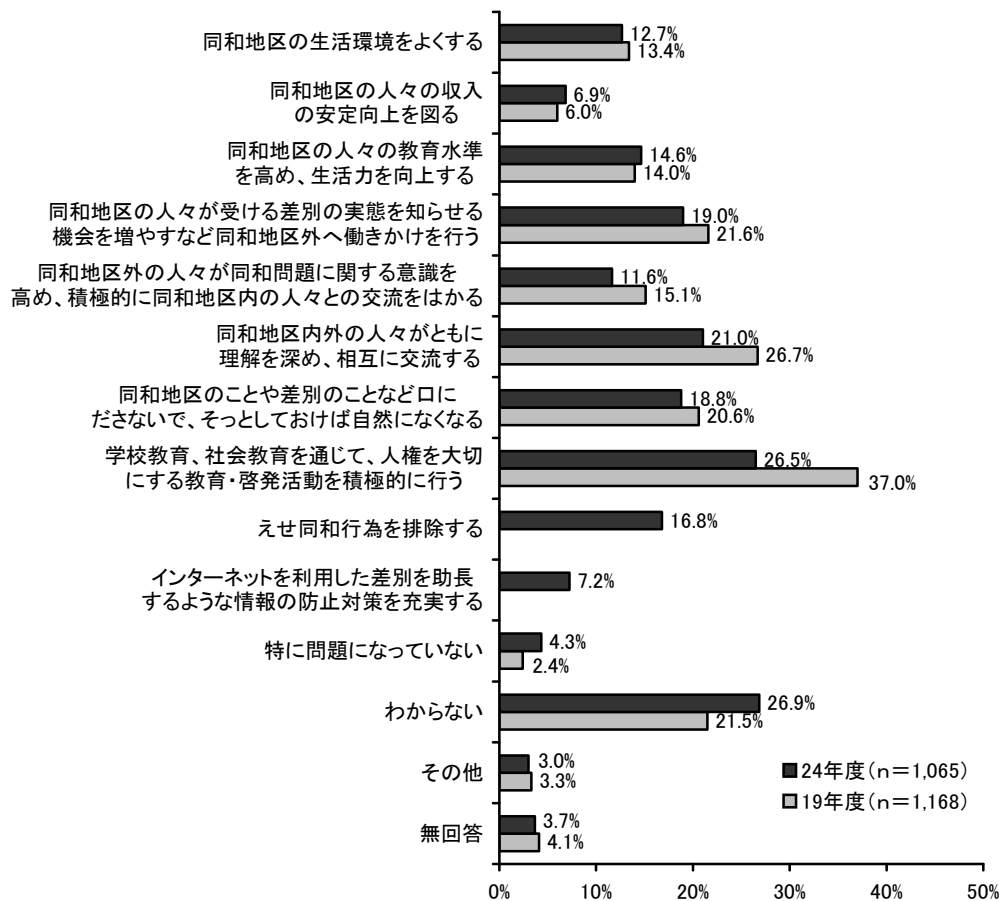


■ 「とても難しい問題なのでできるだけ避けていきたい」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

■ 「わからない」の割合は若い年代ほど高く、30歳代で35.4%となっている。

#### (4) 同和問題を解決する方法

問29 同和問題を解決するためには、どうしたらよいとお考えですか。重要だと思ふものを次の中から3つまで選んで○をつけてください。



■「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が26.5%と高く、次いで「同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する」が21.0%、「同和地区の人々の差別の実態を知らせる機会を増やすなど同和地区外へ働きかけを行う」が19.0%の順となっている。

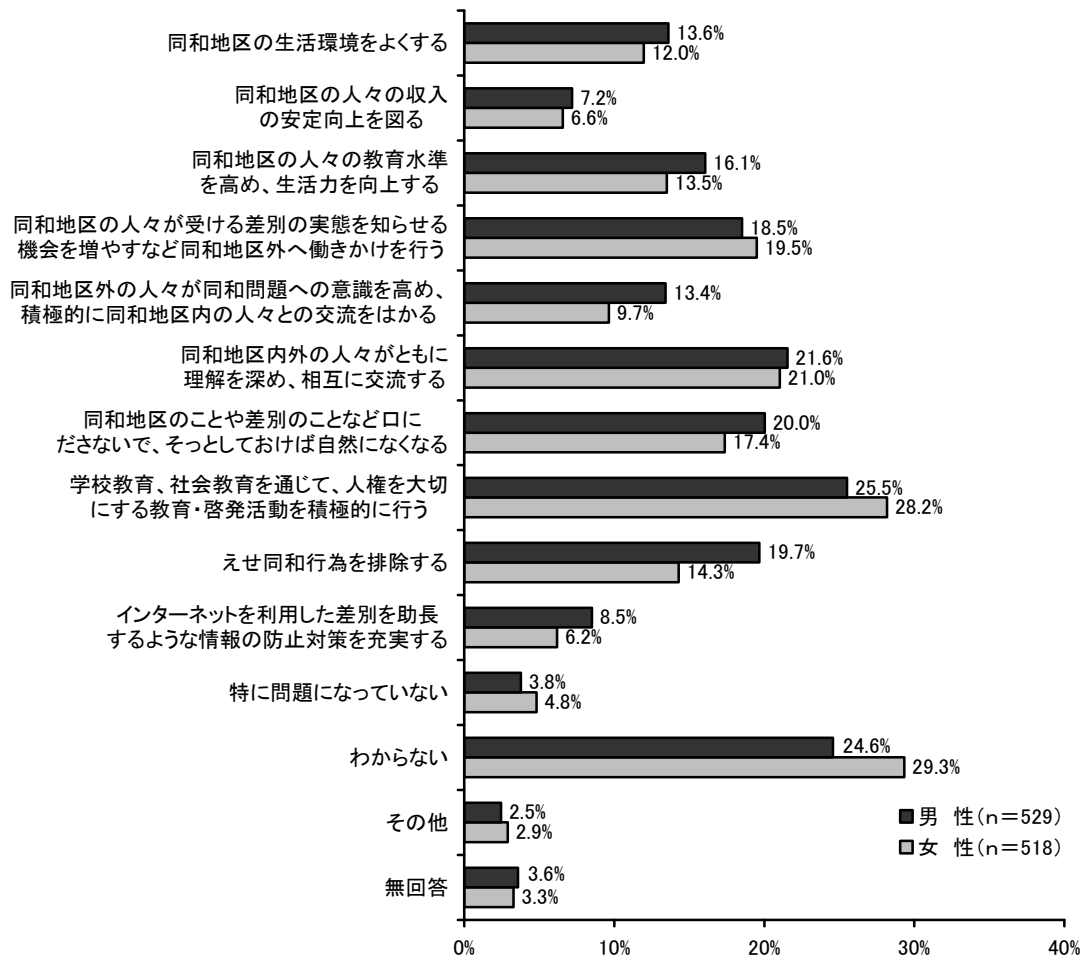
■「わからない」は26.9%で最も高くなっている。

#### 【前回比較】

※「えせ同和行為を排除する」「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

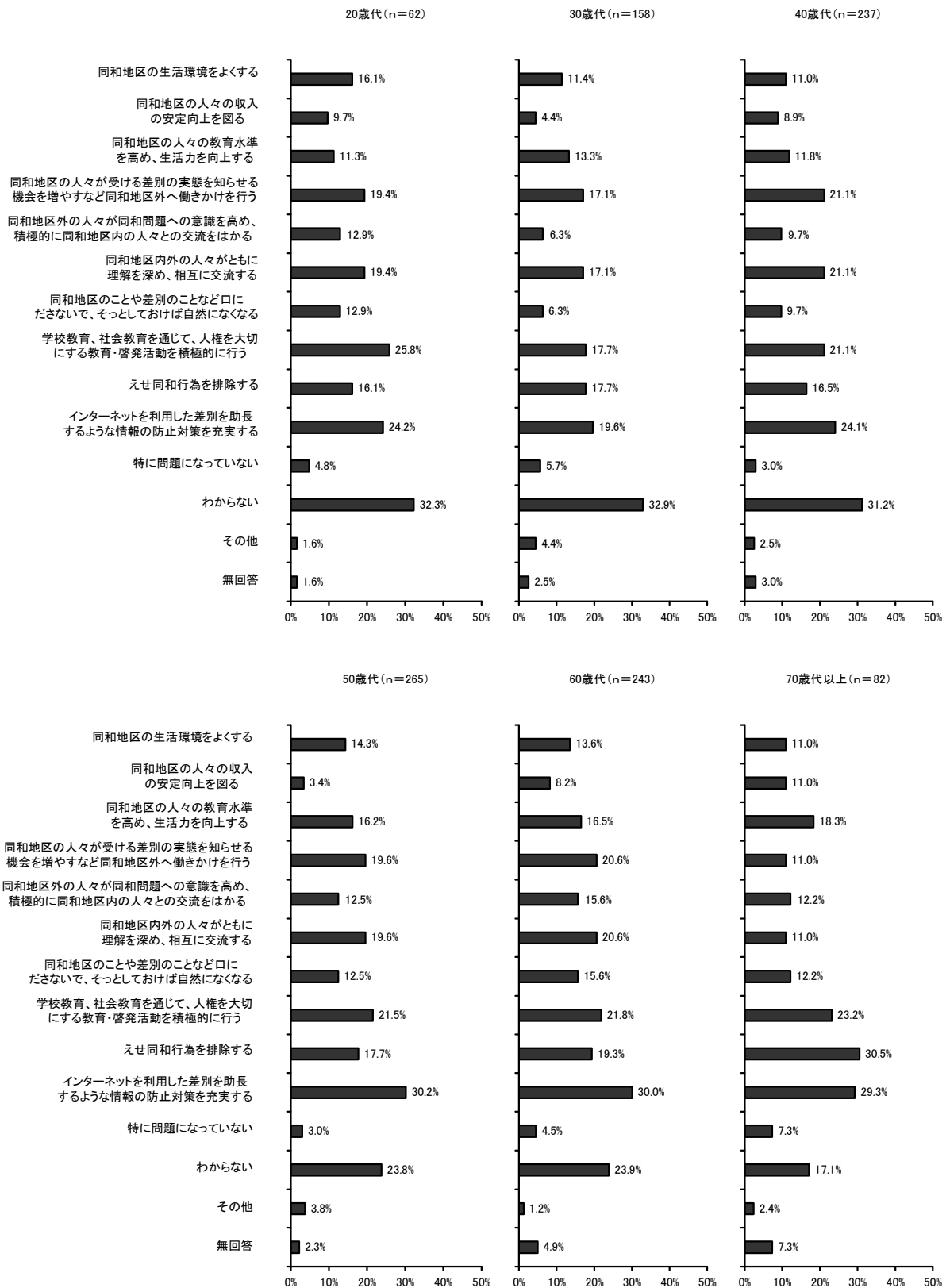


男女別



■ 「えせ同和行為を排除する」の割合は男性が、「わからない」の割合は女性がやや高い。

年代別

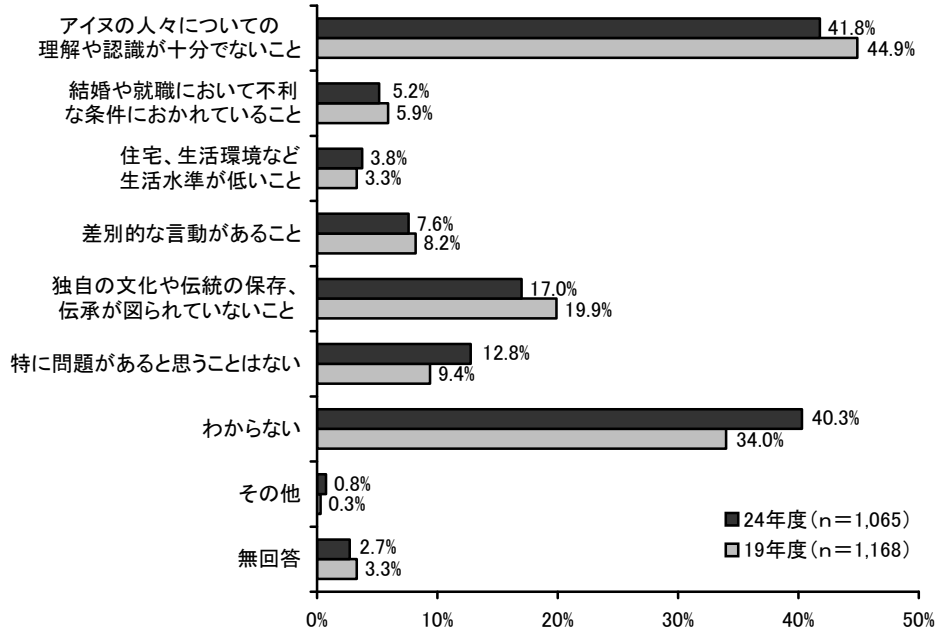


■「同和地区の人々の教育水準を高め、生活力を向上する」「えせ同和行為を排除する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

## 3-7 アイヌの人々の人権について

### (1) アイヌの人々の人権問題で、特に問題があると思うこと

問31 アイヌの人々の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。  
以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



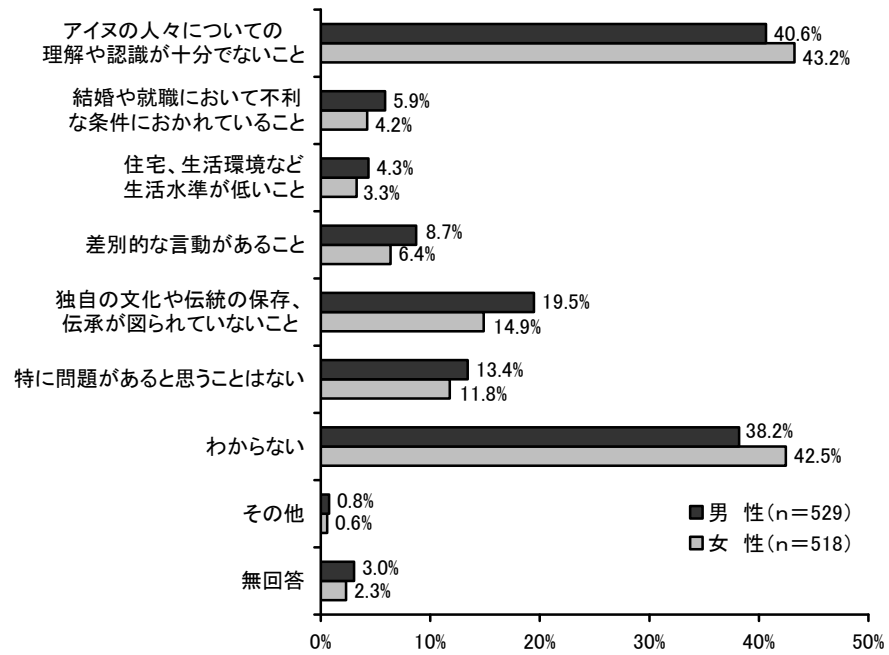
■ 「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」が41.8%と最も高く、次いで「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」が17.0%、「特に問題があると思うことはない」が12.8%の順となっている。

■ 「わからない」は4割を超えている。

#### 【前回比較】

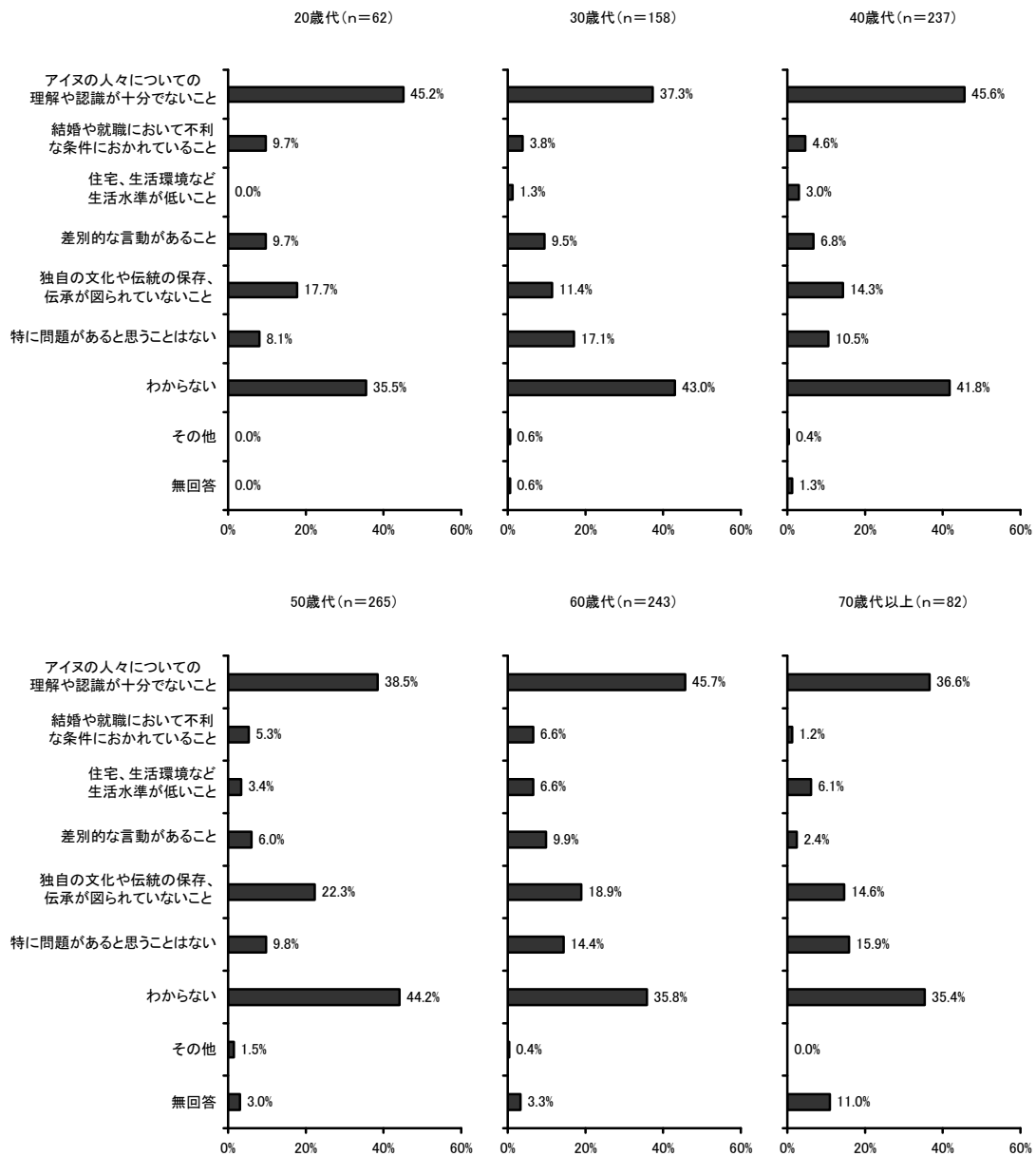
■ 「特に問題があると思うことはない」は前回に比べ3.4ポイント、「わからない」は6.3ポイント増加している。

男女別



- 「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」の割合は女性が、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」の割合は男性がやや高い。
- 「わからない」の割合は女性が高く、4割を超えている。

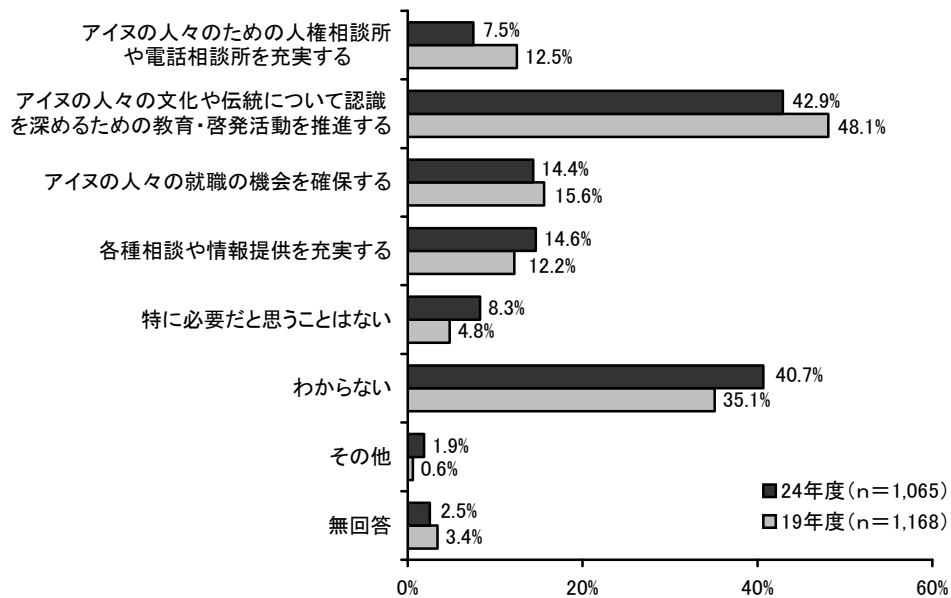
## 年代別



■年代別で大きな違いはみられない。

## (2) アイヌの人々の人権を守るために必要なこと

問32 アイヌの人々の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



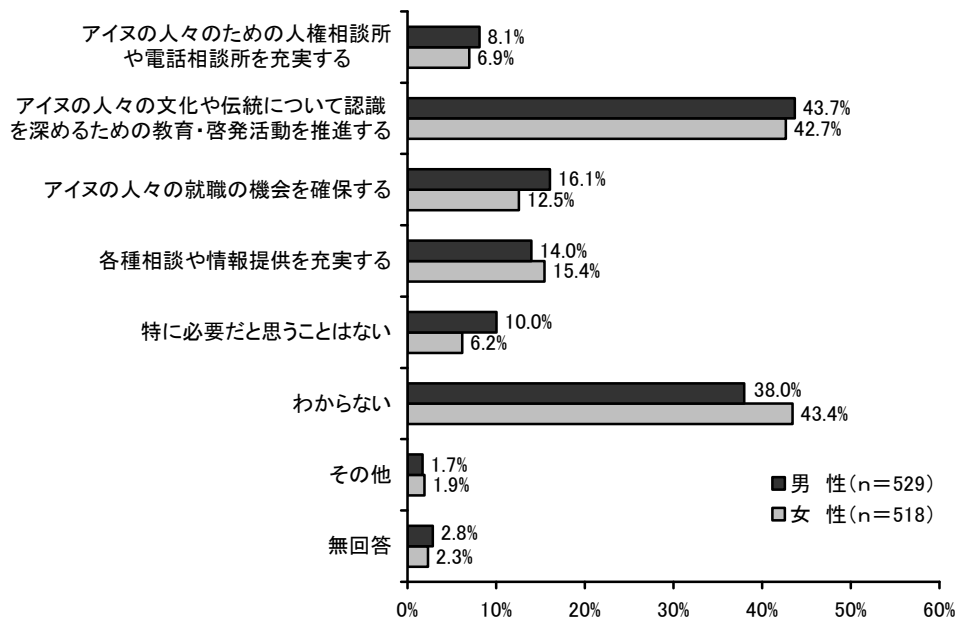
■「アイヌの人々の文化や伝統について認識を深めるための教育・啓発活動を推進する」が42.9%と最も高く、次いで「各種相談や情報提供を充実する」が14.6%、「アイヌの人々の就職の機会を確保する」が14.4%の順となっている。

■「わからない」は4割を超えている。

### 【前回比較】

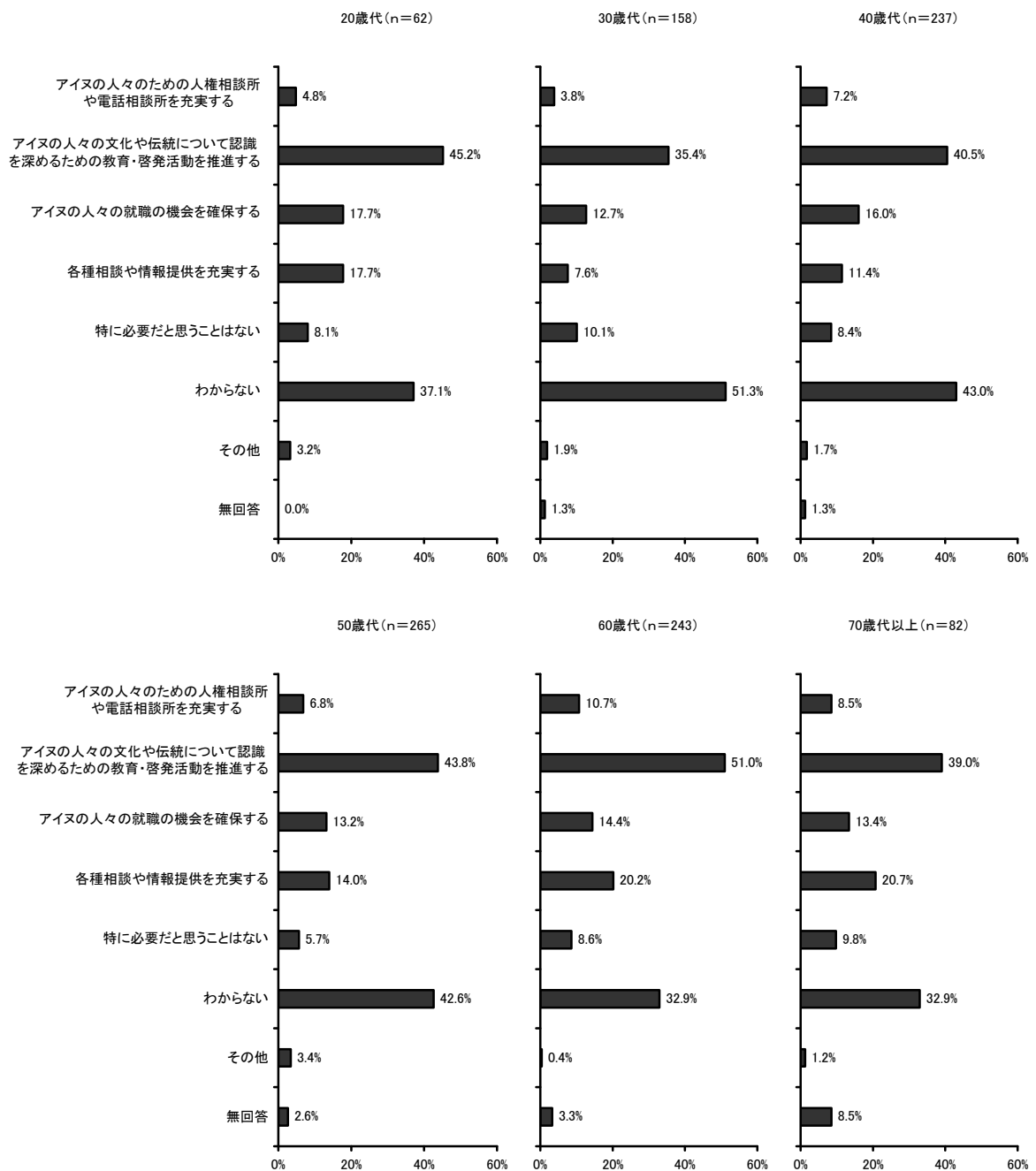
■「各種相談や情報提供を充実する」は前回に比べ2.4ポイント、「特に必要だと思うことはない」は3.5ポイント増加している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「特に必要だと思うことはない」の割合は男性がやや高い。

## 年代別



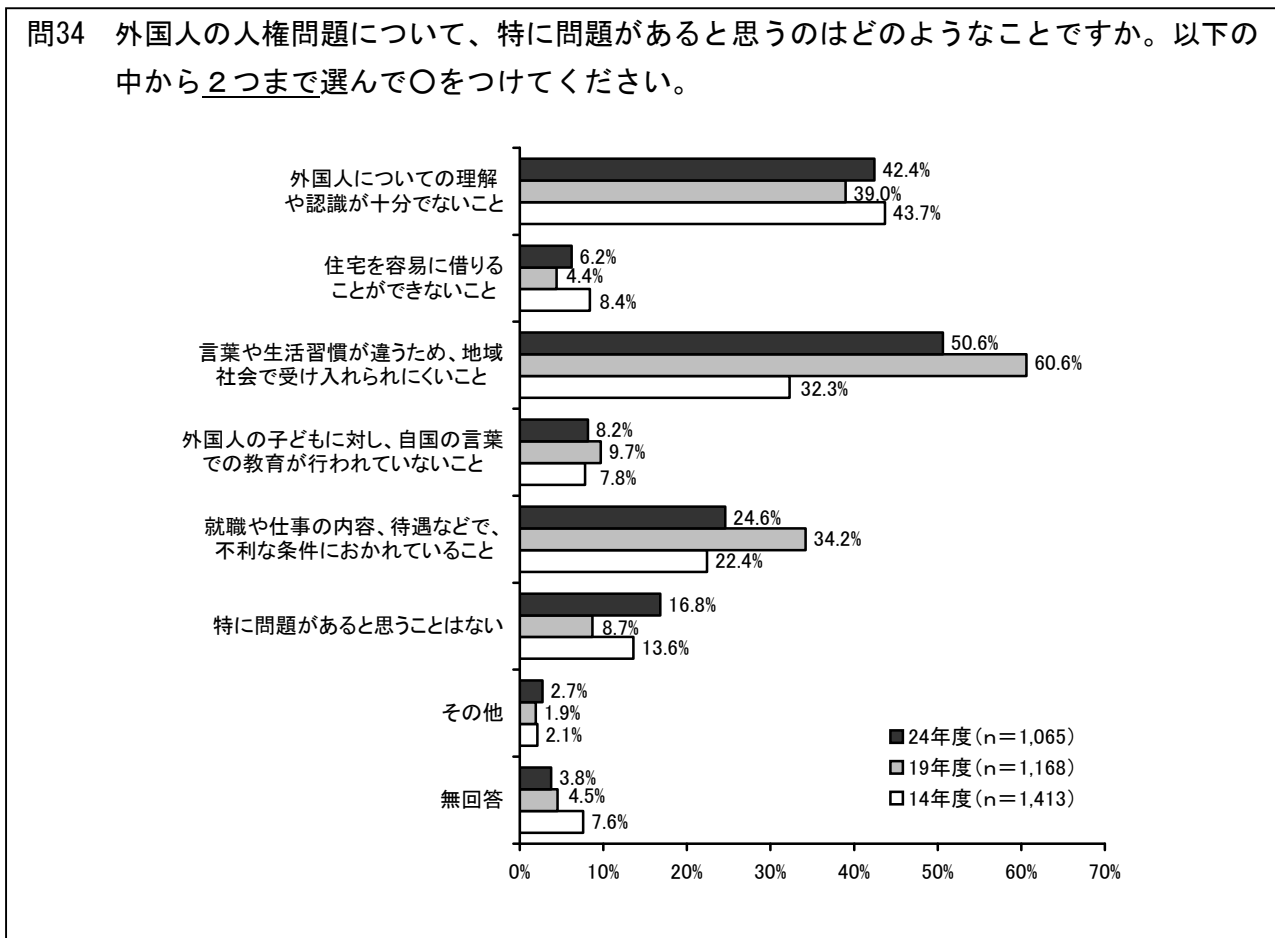
■ 「わからない」の割合は若い年代ほど高く、30歳代で51.3%となっている。



### 3-8 外国人の人権について

#### (1) 外国人の人権問題で、特に問題があると思うこと

問34 外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

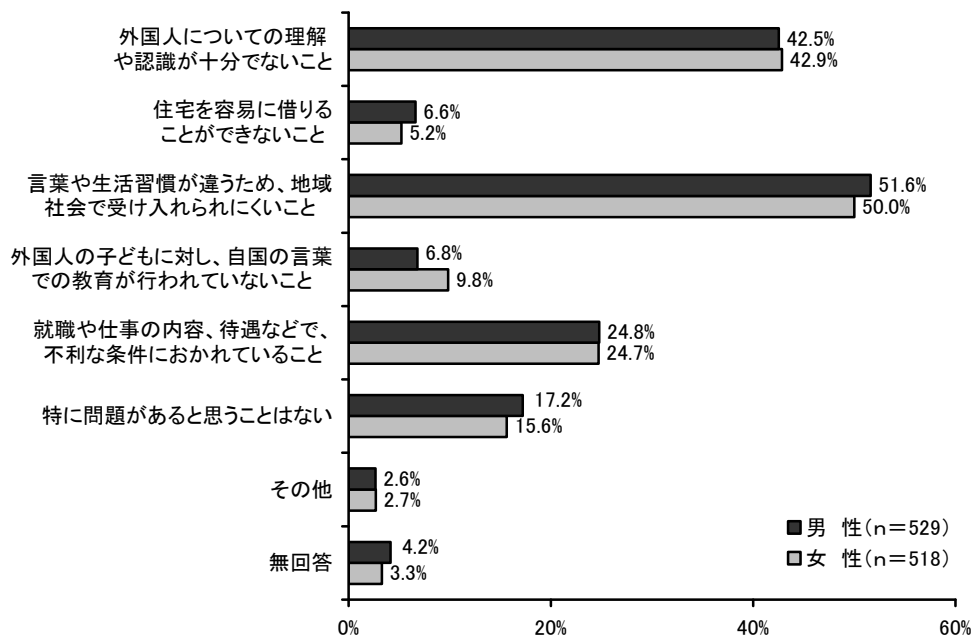


■ 「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が50.6%と最も高く、次いで「外国人についての理解や認識が十分でないこと」が42.4%、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること」が24.6%の順となっている。

#### 【前回比較】

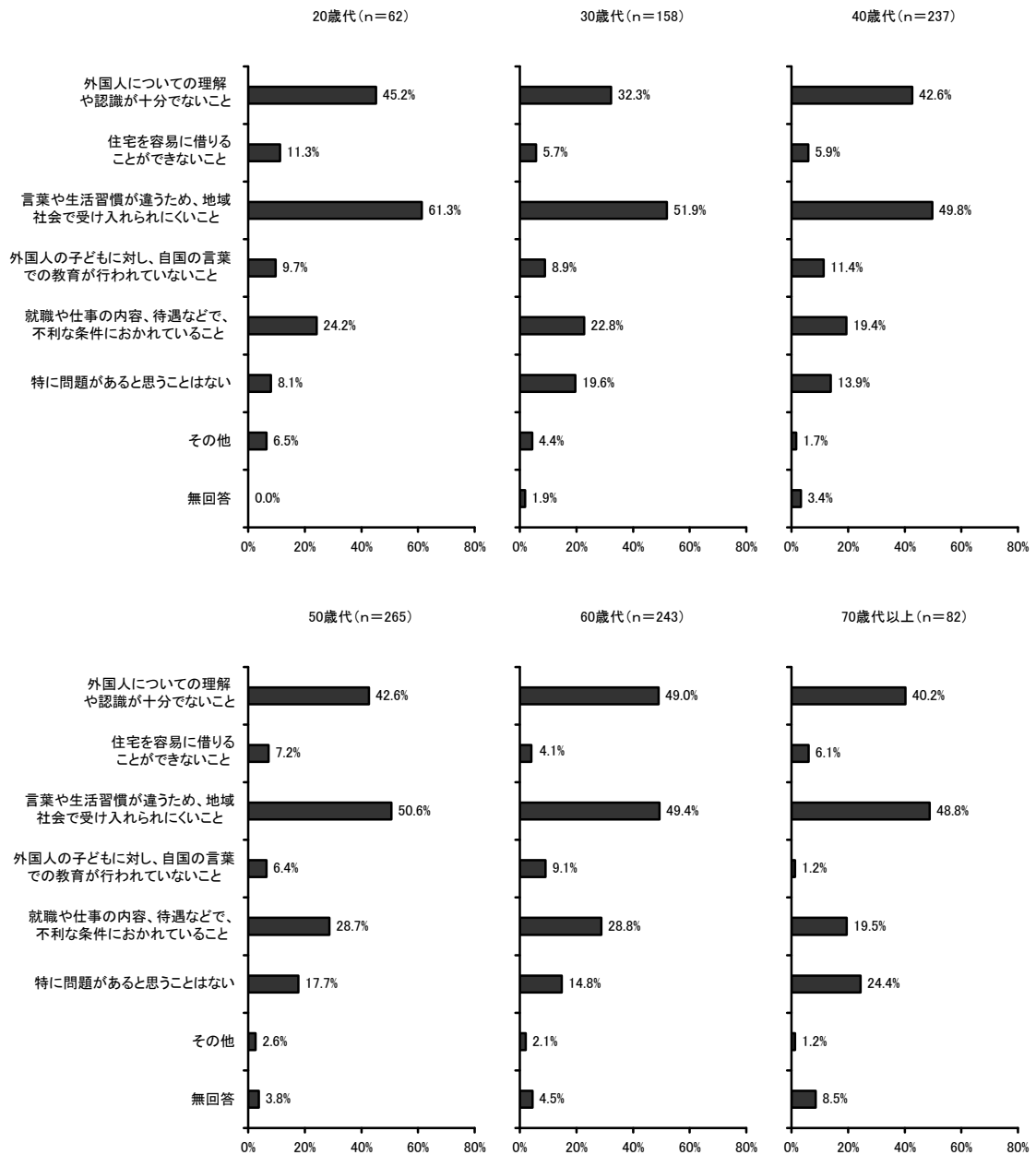
■ 「外国人についての理解や認識が十分でないこと」は前回に比べ3.4ポイント、「特に問題があると思うことはない」は8.1ポイント増加している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられない。

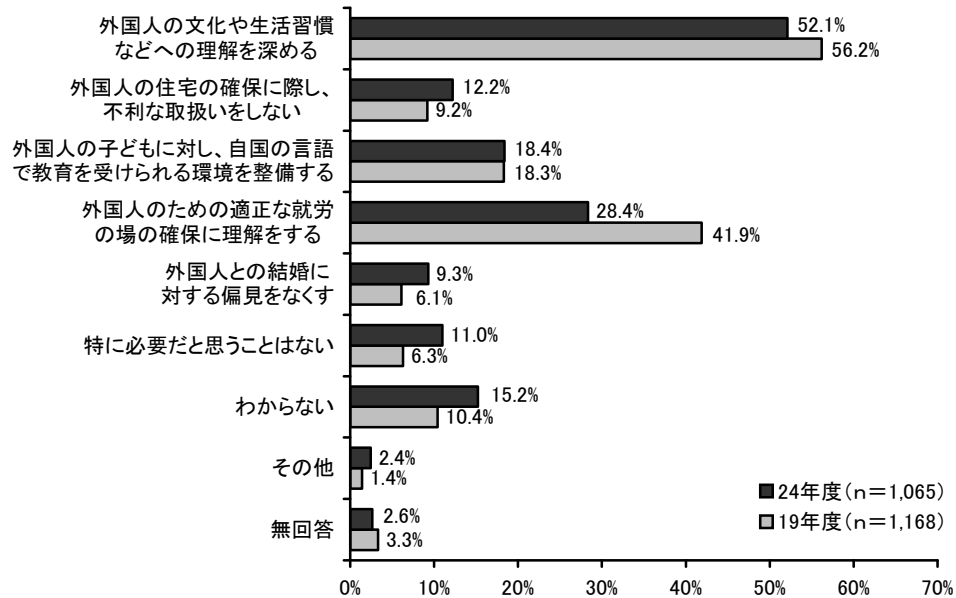
## 年代別



■年代別で大きな違いはみられない。

## (2) 外国人の人権を尊重するために必要なこと

問35 外国人の人権を尊重するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

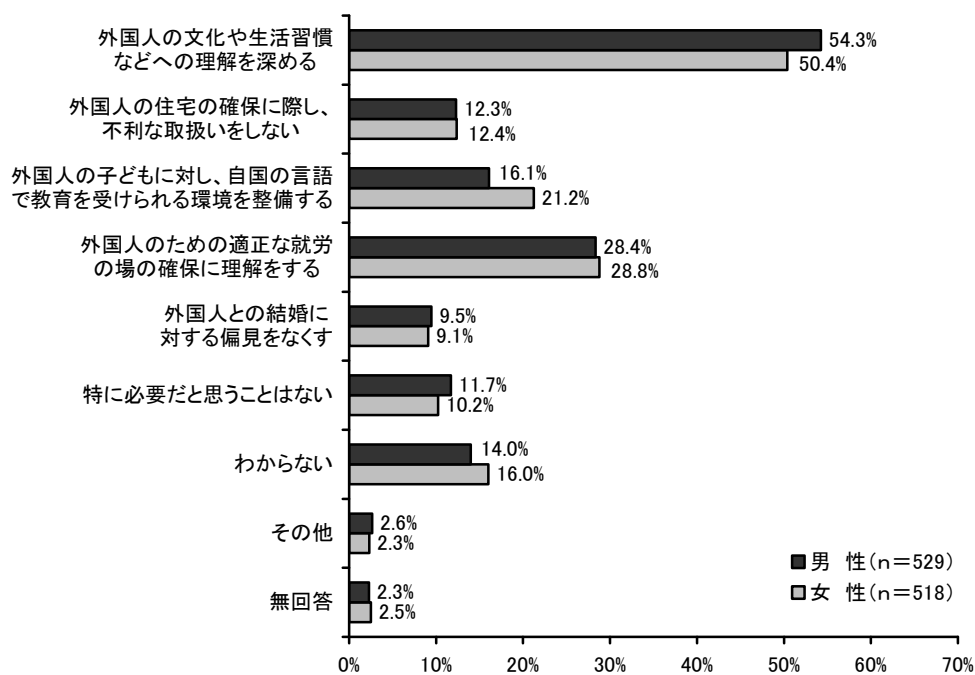


■「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める」が52.1%と最も高く、次いで「外国人のための適正な就労の場の確保に理解をする」が28.4%、「外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けられる環境を整備する」が18.4%の順となっている。

### 【前回比較】

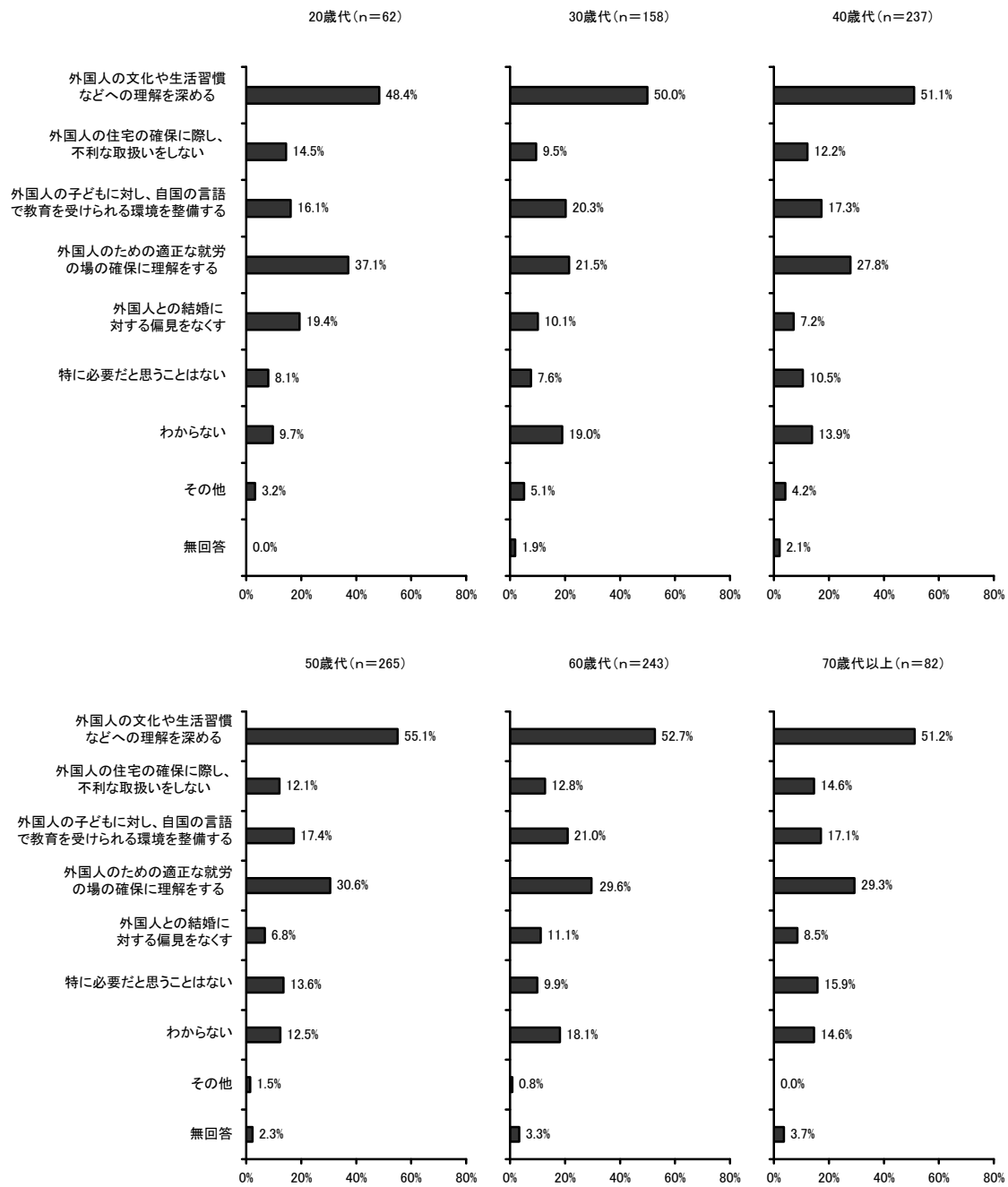
■「外国人のための適正な就労の場の確保に理解をする」は前回に比べ13.5ポイント減少しており、「特に必要だと思うことはない」は4.7ポイント、「わからない」は4.8ポイント増加している。

## 男女別



- 「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める」の割合は男性が、「外国人の子どもに対し、自国の言語で教育を受けられる環境を整備する」の割合は女性がやや高い。

# 年代別

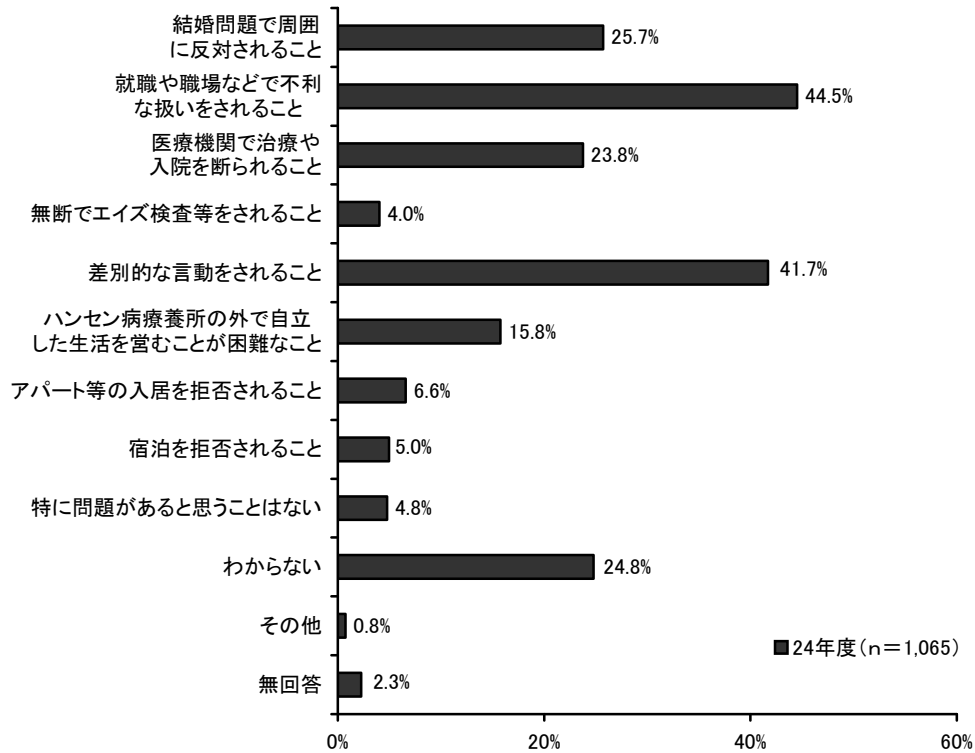


■年代別で大きな違いはみられない。

## 3-9 感染症患者等の人権について

### (1) 感染症患者等の人権問題で、特に問題があると思うこと

問37 感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。  
次の中から3つまで選んで○をつけてください。

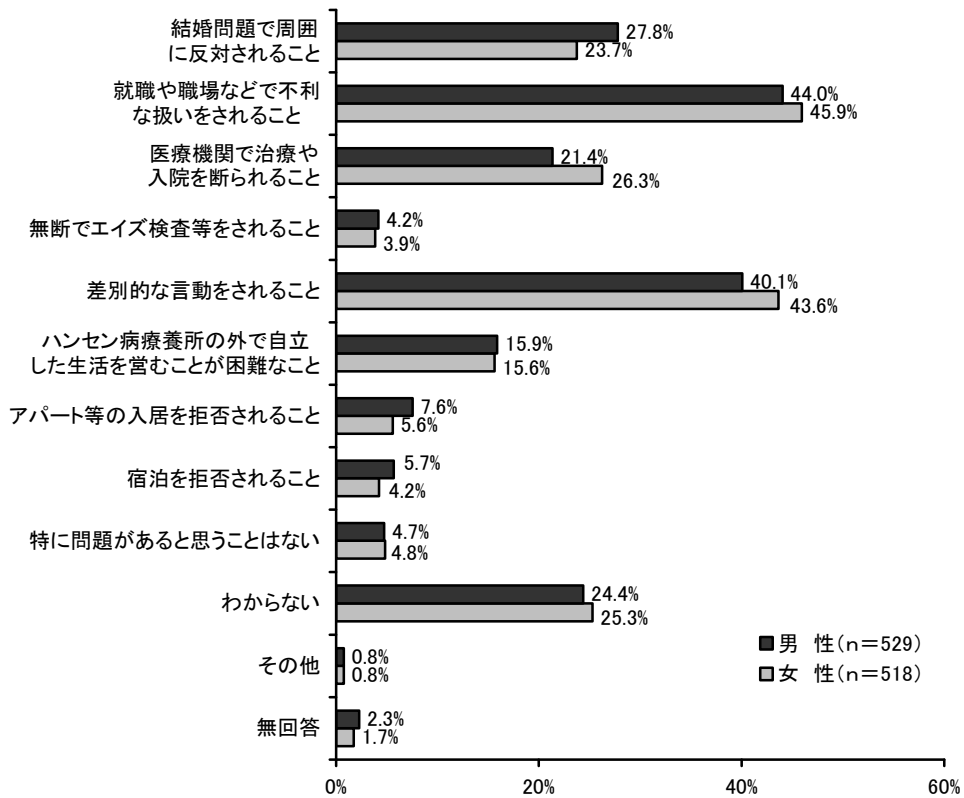


- 「就職や職場などで不利な扱いをされること」が 44.5%と最も高く、次いで「差別的な言動をされること」が 41.7%、「結婚問題で周囲に反対されること」が 25.7%の順となっている。
- 「わからない」は 24.8%と相対的に高くなっている。

#### 【前回比較】

※前回と選択肢を変更したため、比較はできない。

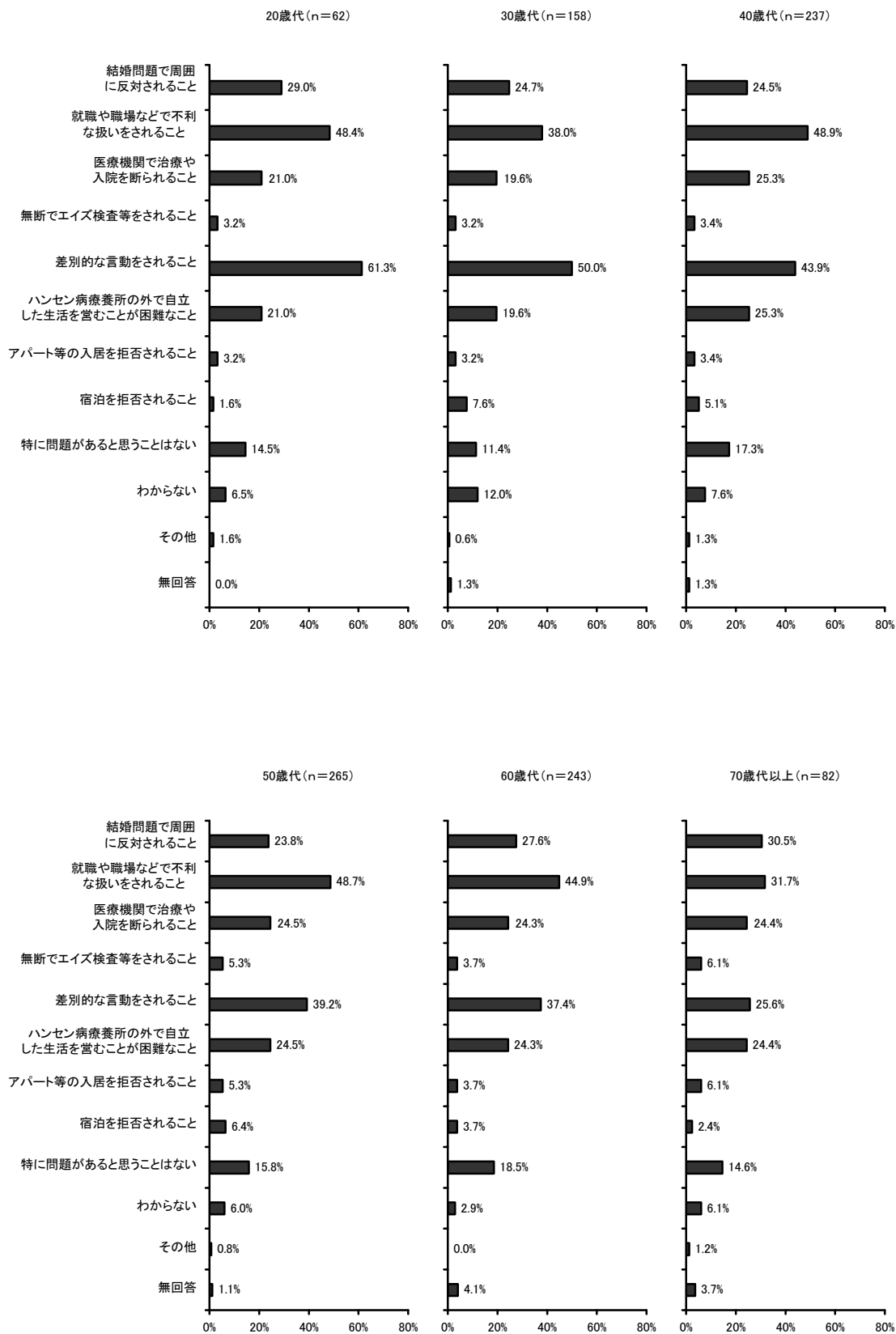
男女別



■男女間で大きな違いはみられない。



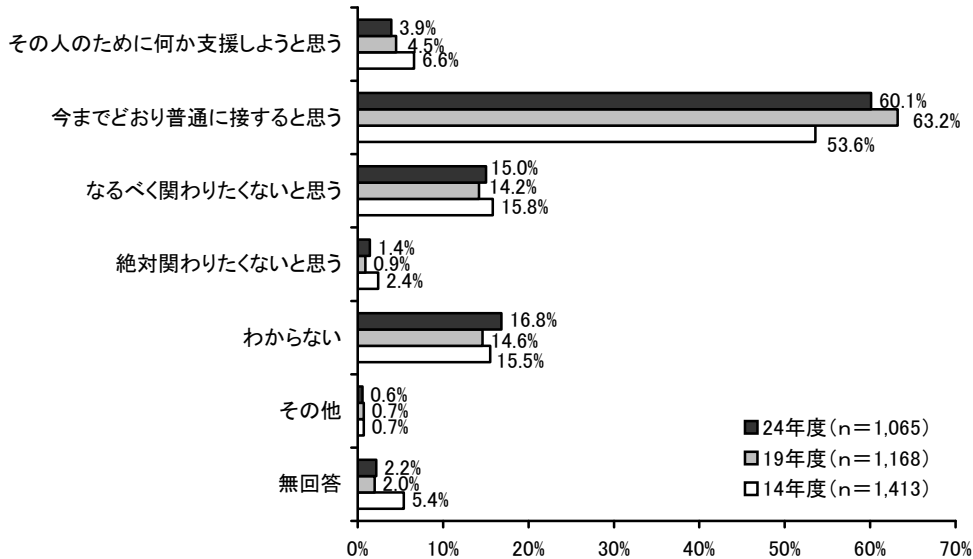
# 年代別



■ 「差別的な言動をされること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) 職場や地域に感染症患者等がいる場合の接し方

問38 あなたの職場や地域に感染症患者等がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



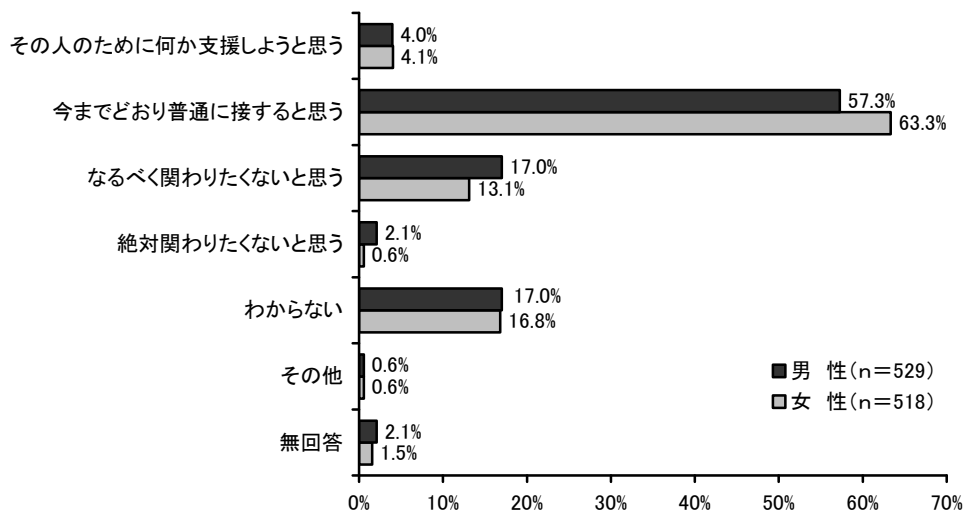
■ 「今までどおり普通に接すると思う」が6割を占め、最も高くなっている。

■ 一方で「なるべく関わりたくないと思う」が15.0%、「絶対関わりたくないと思う」が1.4%で“関わりたくないと思う”人は16.4%となっている。

### 【前回比較】

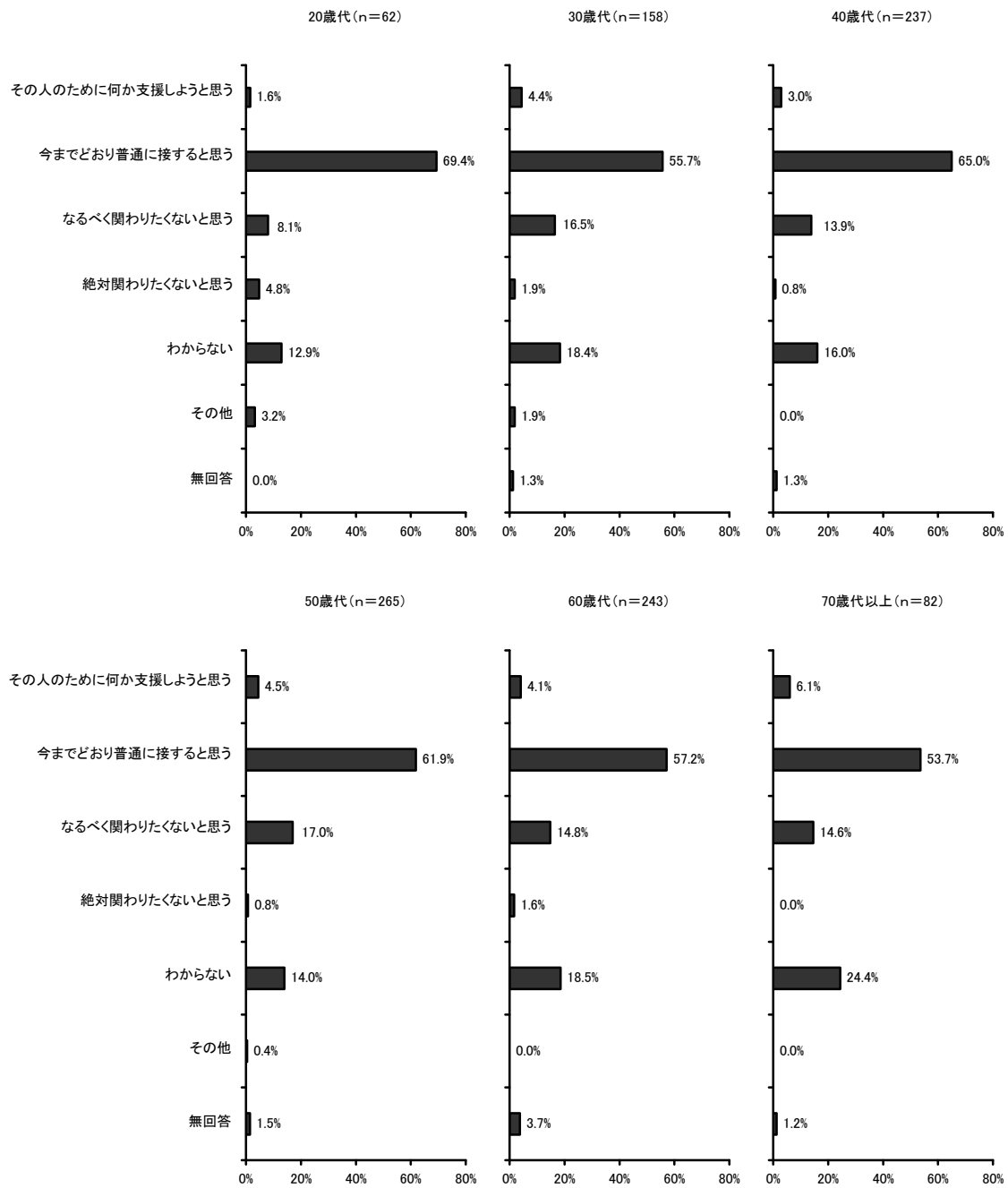
■ 「今までどおり普通に接すると思う」は前回に比べ3.1ポイント減少しており、「わからない」は2.2ポイント増加している。

### 男女別



■ 「今までどおり普通に接すると思う」の割合は女性が、「関わりたくないと思う」人の割合は男性がやや高い。

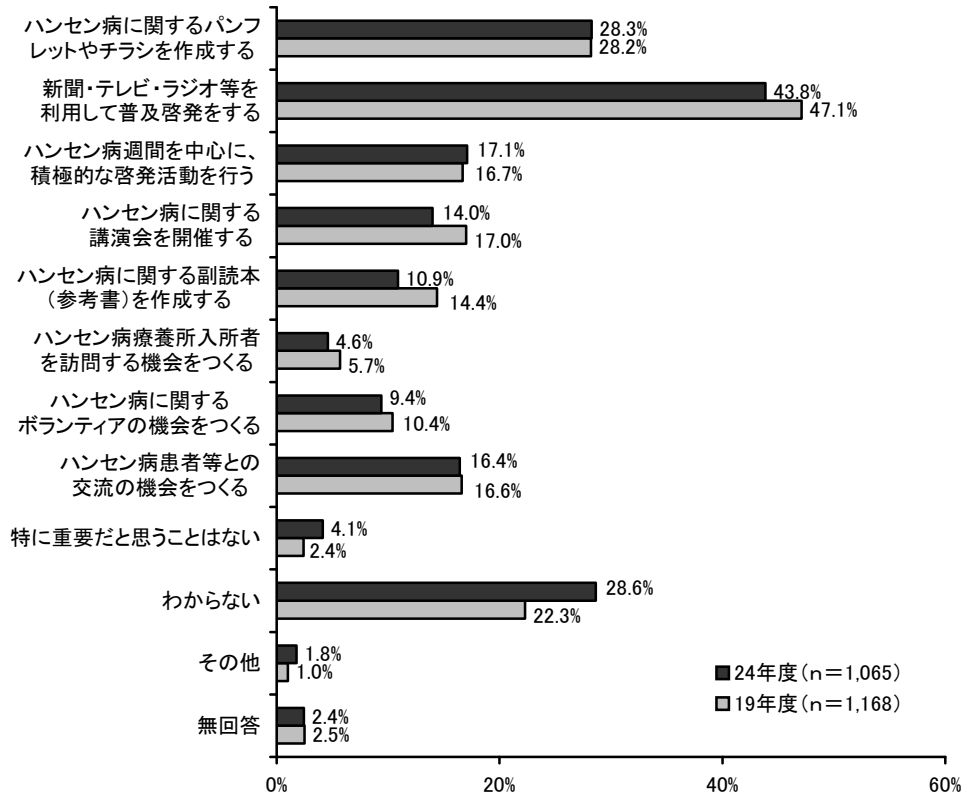
年代別



■年代別で大きな違いはみられない。

### (3) ハンセン病患者等の人権尊重や名誉回復のために必要なこと

問39 ハンセン病患者等の人権尊重や名誉回復のためには、どうしたらよいとお考えですか。  
重要だと思うものを3つまで選んで○をつけてください。



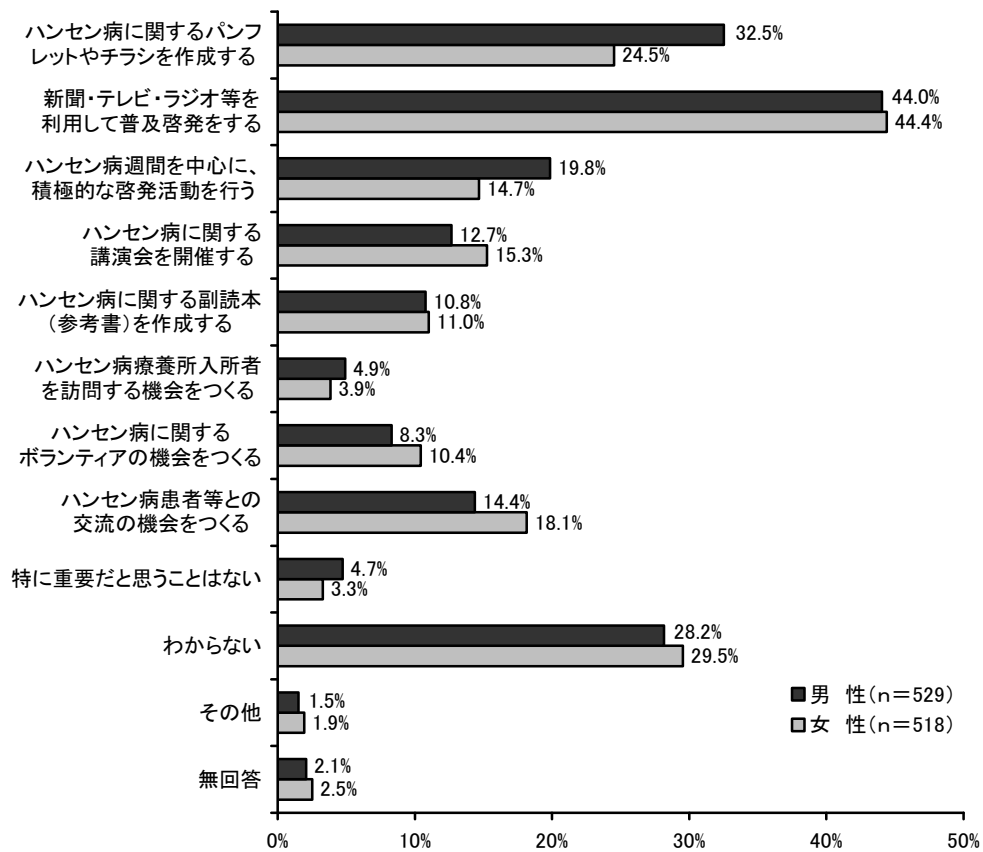
■「新聞・テレビ・ラジオ等を利用して普及啓発をする」が43.8%と最も高く、次いで「ハンセン病に関するパンフレットやチラシを作成する」が28.3%、「ハンセン病週間を中心に、積極的な啓発活動を行う」が17.1%の順となっている。

■「わからない」は28.6%と相対的に高くなっている。

#### 【前回比較】

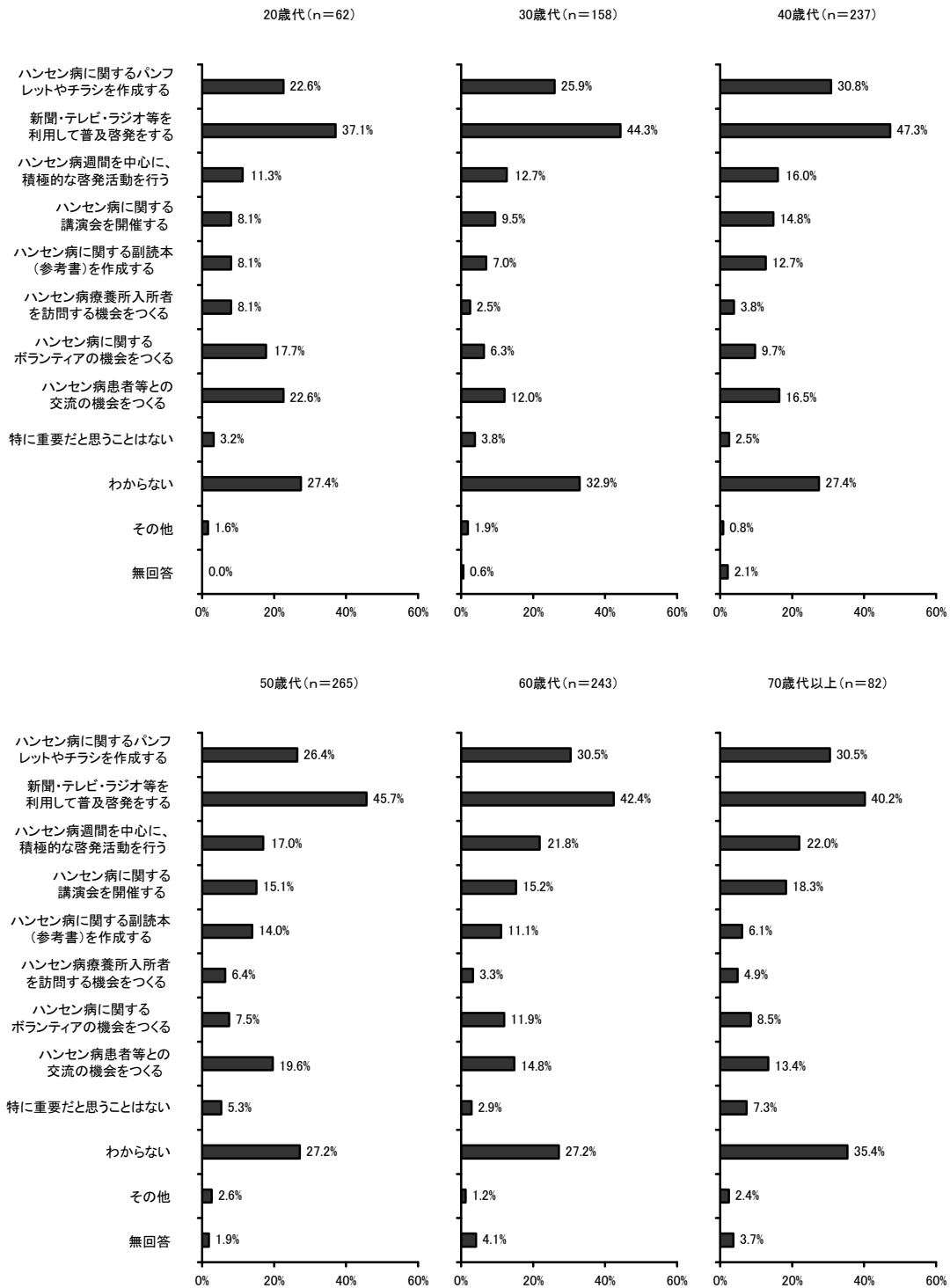
■「新聞・テレビ・ラジオ等を利用して普及啓発をする」は前回に比べ3.3ポイント減少しており、「わからない」は6.3ポイント増加している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「ハンセン病に関するパンフレットやチラシを作成する」の割合は男性がやや高い。

# 年代別

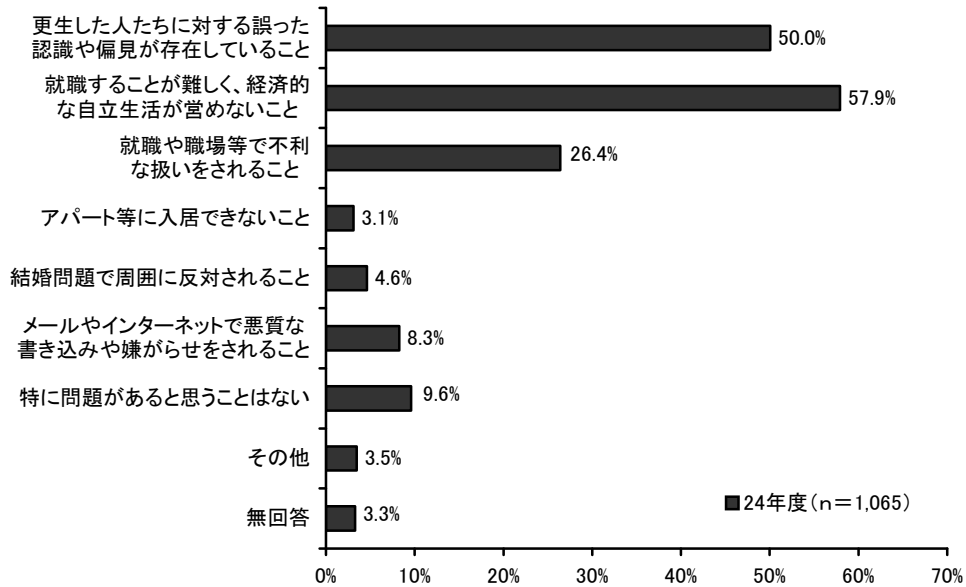


■ 「ハンセン病週間を中心に、積極的な啓発活動を行う」「ハンセン病に関する講演会を開催する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

### 3-10 刑を終えて出所した人の人権について

#### (1) 罪や非行を犯した人が、罪をつぐない社会復帰する場合、問題があると思うこと

問41 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

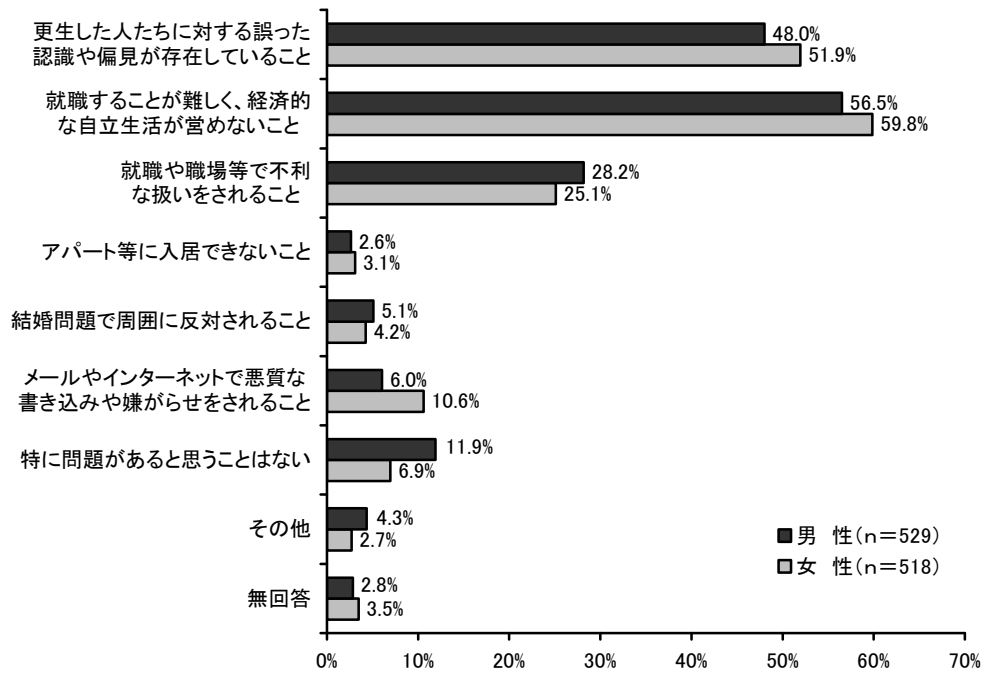


■「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が57.9%と最も高く、次いで「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が50.0%、「就職や職場等で不利な扱いをされること」が26.4%の順となっている。

#### 【前回比較】

※新たに追加した質問のため、比較はできない。

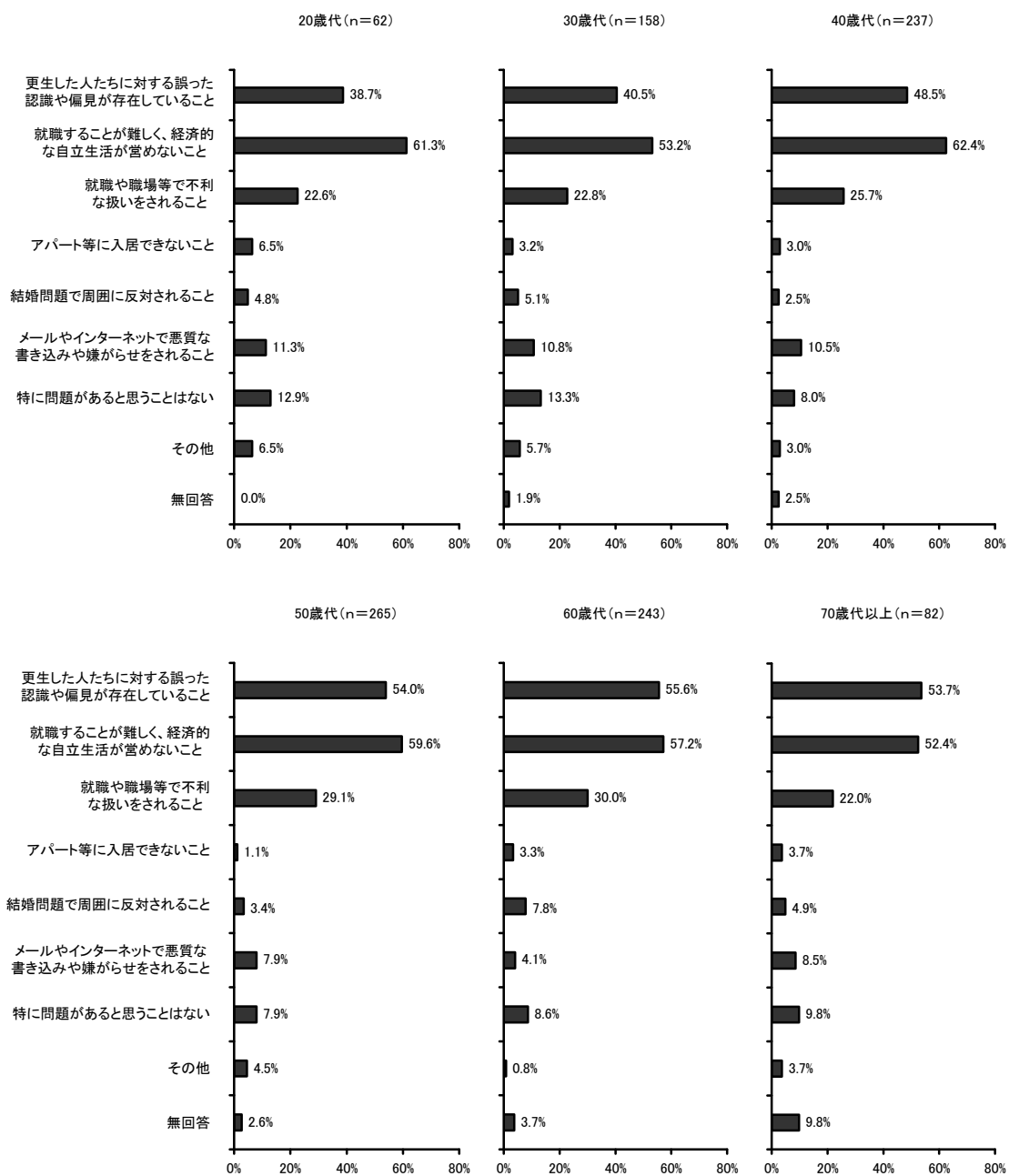
男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「特に問題があると思うことはない」の割合は男性がやや高い。



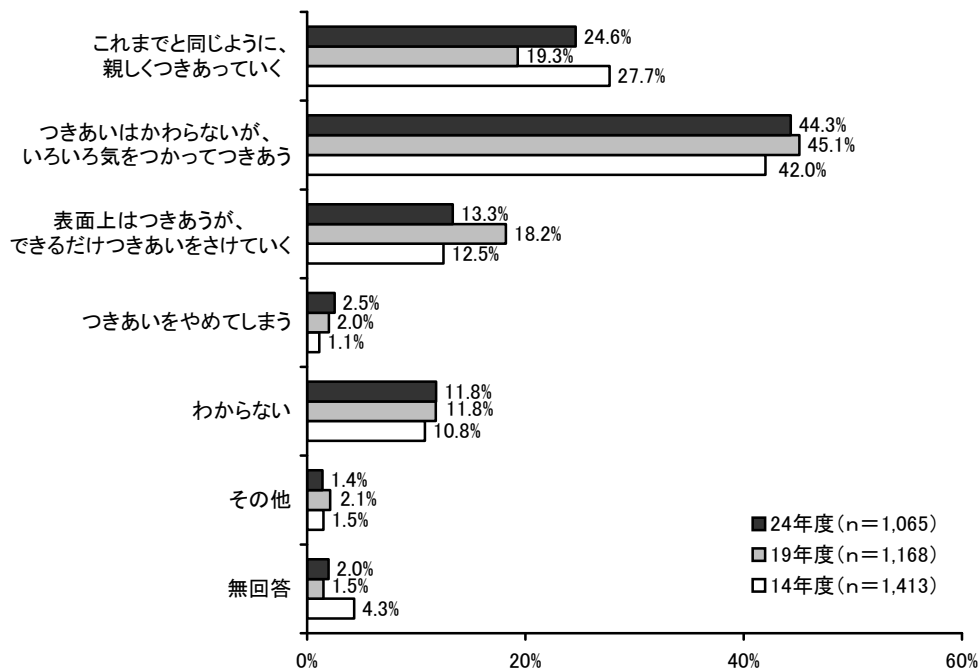
## 年代別



■ 「更生した人々に対する誤った認識や偏見が存在していること」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

## (2) 日頃親しくしている人が、刑を終えて出所した人だとわかったときの対応

問42 日頃から親しくつきあっている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどのようにしますか。あなたのお気持ちにいちばん近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

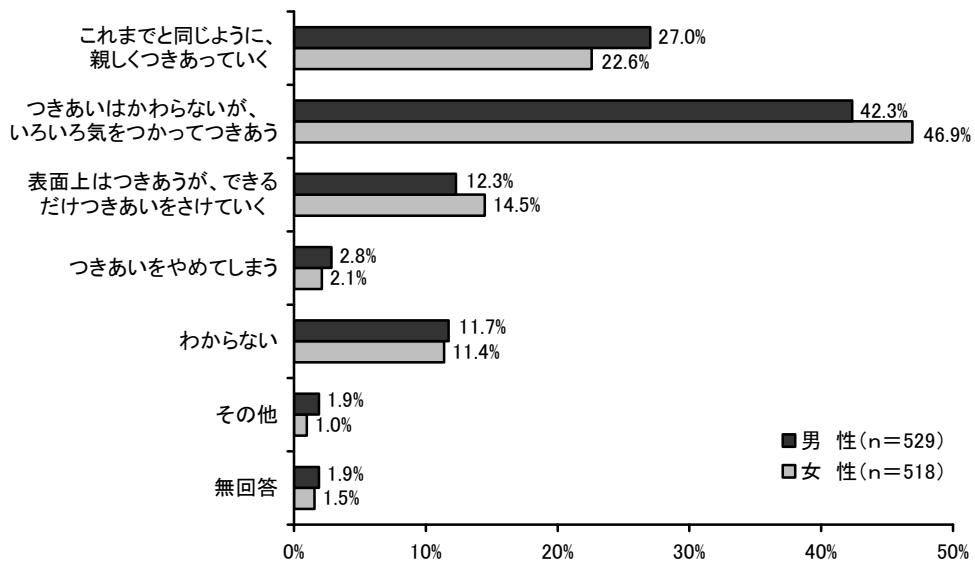


- 「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が44.3%と最も高く、次いで「これまでと同じように親しくつきあっていく」が24.6%となっている。
- 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」が13.3%、「つきあいをやめてしまう」が2.5%で“つきあい方が変わる”人は15.8%であった。

### 【前回比較】

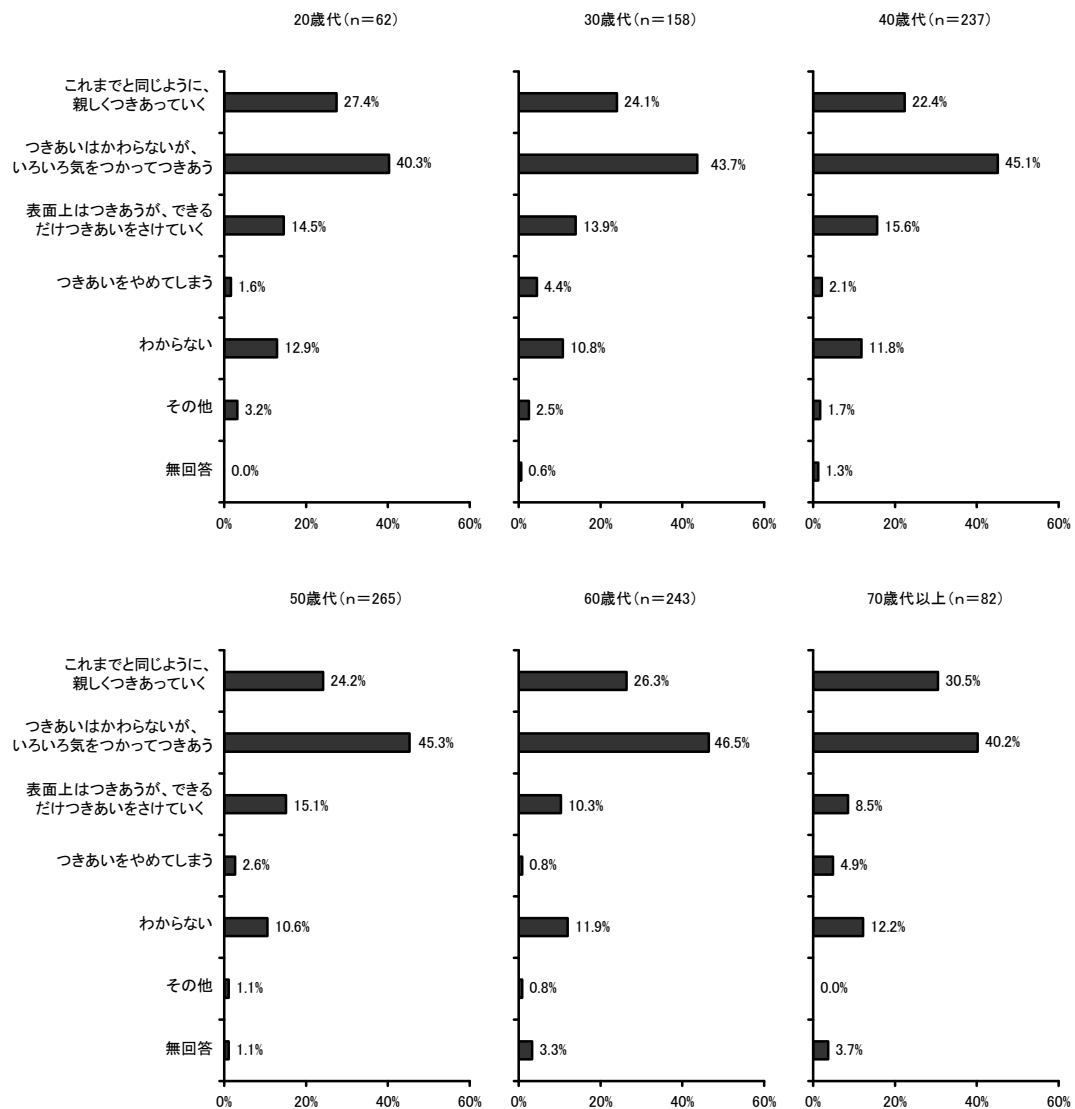
- 「これまでと同じように親しくつきあっていく」は前回に比べ5.3ポイント増加しており、「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」は4.9ポイント減少している。

男女別



■ 「これまでと同じように親しくつきあっていく」の割合は男性が、「つきあいとはわからないが、いろいろ気をつけてつきあう」の割合は女性がやや高い。

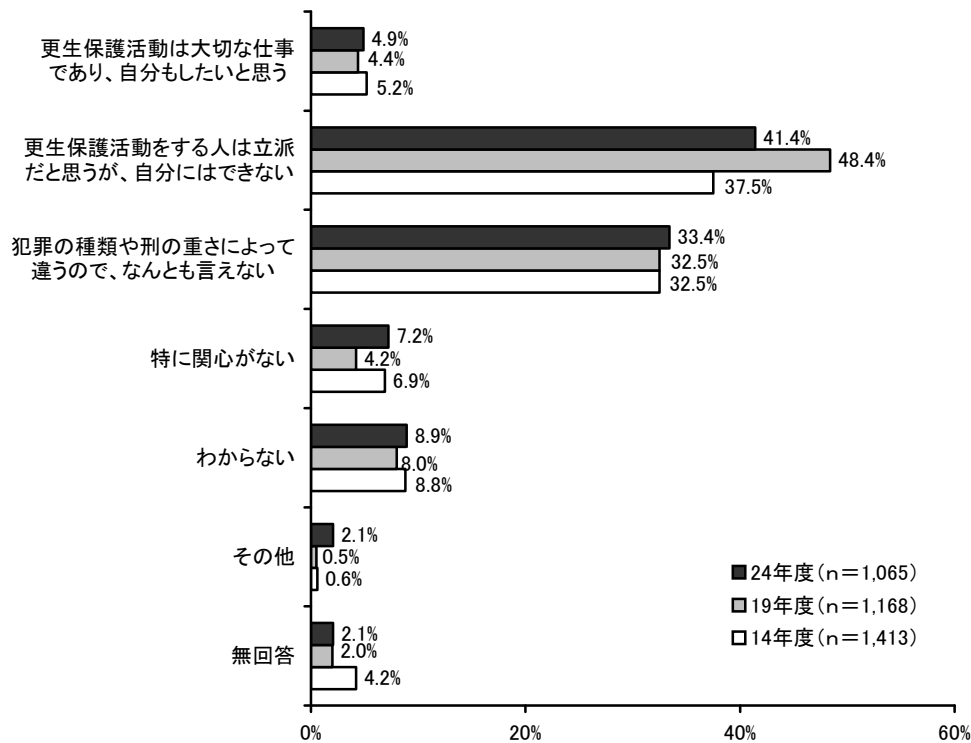
## 年代別



■ 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

### (3)「更生保護」活動への参加呼びかけに対する対応

問43 刑を終えて出所した人たちが社会に復帰するのを援助する「更生保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更生保護」活動をしませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えにいちばん近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

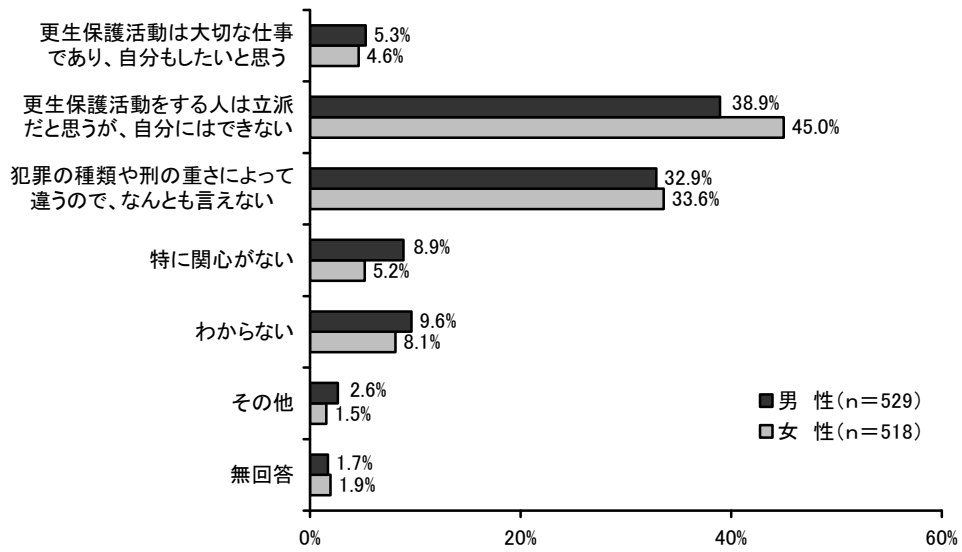


- 「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」が41.4%と最も高く、次いで「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が33.4%となっている。
- 「更生保護活動は大切な仕事であり、自分もしたいと思う」は4.9%にとどまっている。

#### 【前回比較】

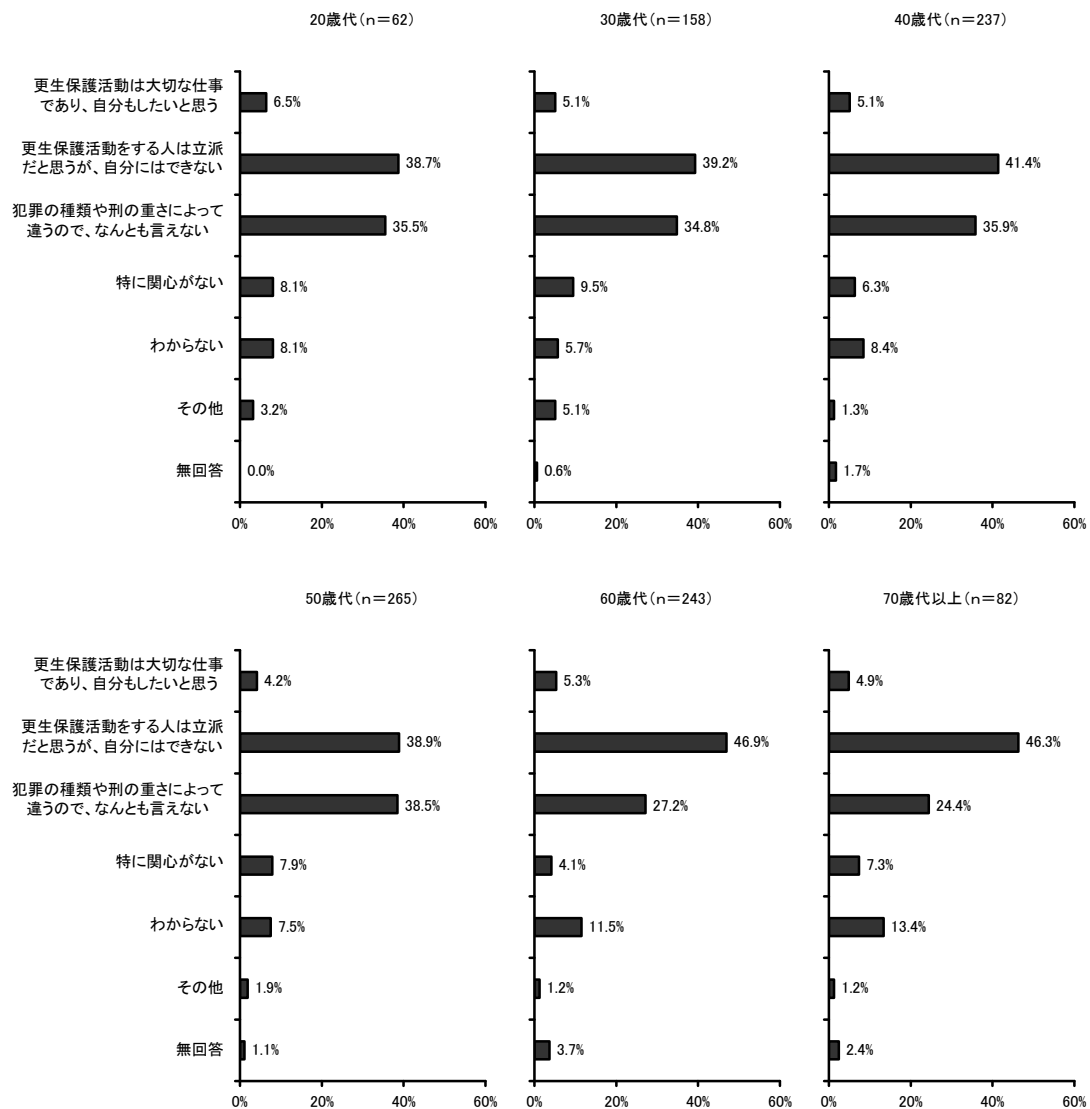
- 「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」は前回に比べ7.0ポイント減少しており、「特に関心がない」は3.0ポイント増加している。

男女別



■ 「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合は女性が、「特に関心がない」の割合は男性がやや高い。

## 年代別

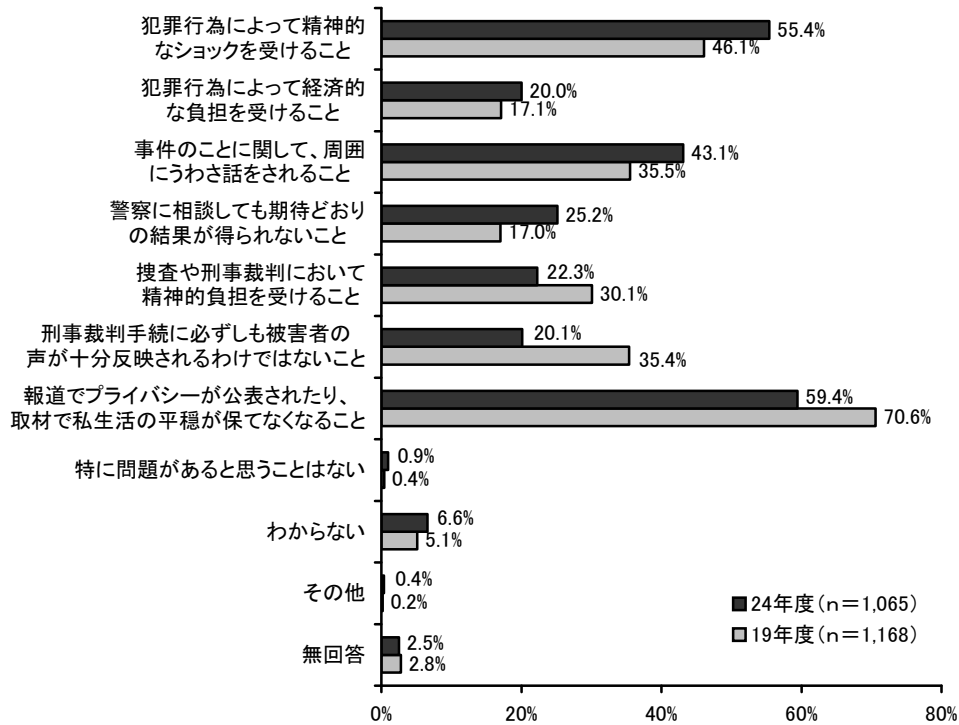


■年代別で大きな違いはみられない。

### 3-11 犯罪被害者とその家族の人権について

#### (1) 犯罪被害者とその家族の人権問題で、特に問題があると思うこと

問45 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から3つまで選んで○をつけてください。



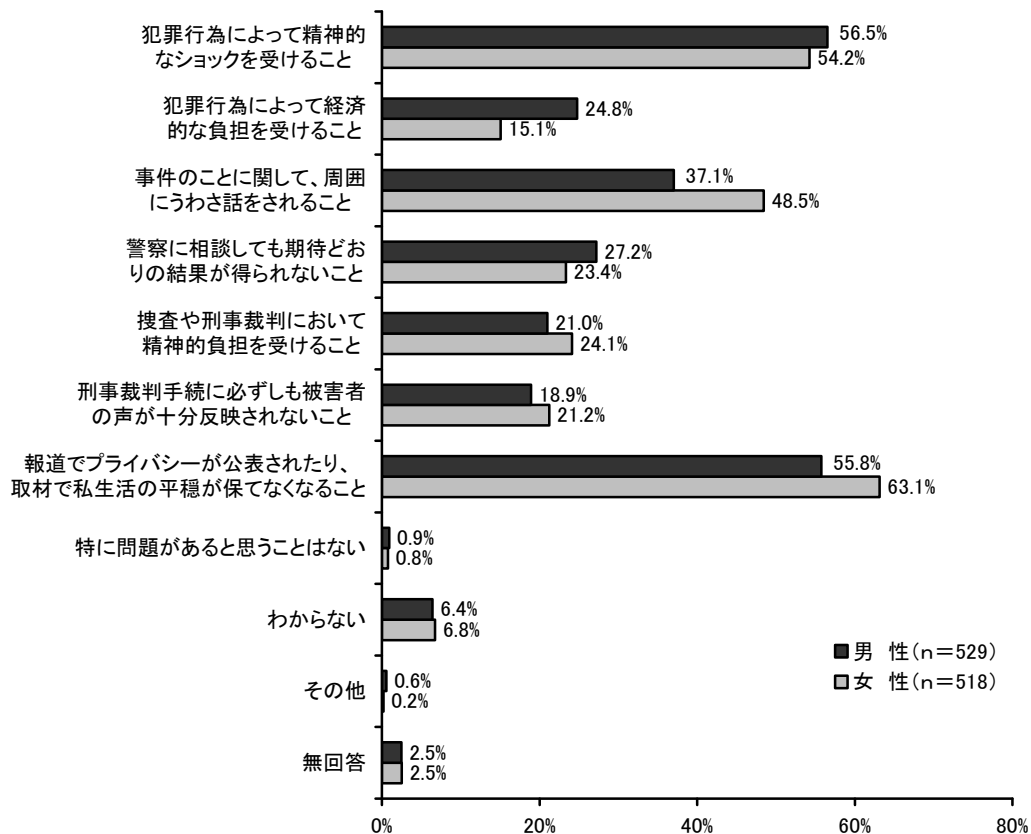
■「報道でプライバシーが公表されたり、取材で私生活の平穏が保てなくなること」が59.4%と最も高く、次いで「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が55.4%、「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」が43.1%の順となっている。

#### 【前回比較】

■「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」は前回に比べ9.3ポイント、「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」は7.6ポイント、「警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと」は8.2ポイント増加している。

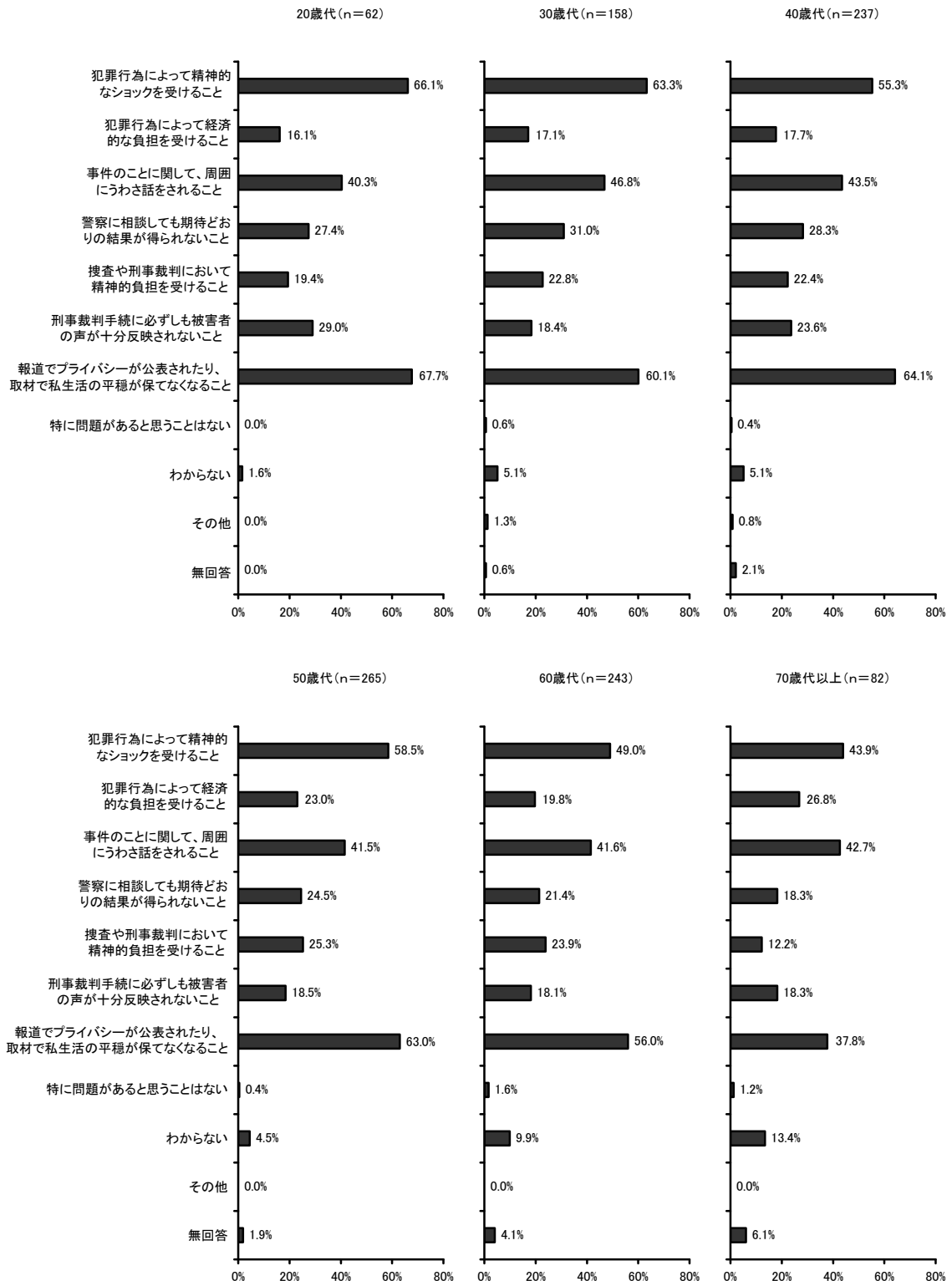


## 男女別



- 「犯罪行為によって経済的な負担を受けること」の割合は男性が、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」「報道でプライバシーが公表されたり、取材で私生活の平穏が保てなくなること」の割合は女性がやや高い。

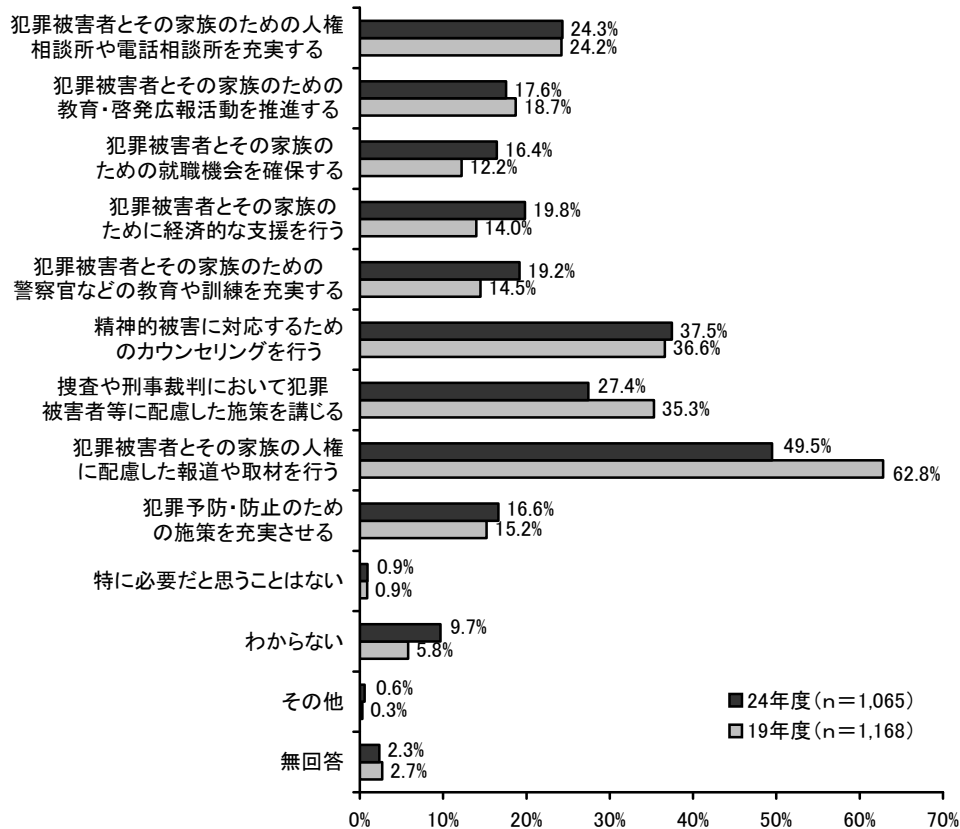
# 年代別



■「犯罪行為によって経済的な負担を受けること」の割合は、年代が上がるにつれて高くなり、「報道でプライバシーが公表されたり、取材で私生活の平穏が保てなくなること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) 犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要なこと

問46 犯罪被害者とその家族の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から3つまで選んで○をつけてください。

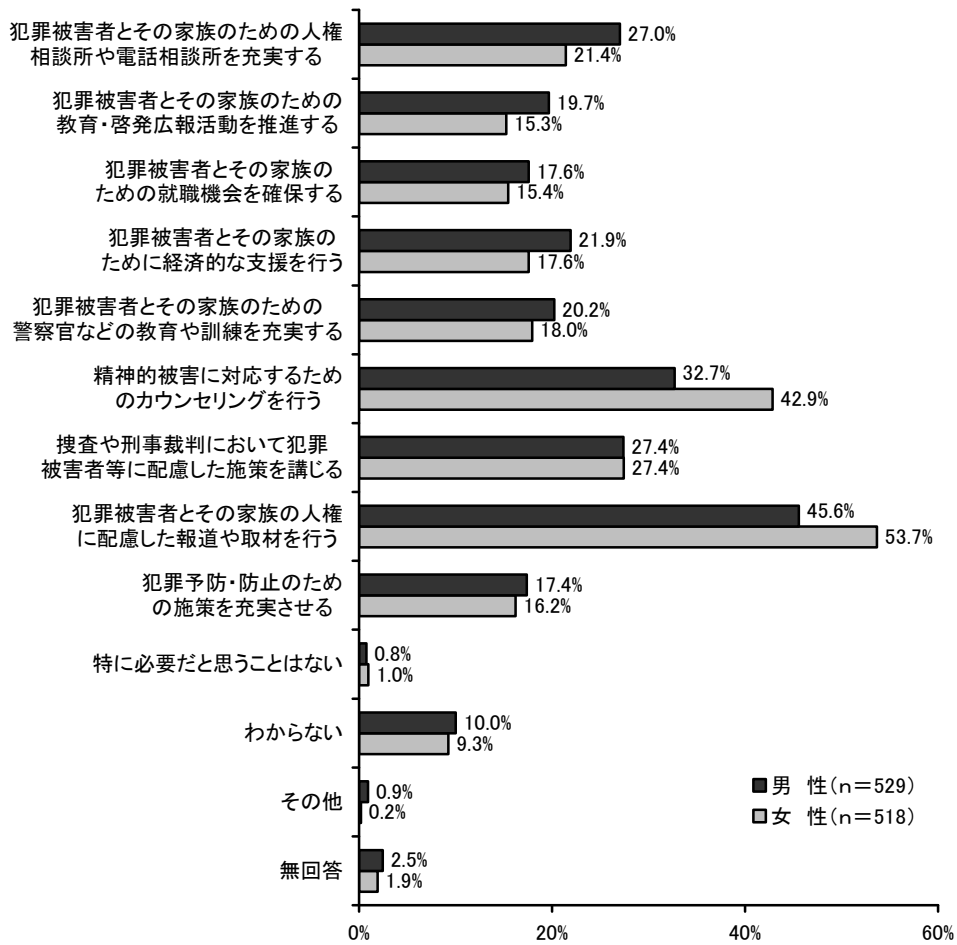


■「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」が49.5%と最も高く、次いで「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」が37.5%、「捜査や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した施策を講じる」が27.4%の順となっている。

### 【前回比較】

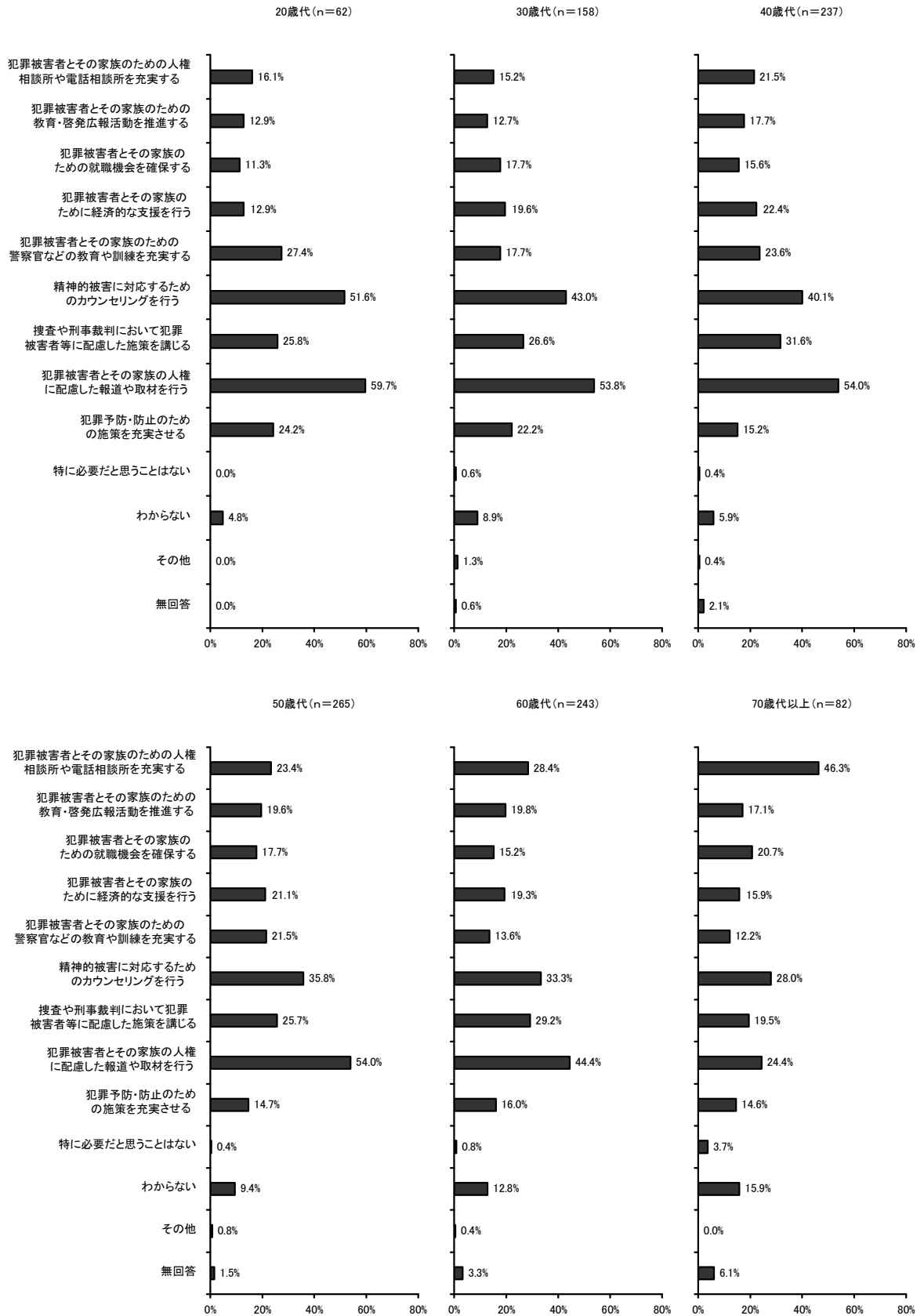
■「犯罪被害者とその家族のための就職機会を確保する」は前回に比べ4.2ポイント、「犯罪被害者とその家族のために経済的な支援を行う」は5.8ポイント、「犯罪被害者とその家族のための警察官などの教育や訓練を充実する」は4.7ポイント増加している。

## 男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」は女性が5割を超えている。

# 年代別

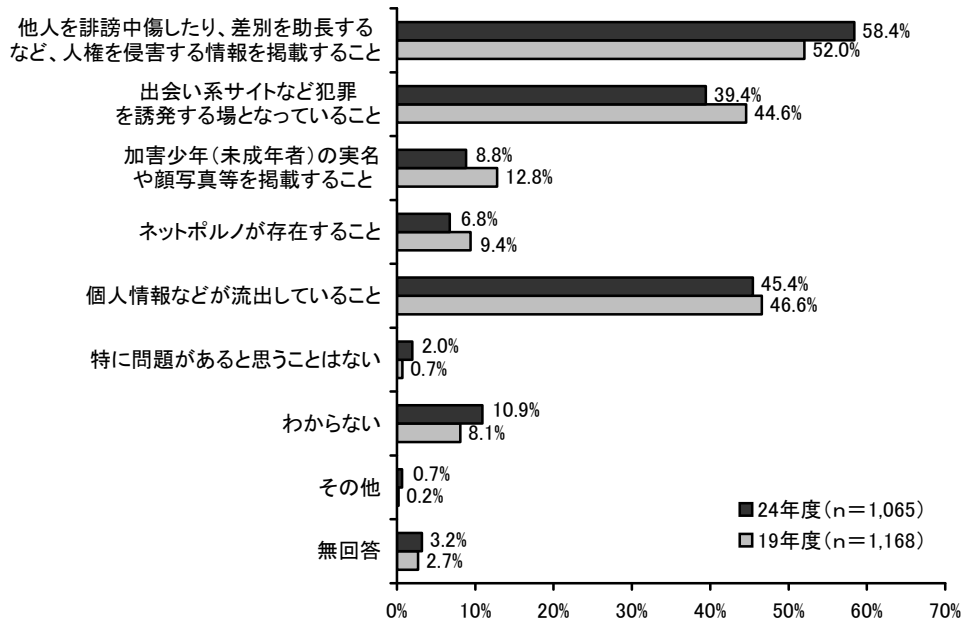


- 「犯罪被害者とその家族のための人権相談所や電話相談所を充実する」の割合は年代が上がるにつれて高くなり、70歳代以上で46.3%となっている。
- 「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## 3-12 インターネットによる人権侵害について

### (1) インターネットによる人権侵害で、特に問題があると思うこと

問48 インターネットによる人権侵害について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

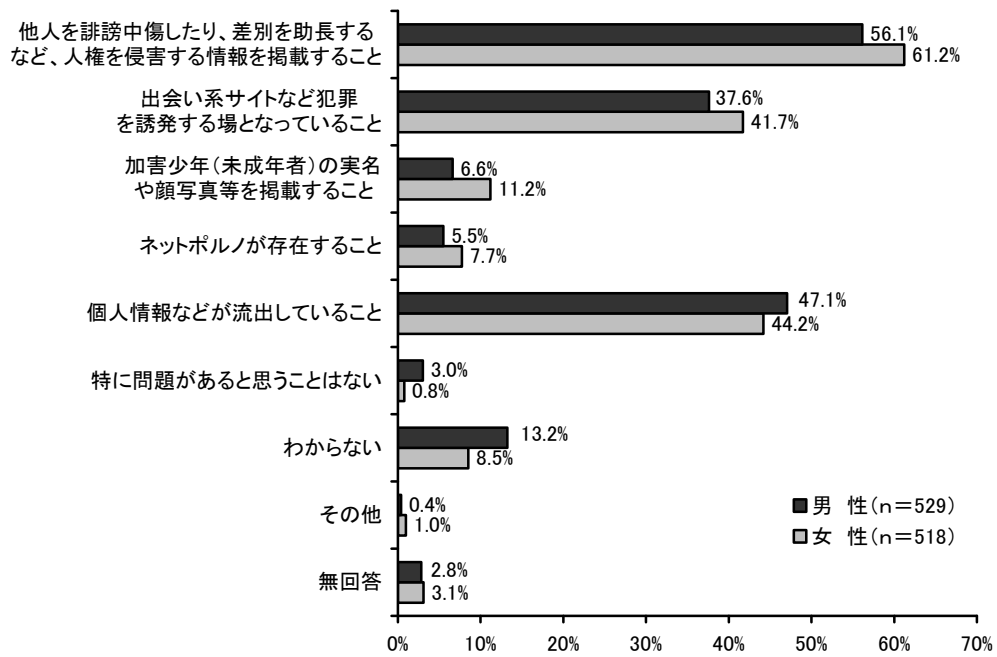


■「他人を誹謗中傷したり、差別を助長するなど、人権を侵害する情報を掲載すること」が58.4%と最も高く、次いで「個人情報などが流出していること」が45.4%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が39.4%の順となっている。

#### 【前回比較】

■「他人を誹謗中傷したり、差別を助長するなど、人権を侵害する情報を掲載すること」は前回に比べ6.4ポイント増加している。

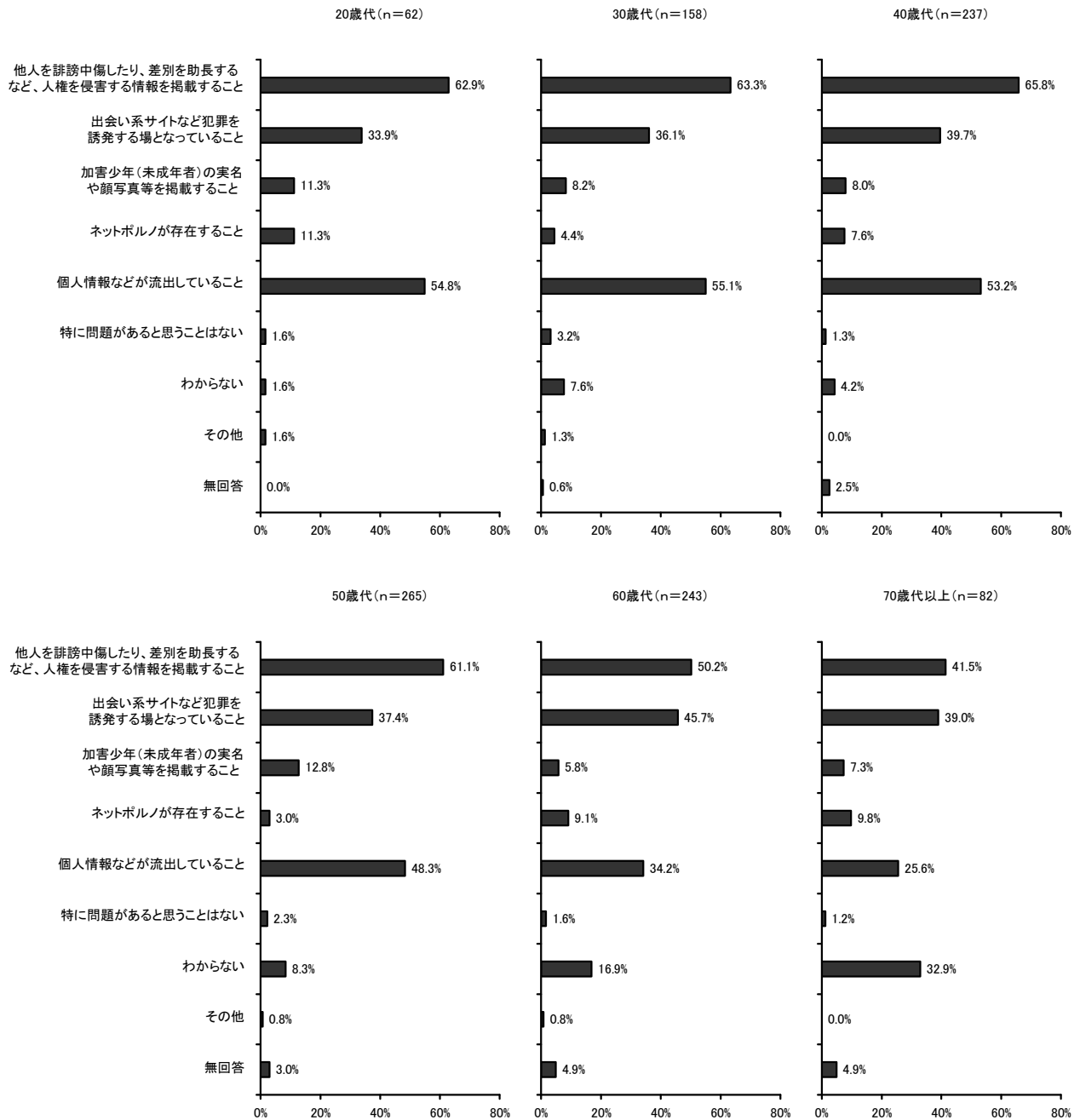
男女別



■男女間で大きな違いはみられない。



## 年代別

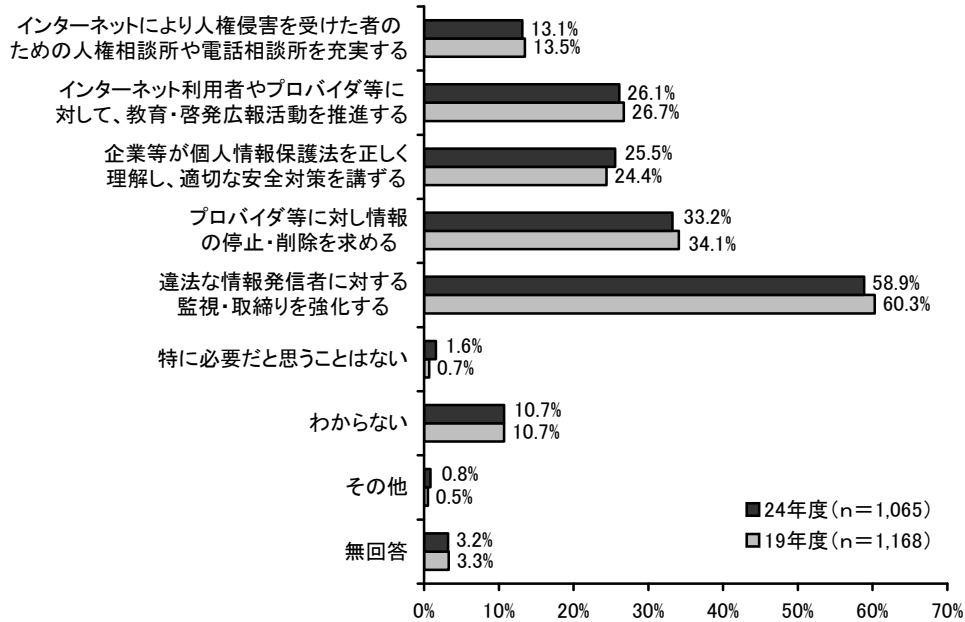


■ 「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」は60歳代で45.7%と、他の年代に比べて高くなっている。

■ 「個人情報などが流出していること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) インターネットによる人権侵害を解決するために必要なこと

問49 インターネットによる人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

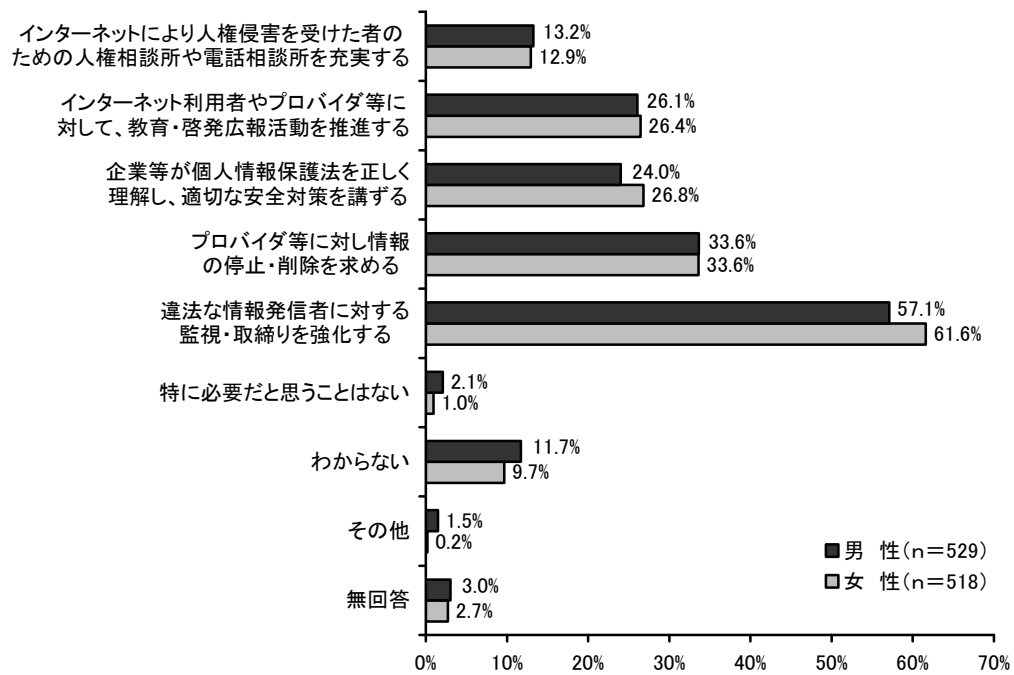


■「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が58.9%と最も高く、次いで「プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める」が33.2%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、教育・啓発広報活動を推進する」が26.1%、「企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策を講ずる」が25.5%の順となっている。

### 【前回比較】

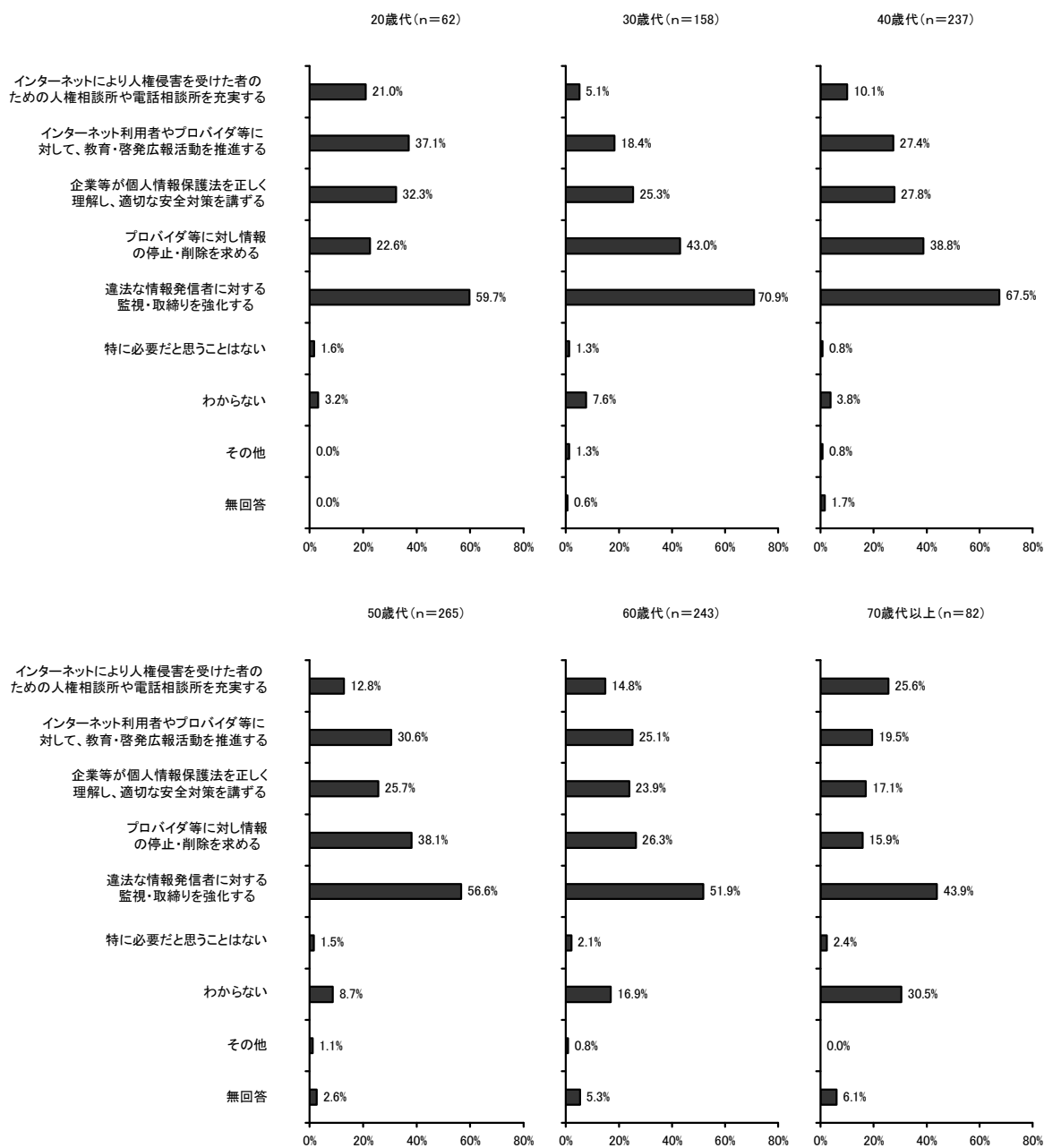
■前回と比べて、大きな違いはみられない。

## 男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」は女性が6割を超えている。

## 年代別



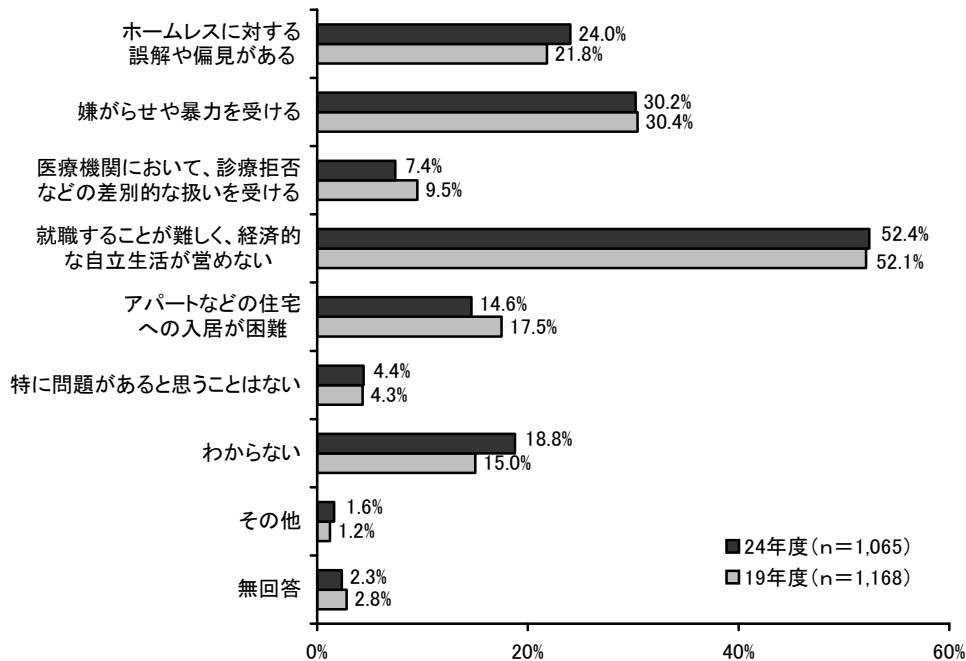
■ 「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」は30歳代で70.9%と、他の年代に比べて高くなっている。

■ 「わからない」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

### 3-13 ホームレスの人権について

#### (1) ホームレスの人権問題で、特に問題があると思うこと

問51 ホームレスの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

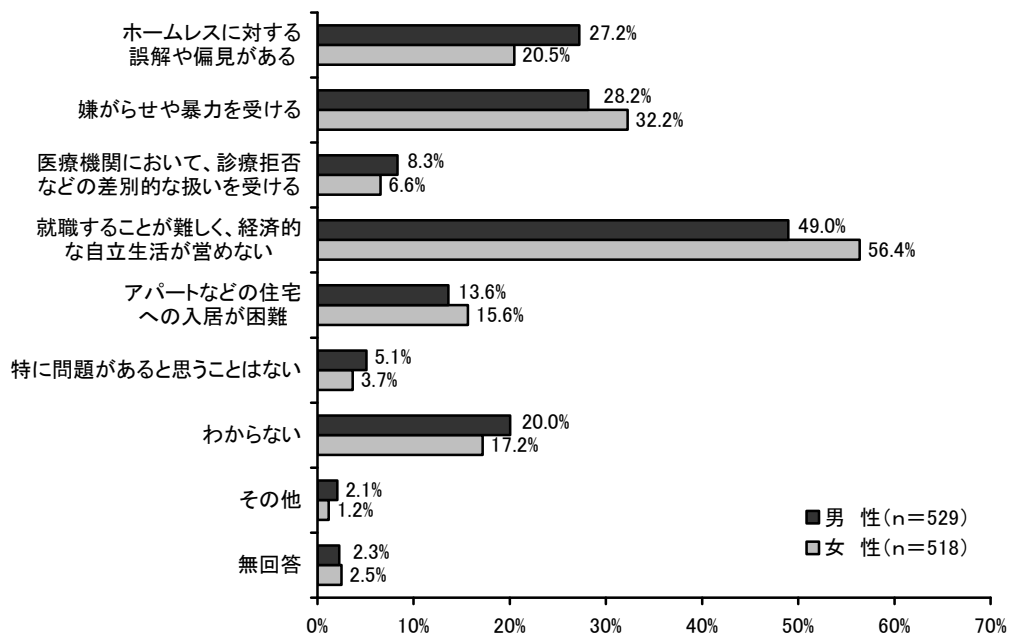


■「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めない」が52.4%と最も高く、次いで「嫌がらせや暴力を受ける」が30.2%、「ホームレスに対する誤解や偏見がある」が24.0%の順となっている。

#### 【前回比較】

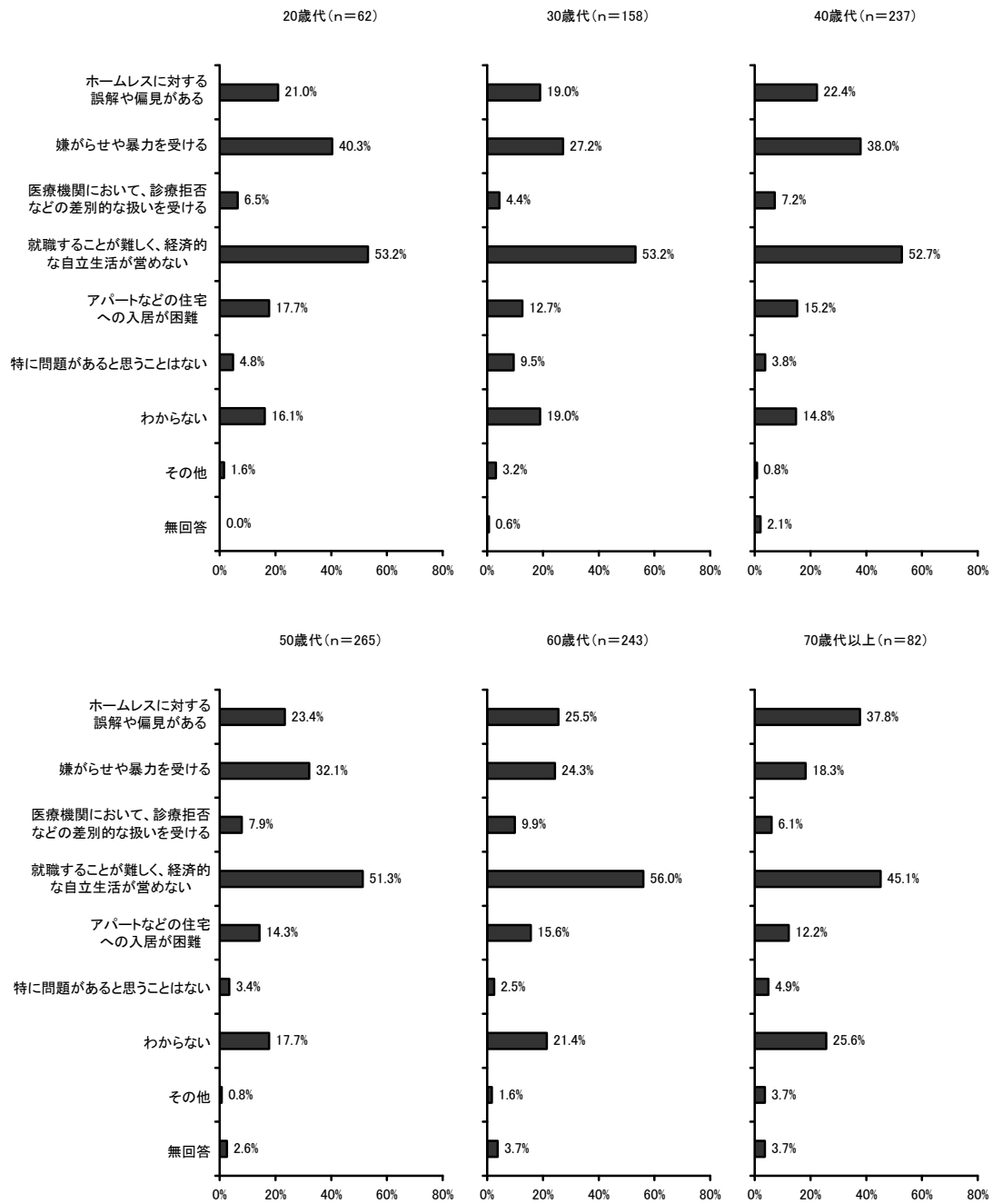
■「わからない」は前回に比べ3.8ポイント増加している。

男女別



■ 「ホームレスに対する誤解や偏見がある」の割合は男性が、「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めない」の割合は女性がやや高い。

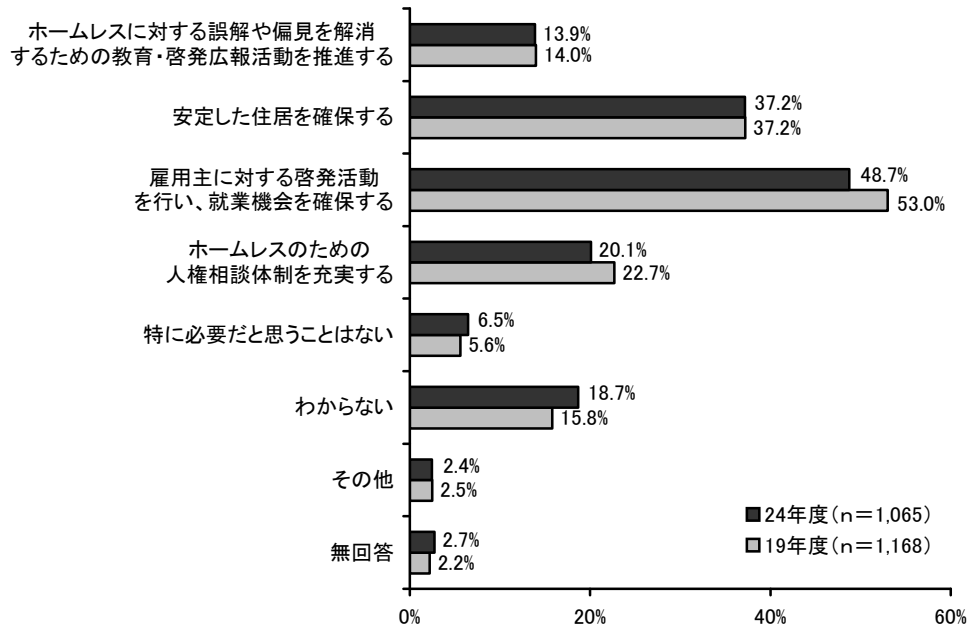
年代別



■ 「嫌がらせや暴力を受ける」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) ホームレスへの人権問題を解決するために必要なこと

問52 ホームレスへの人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



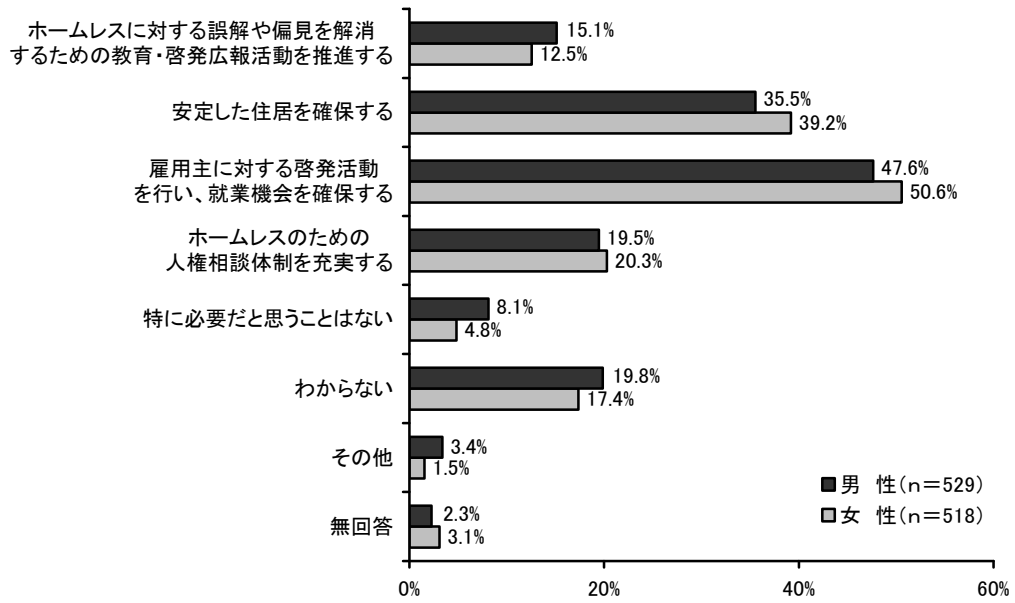
■「雇用主に対する啓発活動を行い、就業機会を確保する」が48.7%と最も高く、次いで「安定した住居を確保する」が37.2%、「ホームレスのための人権相談体制を充実する」が20.1%の順となっている。

### 【前回比較】

■「雇用主に対する啓発活動を行い、就業機会を確保する」は前回に比べ4.3ポイント減少しており、「わからない」は2.9ポイント増加している。

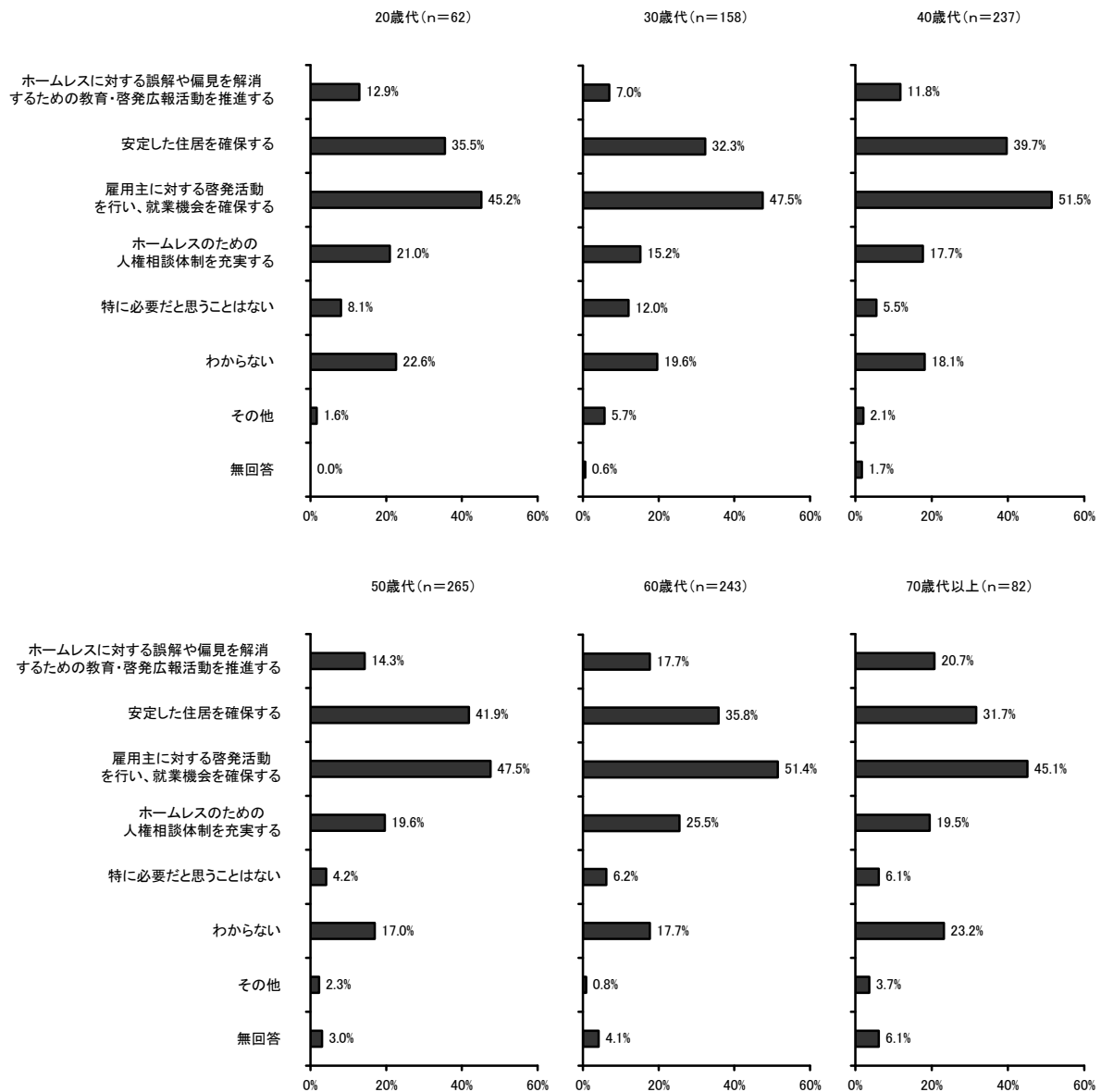


男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「特に必要だと思うことはない」の割合は男性がやや高い。

## 年代別

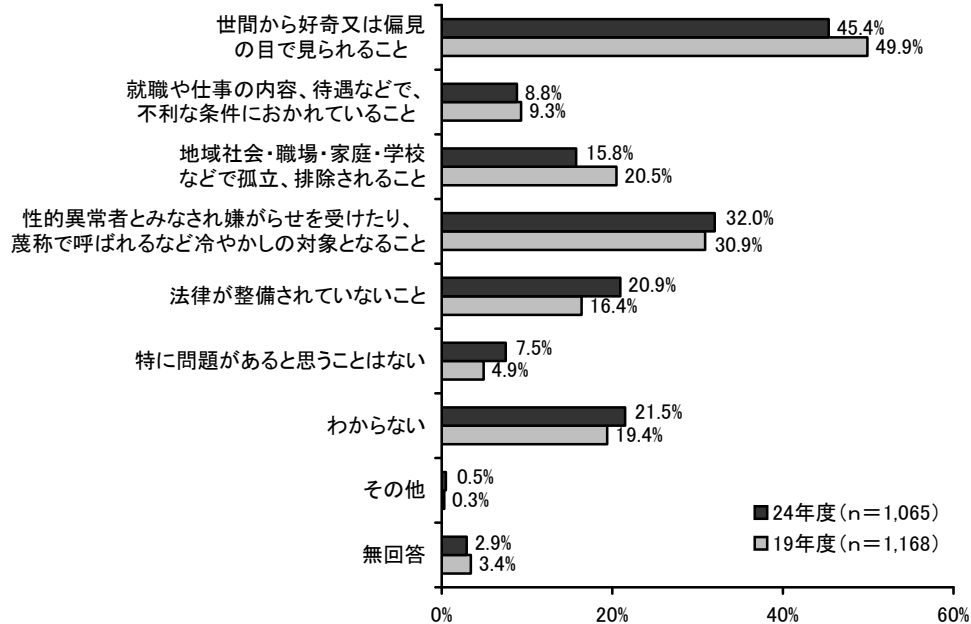


■ 「ホームレスに対する誤解や偏見を解消するための教育・啓発広報活動を推進する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

### 3-14 性的指向の異なる人の人権について

#### (1) 性的指向の異なる人の人権問題で、特に問題があると思うこと

問54 性的指向の異なる人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



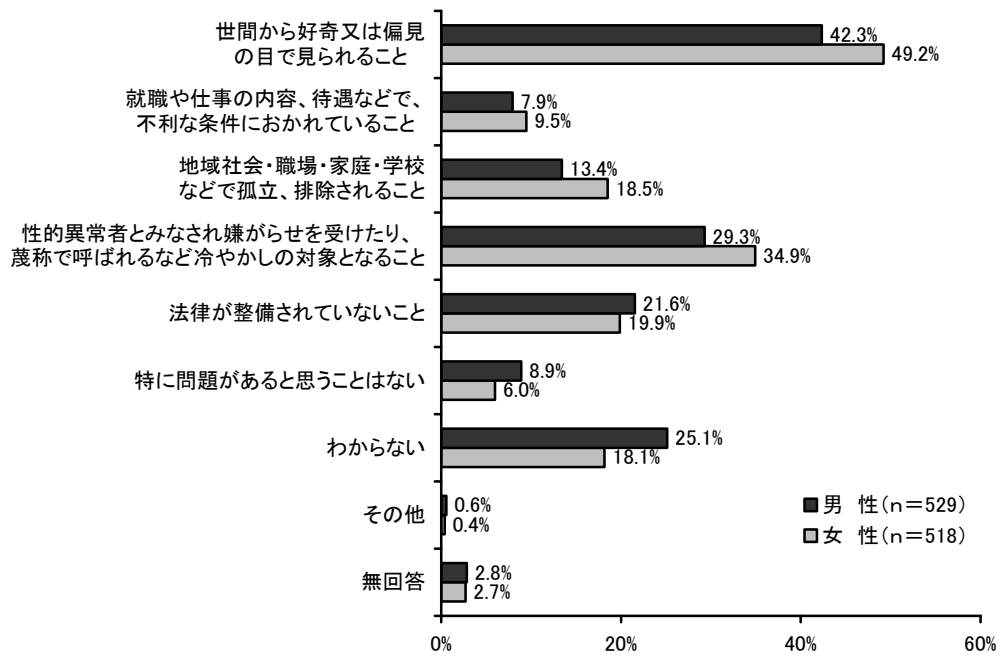
■ 「世間から好奇又は偏見の目で見られること」が45.4%と最も高く、次いで「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が32.0%、「法律が整備されていないこと」が20.9%の順となっている。

■ 「わからない」は21.5%と相対的に高くなっている。

#### 【前回比較】

■ 「法律が整備されていないこと」は前回に比べ4.5ポイント、「特に問題があると思うことはない」は2.6ポイント増加している。

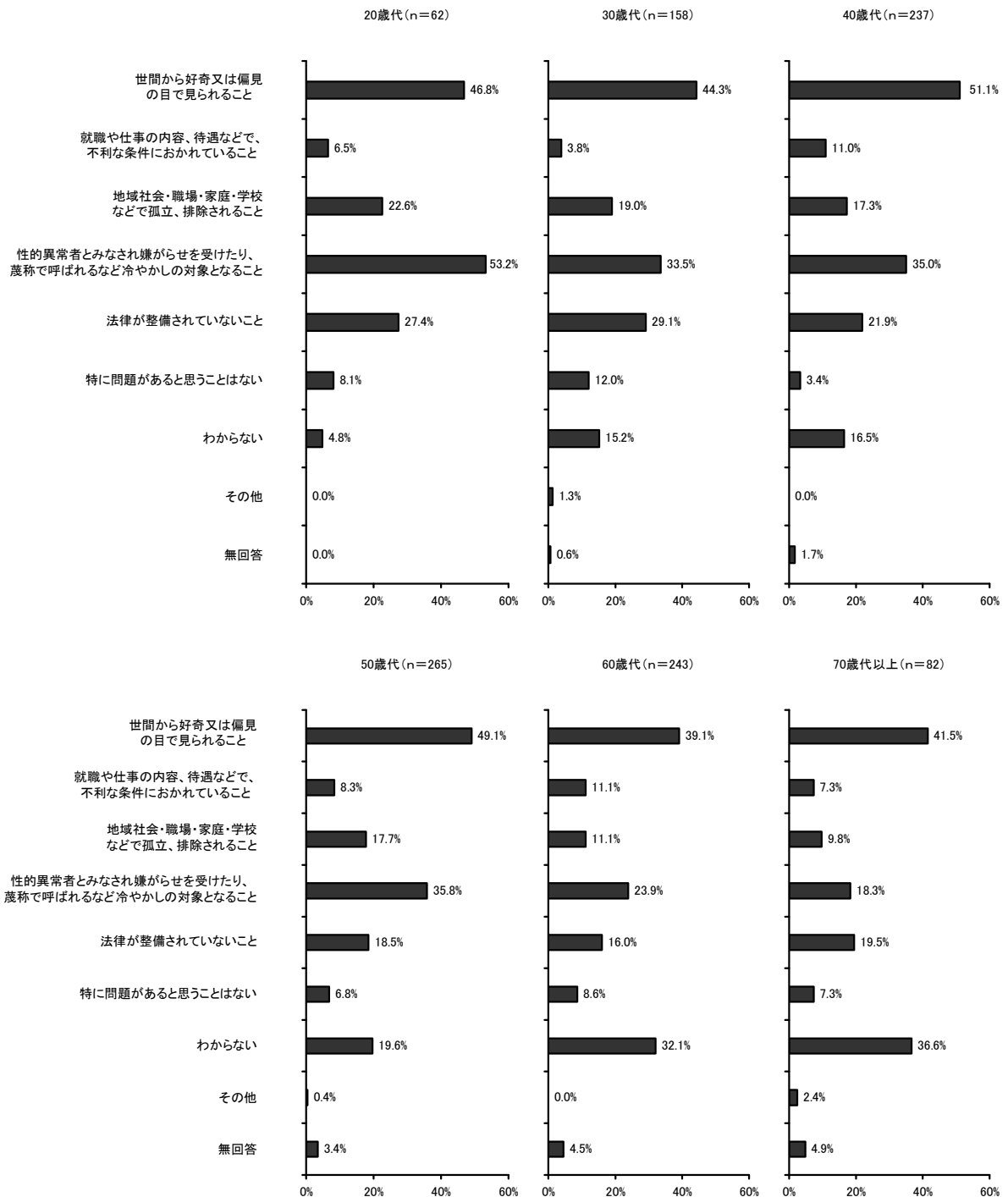
男女別



■男女共に「世間から好奇又は偏見の目で見られること」は最も高く、女性が5割弱となっている。

■「わからない」の割合は男性がやや高い。

## 年代別

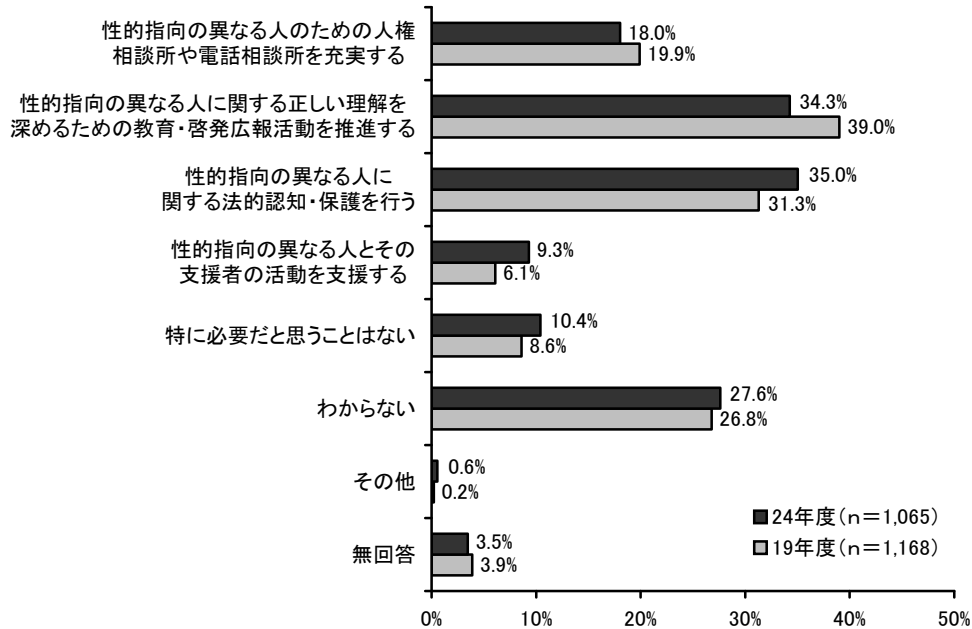


■ 「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

■ 「わからない」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。

## (2) 性的指向の異なる人への人権問題を解決するために必要なこと

問55 性的指向の異なる人への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

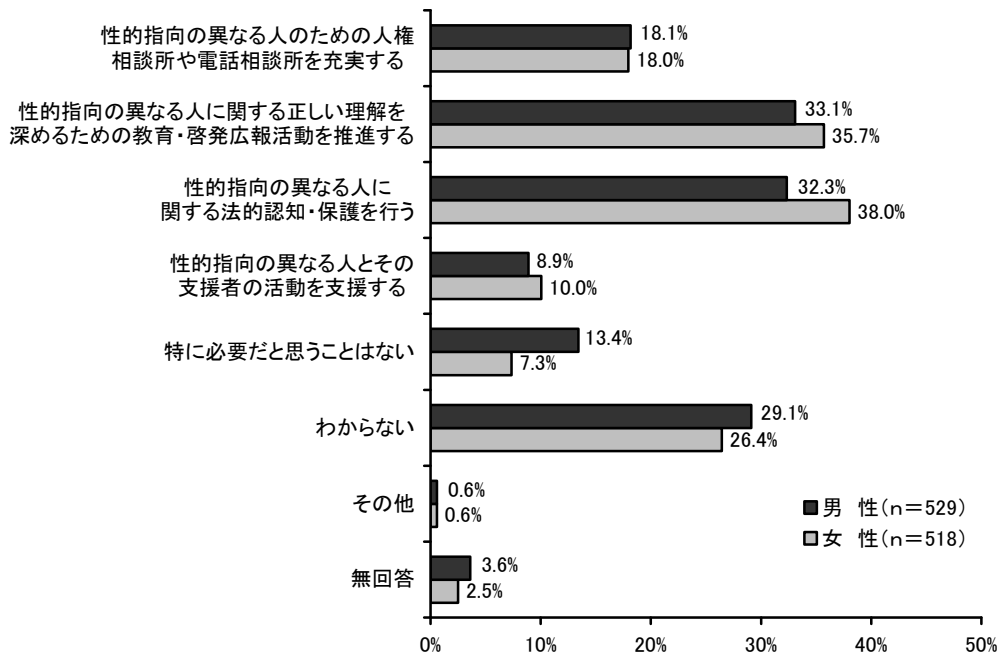


- 「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」が35.0%と最も高く、次いで「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が34.3%、「性的指向の異なる人への人権相談所や電話相談所を充実する」が18.0%の順となっている。
- 「わからない」は27.6%と相対的に高くなっている。

### 【前回比較】

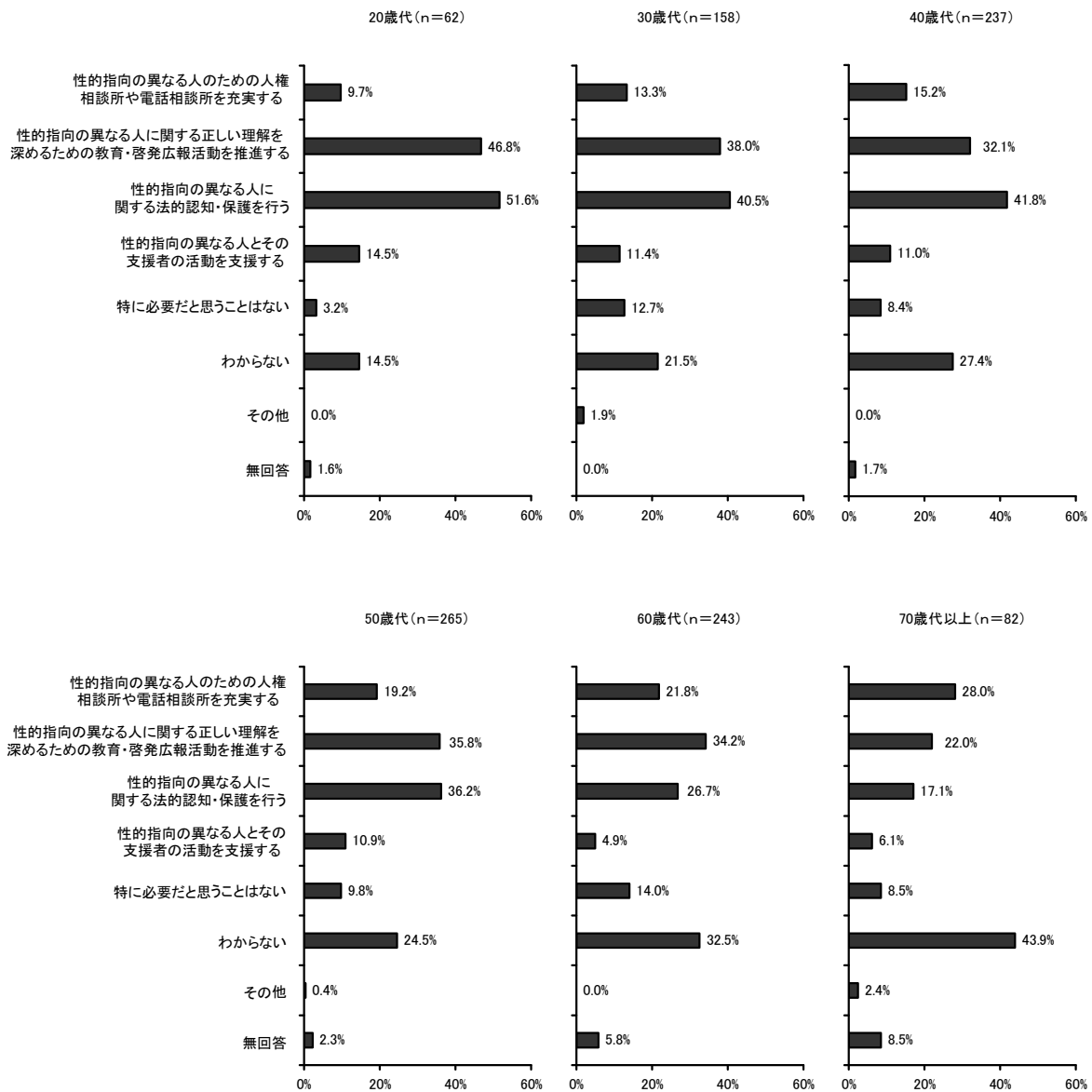
- 「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」は前回に比べ3.7ポイント、「性的指向の異なる人とその支援者の活動を支援する」は3.2ポイント増加している。

男女別



- 「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」は女性が4割弱で、最も高くなっている。
- 「特に必要だと思うことはない」の割合は男性がやや高い。

## 年代別



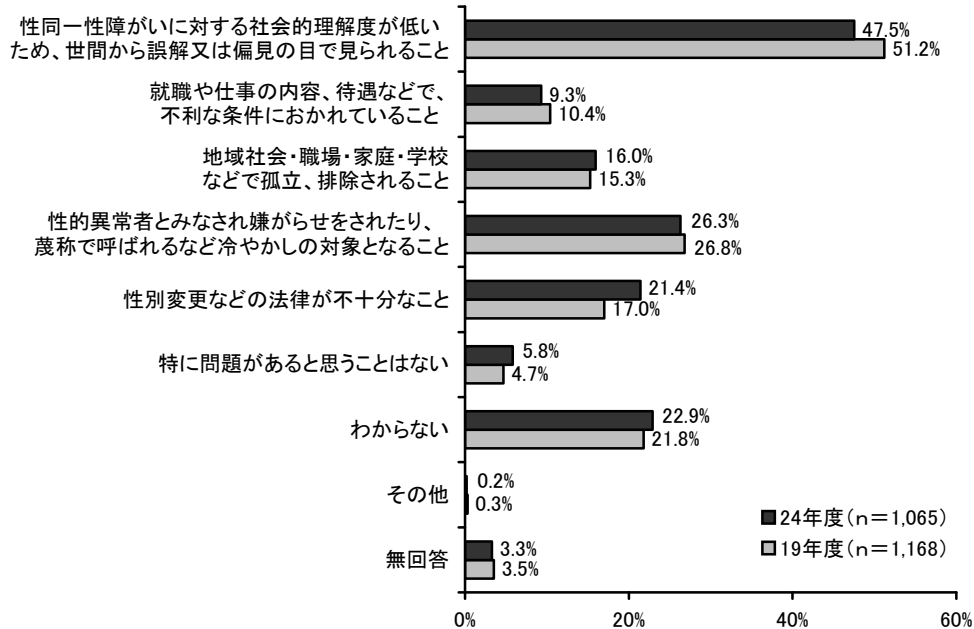
- 「性的指向の異なる人へのための人権相談所や電話相談所を充実する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。



### 3-15 性同一性障がい者の人権について

#### (1) 性同一性障がい者の人権問題で、特に問題があると思うこと

問57 性同一性障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



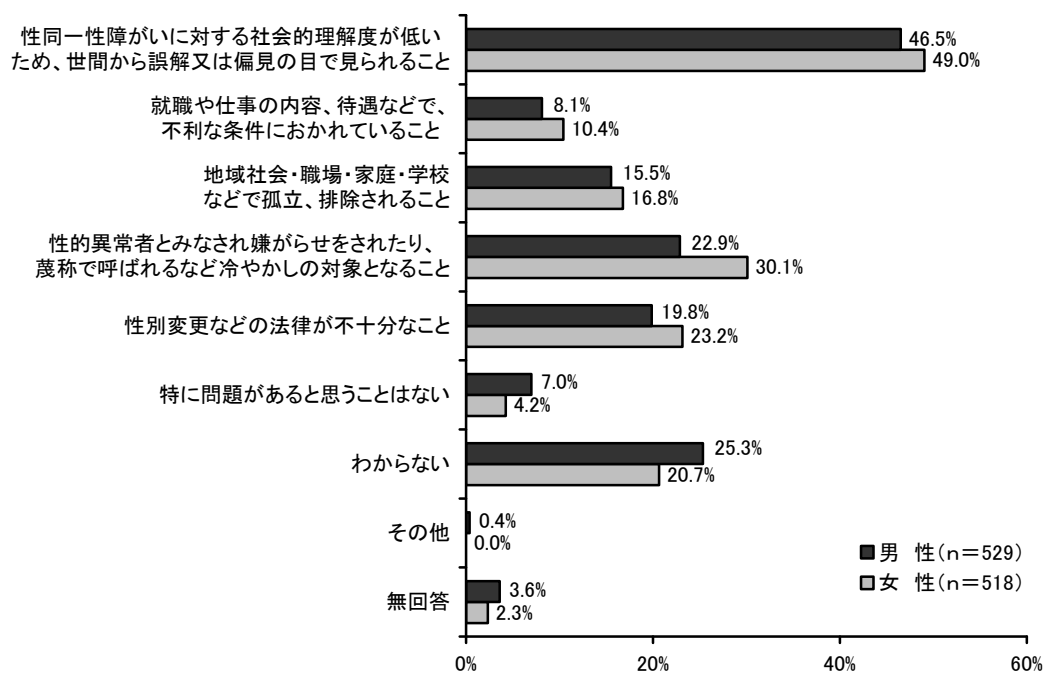
■「性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」が47.5%と最も高く、次いで「性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」が26.3%、「性別変更などの法律が不十分なこと」が21.4%の順となっている。

■「わからない」は22.9%と相対的に高くなっている。

#### 【前回比較】

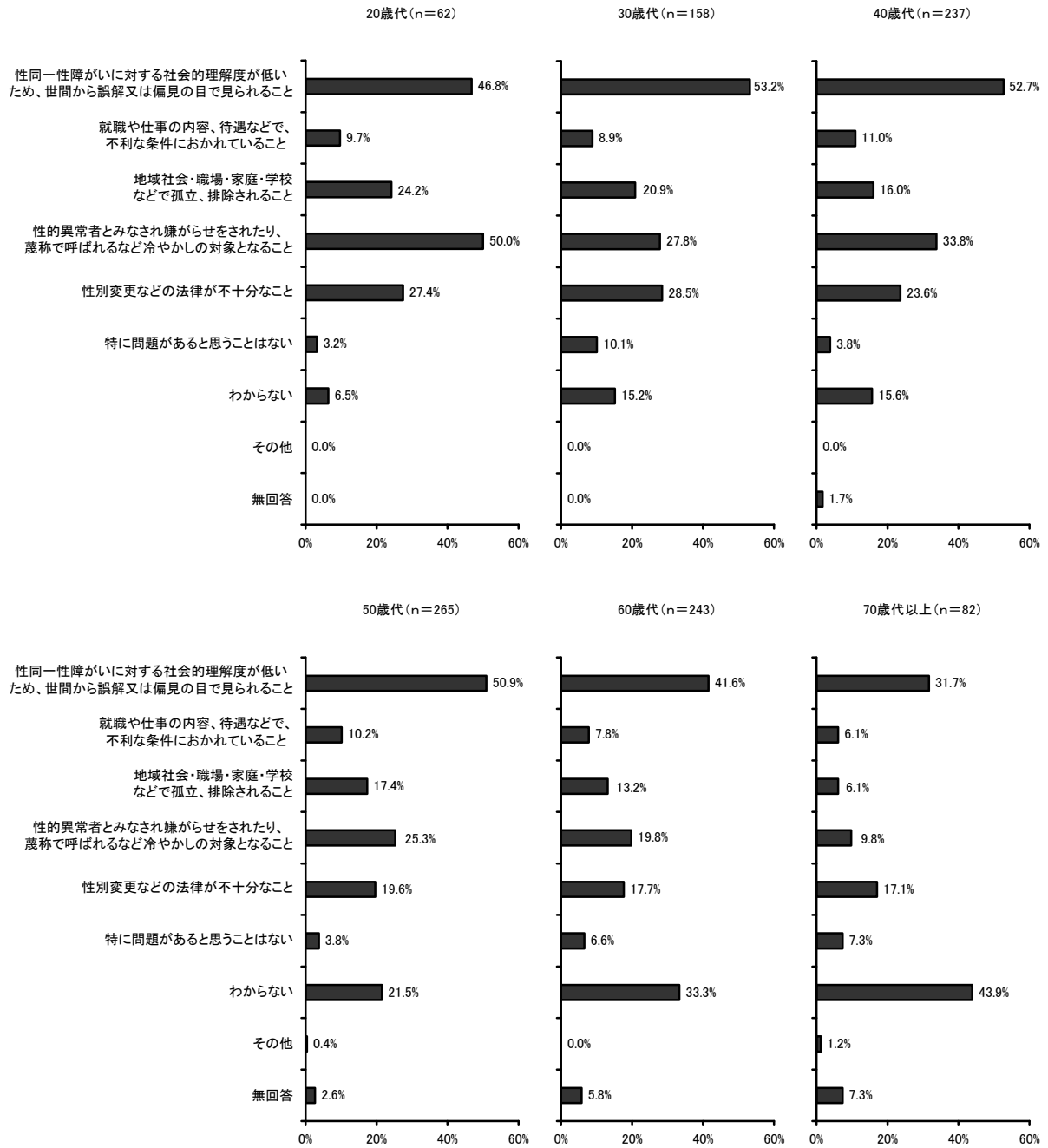
■「性別変更などの法律が不十分なこと」は前回に比べ4.4ポイント増加している。

## 男女別



- 「性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」の割合は女性が、「わからない」の割合は男性がやや高い。

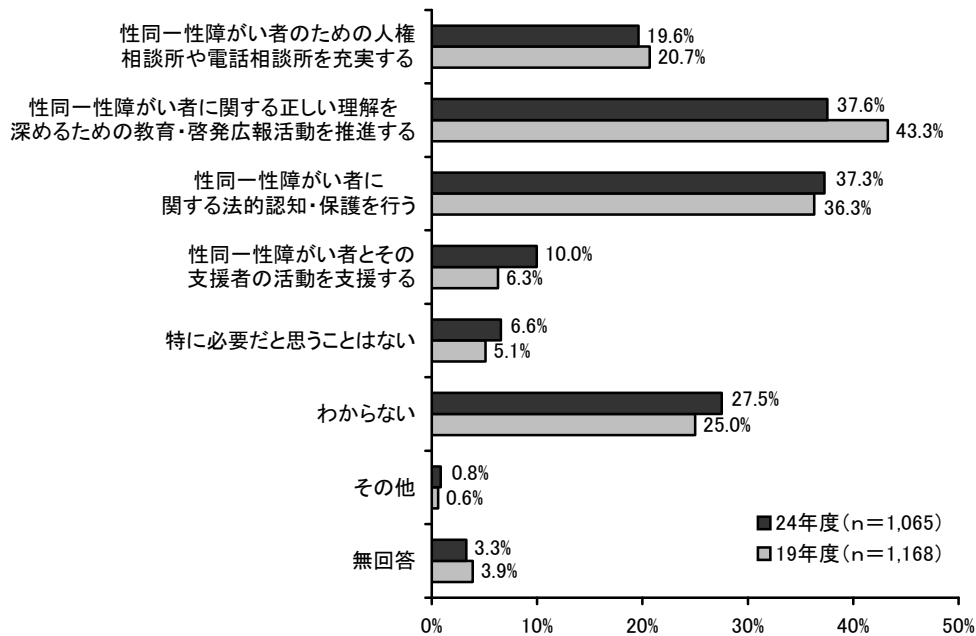
## 年代別



■ 「地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること」「性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかしの対象となること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

## (2) 性同一性障がい者への人権問題を解決するために必要なこと

問58 性同一性障がい者への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



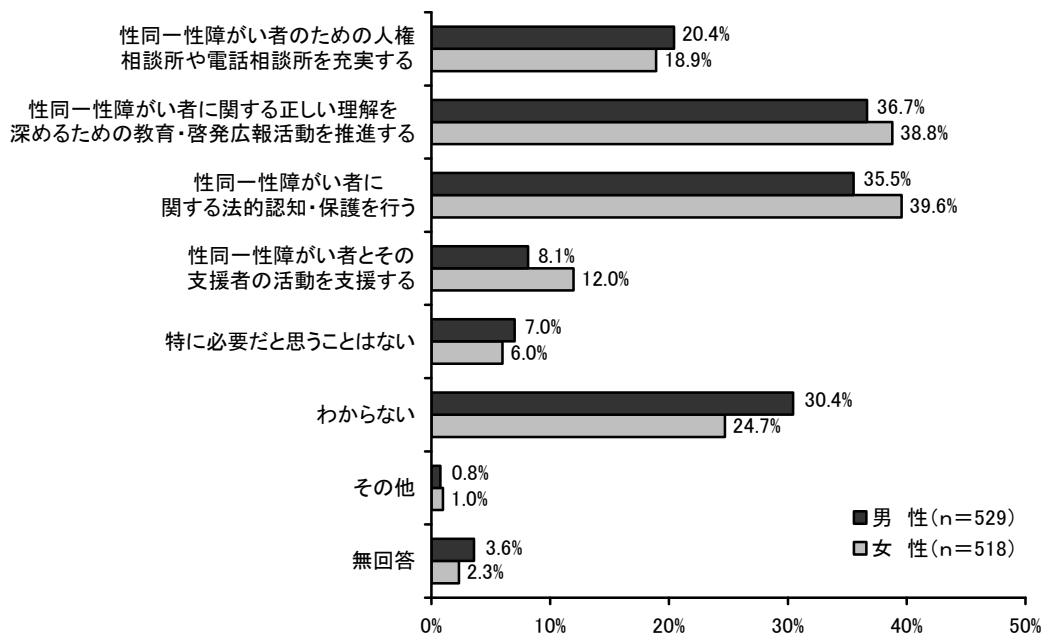
■「性同一性障がい者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」が 37.6% と最も高く、次いで「性同一性障がい者に関する法的認知・保護を行う」が 37.3%、「性同一性障がい者のための人権相談所や電話相談所を充実する」が 19.6%の順となっている。

■「わからない」は 27.5%と相対的に高くなっている。

### 【前回比較】

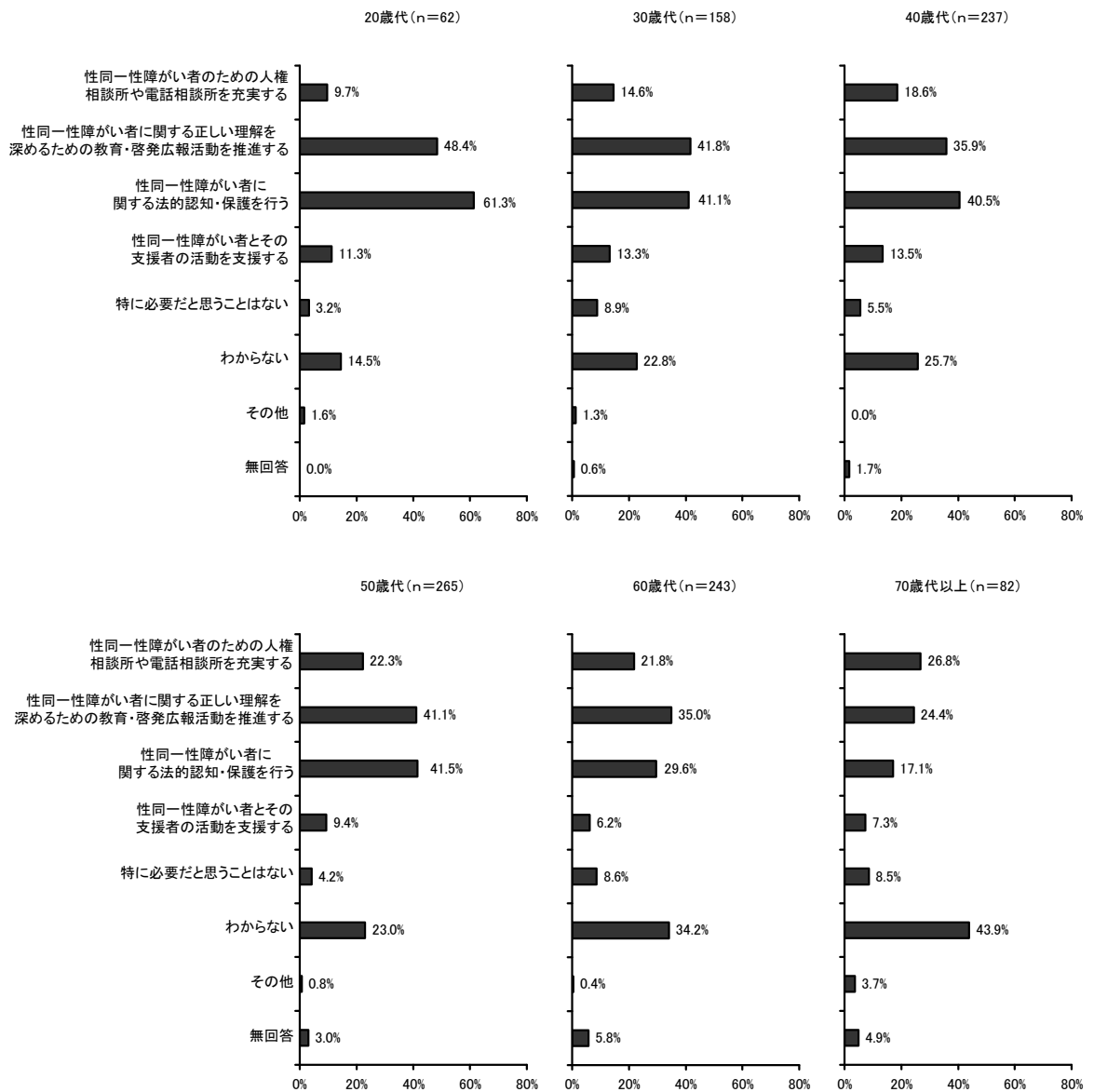
■「性同一性障がい者とその支援者の活動を支援する」は前回に比べ 3.7 ポイント、「わからない」は 2.5 ポイント増加している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「わからない」は男性が3割を超えている。

年代別

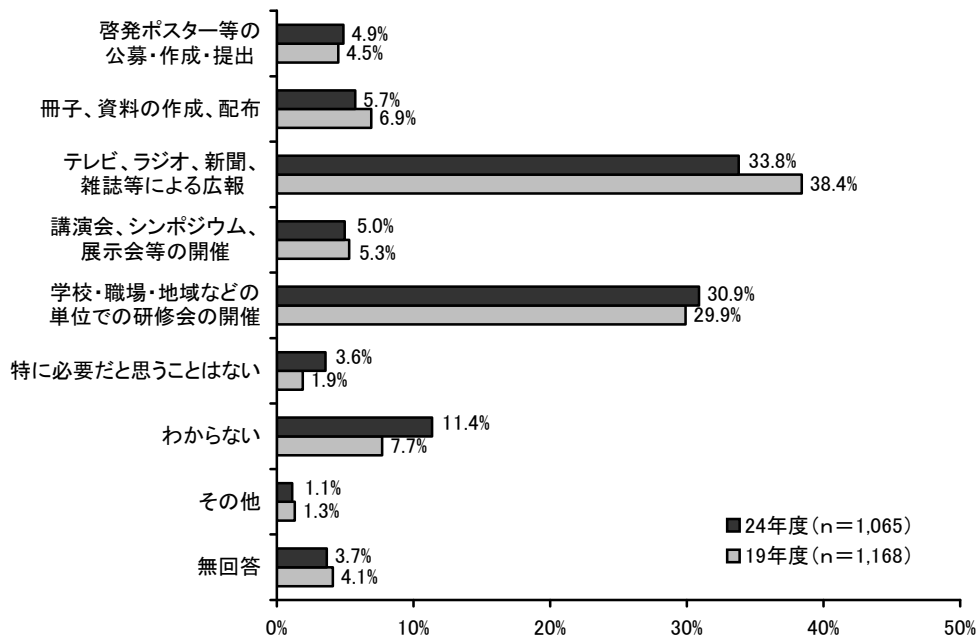


■ 「性同一性障がい者のための人権相談所や電話相談所を充実する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

### 3-16 人権教育・人権啓発の方法について

#### (1) 人権侵害の認識を深めるための人権教育・人権啓発の方法

問59 人権教育・人権啓発の方法について、人権侵害に関する県民の皆さんの認識を深めるために特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から1つ選んで○をつけてください。

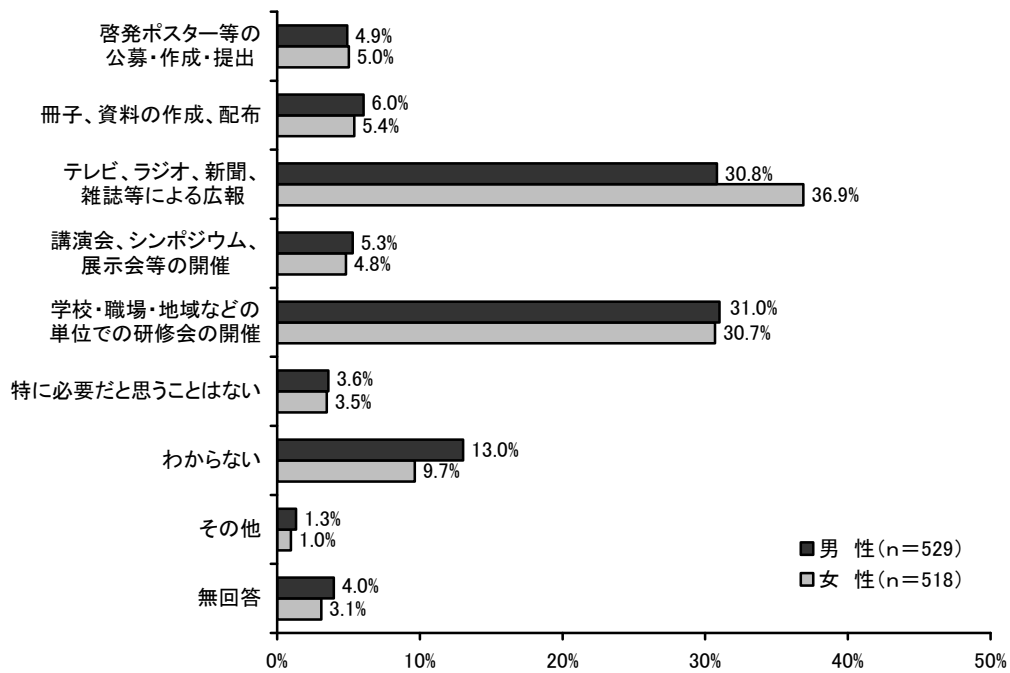


■ 「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」が33.8%と最も高く、次いで「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」が30.9%、「わからない」が11.4%の順となっている。

#### 【前回比較】

■ 「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」は前回に比べ4.6ポイント減少しており、「わからない」は3.7ポイント増加している。

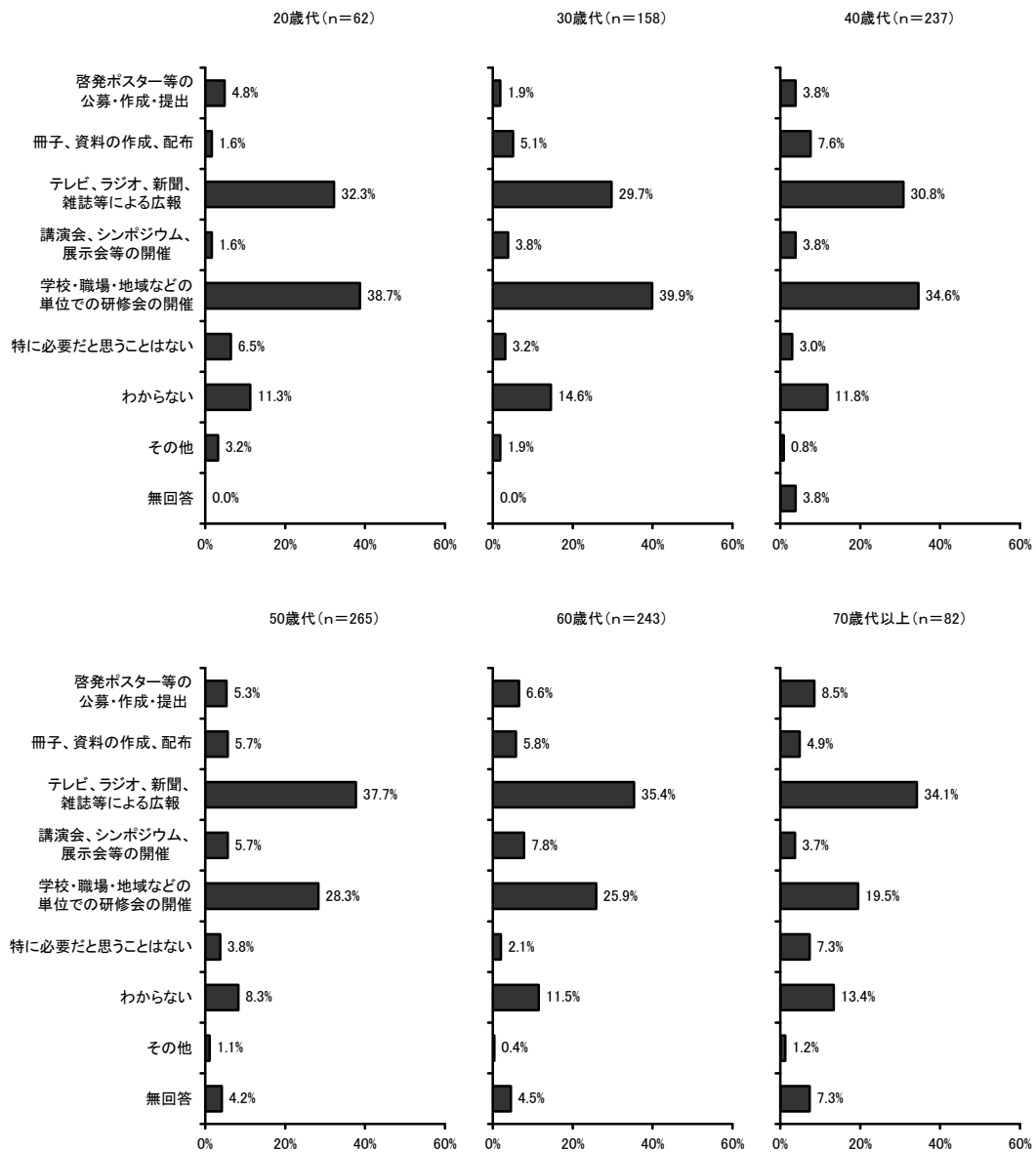
## 男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による広報」は女性が4割弱となっている。



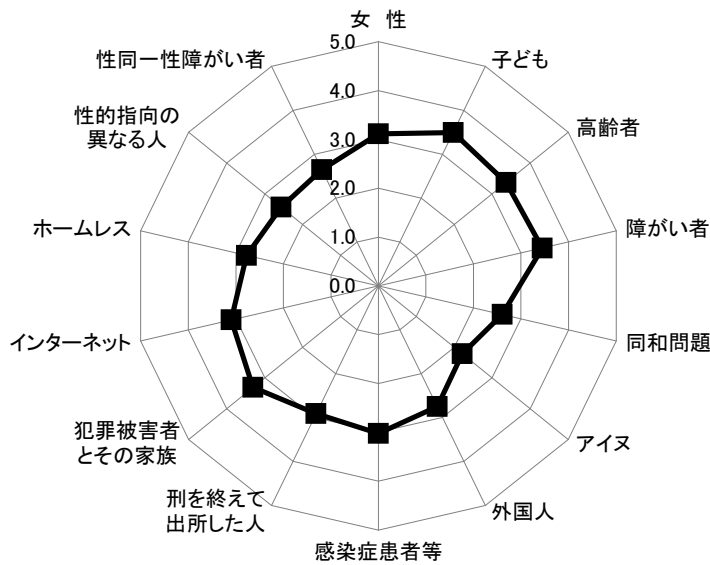
## 年代別



■「学校・職場・地域などの単位での研修会の開催」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

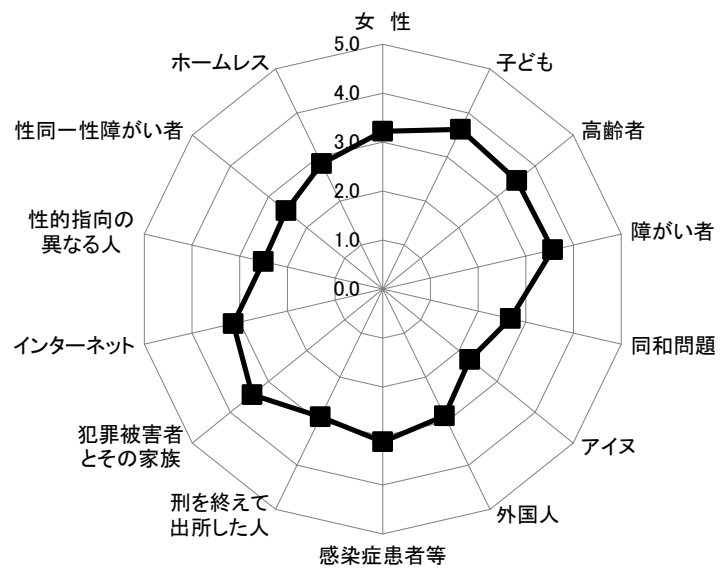
### 3-17 各人権問題に対する関心度

- 問 12、15、19、22、25、30、33、36、40、44、47、50、53、56 において、各人権問題についての関心がどの程度あるのか、「かなりある」「まあまあある」「ふつう」「あまりない」「まったくくない」の5段階で調査した。
- 調査結果について、「かなりある」を5点、「まあまあある」を4点、「ふつう」を3点、「あまりない」を2点、「まったくくない」を1点とし、回答者による平均点を算出した（これを「関心度」と呼ぶ）。



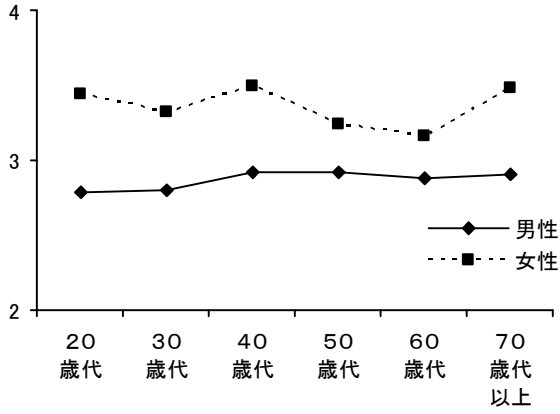
- 「子どもの人権問題」が 3.49 点で最も高く、次いで「障がい者の人権問題」が 3.44 点、「高齢者の人権問題」が 3.36 点、「犯罪被害者とその家族の人権問題」が 3.30 点、「女性の人権問題」が 3.11 点、「インターネットによる人権侵害」が 3.09 点、「感染症患者等の人権問題」が 3.02 点の順となっている。
- 一方で「アイヌの人々の人権問題」が 2.21 点で最も低く、次いで「性的指向の異なる人の人権問題」が 2.56 点、「同和問題」が 2.60 点、「性同一性障がい者の人権問題」が 2.65 点の順となっている。

参考（平成19年データ）

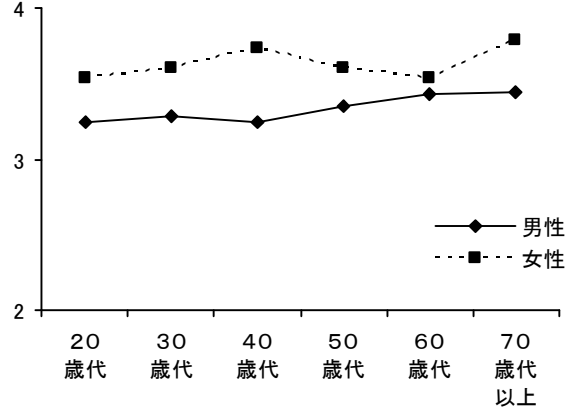


性別・年代別

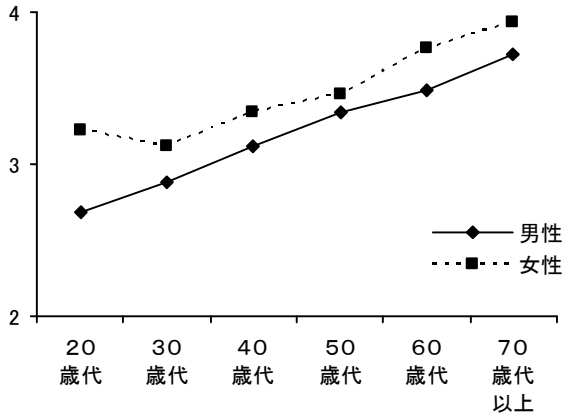
女性の人権問題



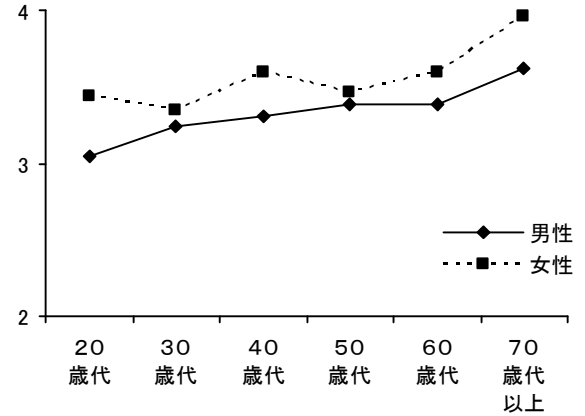
子どもの人権問題



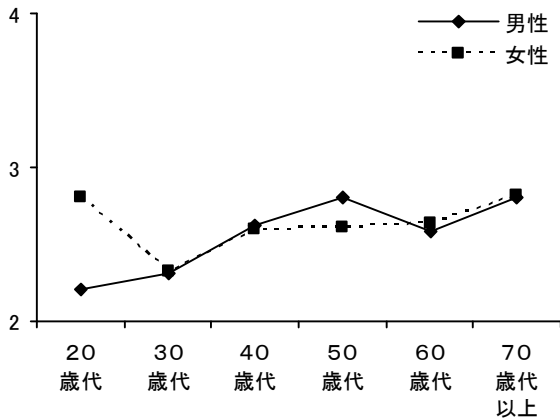
高齢者の人権問題



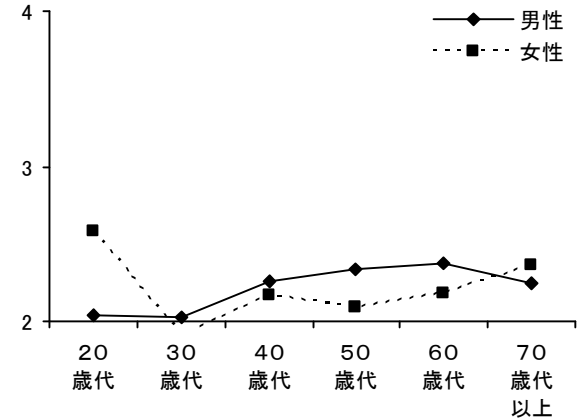
障がい者の人権問題



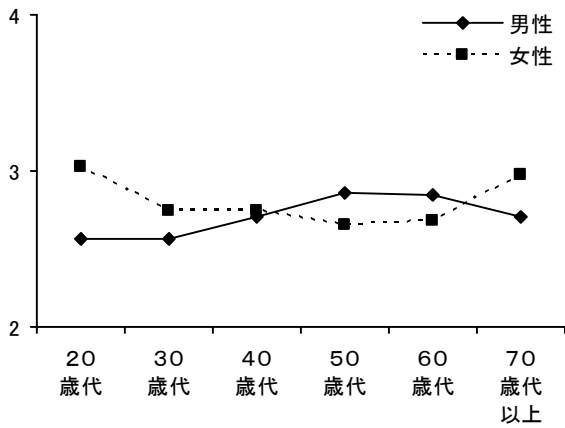
同和問題



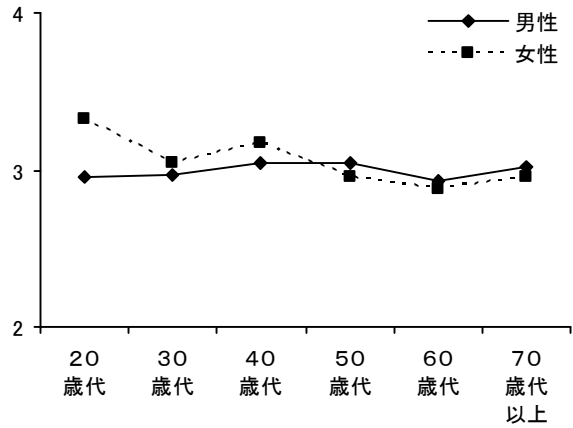
アイヌの人々の人権問題



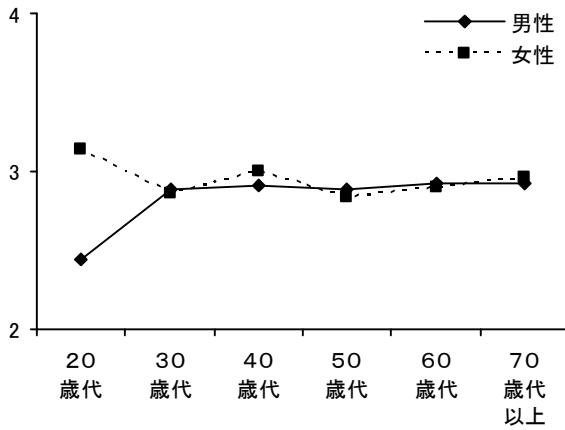
外国人の人権問題



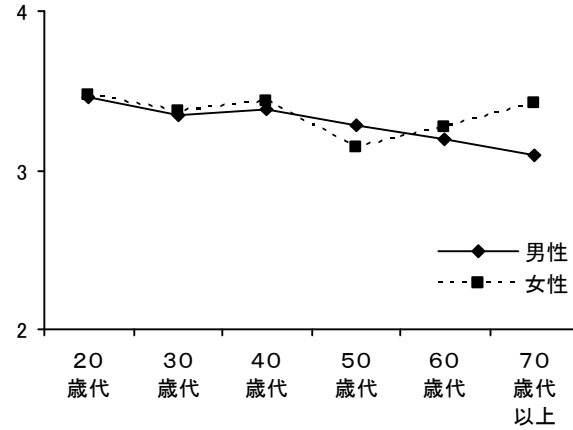
感染症患者等の人権問題



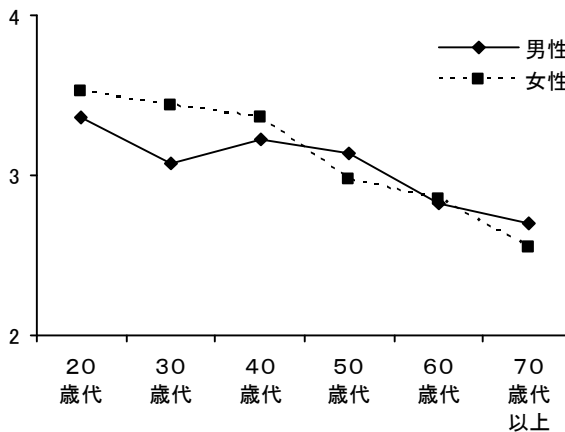
刑を終えて出所した人の人権問題



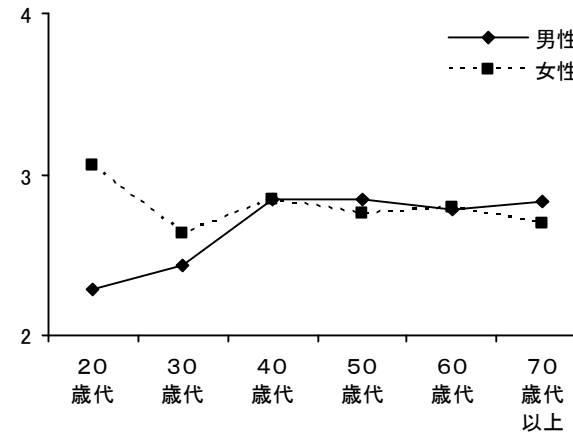
犯罪被害者とその家族の人権問題



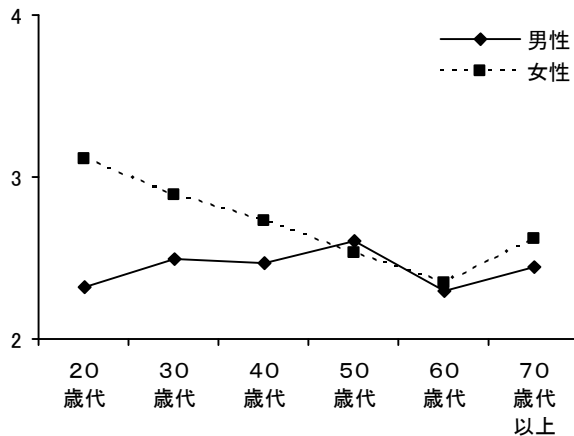
インターネットによる人権侵害



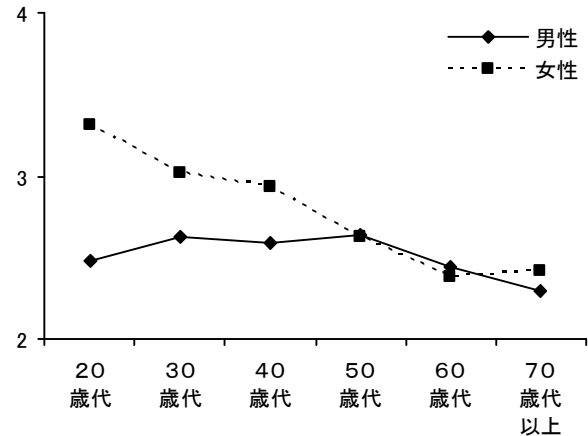
ホームレスの人権問題



性的指向の異なる人々の人権問題



性同一性障がい者の人権問題



- 女性の人権問題は、男性はほぼ横ばいで、いずれの年代も女性の関心度が高く、男性との差が大きい。
- 子どもの人権問題は、男女共にいずれの年代も関心度が高く、40 歳代で男女間の差がやや大きい。
- 高齢者の人権問題は、男女共に年代が上がるにつれて関心度が高くなる傾向がみられる。いずれの年代も女性の関心度がやや高い。
- 障がい者の人権問題は、男女共に年代が上がるにつれて関心度が高くなる傾向がみられる。いずれの年代も女性の関心度がやや高い。
- 同和問題は、20 歳代で女性の関心度が高く、男性との差が大きい。50 歳代で男性の関心度がやや高いが、それ以外の年代では男女間の差はほとんどない。
- アイヌの人々の人権問題は、20 歳代で女性の関心度が高いが、それ以外は男女共に関心度が低い。
- 外国人の人権問題は、20 歳代と 70 歳代以上で女性の関心度が高く、男性との差がやや大きい、男女共にほぼ横ばいである。
- 感染症患者等の人権問題は、男性はほぼ横ばいで、女性は若い年代ほど関心度が高くなる傾向がみられる。
- 刑を終えて出所した人々の人権問題は、20 歳代で女性の関心度が高く、男性との差が大きい。それ以外は男女共にほぼ横ばいで、差はほとんどない。
- 犯罪被害者とその家族の人権問題は、男性は年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。70 歳代以上で女性の関心度が高く、男性との差がやや大きい。
- インターネットによる人権侵害は、男女共に 20 歳代の関心度が最も高く、年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。
- ホームレスの人権問題は、20 歳代で女性の関心度が高く、男性との差が大きい。40～70 歳代以上の年代では男女間の差はほとんどない。
- 性的指向の異なる人々の人権問題は、男性はいずれの年代も関心度が低い。20 歳代で女性の関心度が最も高く、年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。
- 性同一性障がい者の人権問題は、男性はいずれの年代も関心度が低い。20 歳代で女性の関心度が最も高く、年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。